

堺市 子ども・若者の意識及び 少子化社会に関する 調査結果報告書

**令和 6 年 7 月
堺 市**

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査目的.....	1
2 実施要領.....	1
3 報告書の見方.....	1
II. 調査結果	2
II-1. 回答者について	2
1 性別・年齢層	2
2 居住地域.....	3
3 家族と経済状況について	4
4 就労状況について.....	6
II-2. 結婚・子育てに対する考え方	8
1 現在の婚姻状況.....	8
2 子どもについて	9
3 結婚について	14
II-3. 日頃の意識と生活について	22
1 心身の状態について	23
2 居場所・孤独感.....	29
3 家族への支援やケアについて	40
4 他者との関わり方	46
5 普段の過ごし方	53
6 社会生活・日常生活における困難	60
7 子ども・若者を対象とした育成支援機関等の認知状況	69
調 査 票	74

I. 調査の概要

1 調査目的

令和7年度（2025年度）を始期とする「（仮称）堺市子ども計画」の策定に係る基礎資料として、普段の生活の状況や困難な課題、新たなニーズについてお聞きし、これからの子ども・若者育成支援の充実や改善に役立てるために「子ども・若者の意識及び少子化社会に関するニーズ調査」を実施しました。

2 実施要領

調査期間：令和5年12月8日～令和6年1月4日

調査方法：住民基本台帳から対象者を無作為抽出し、郵送・オンラインにより実施

調査対象	配布数	回収数	回収率
市内在住の15～39歳 （令和5年4月1日時点）の子ども・若者	3,000人	853人	28.4%

3 報告書の見方

- 図表中の「n（number of case）」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 回答結果の割合「％」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中に次のような表示などがある場合は、複数回答を依頼した質問を示しています。
 - ・MA%（Multiple Answer）：回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・3LA%（3 Limited Answer）：回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
 - ・2LA%（2 Limited Answer）：回答選択肢の中からあてはまるものを2つ以内で選択する場合これ以外の場合は、特に断りがない限り、単一回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問です。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

Ⅱ. 調査結果

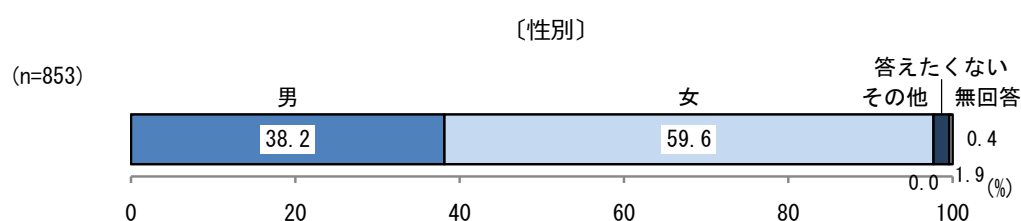
Ⅱ-1. 回答者について

1 性別・年齢層

〔1〕性別

問1 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

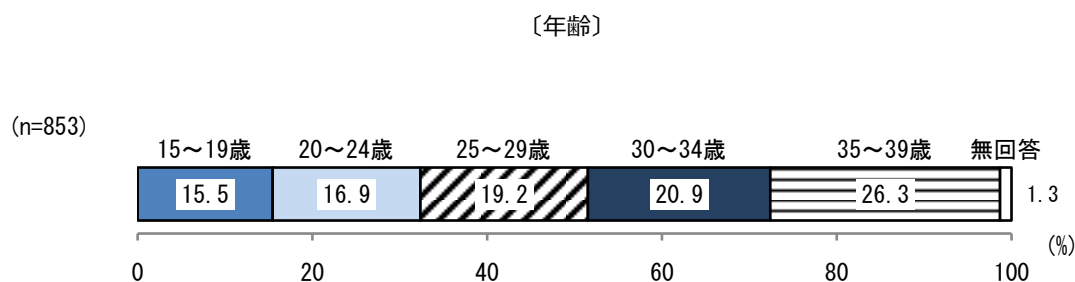
性別は、「女」が 59.6%で、「男」が 38.2%となっています。



〔2〕年齢層

問2 あなたの年齢についてお答えください。（○は1つ）

年齢は、「35～39 歳」が 26.3%と最も多く、次いで、「30～34 歳」が 20.9%、「25～29 歳」が 19.2%、「20～24 歳」が 16.9%、「15～19 歳」が 15.5%となっています。

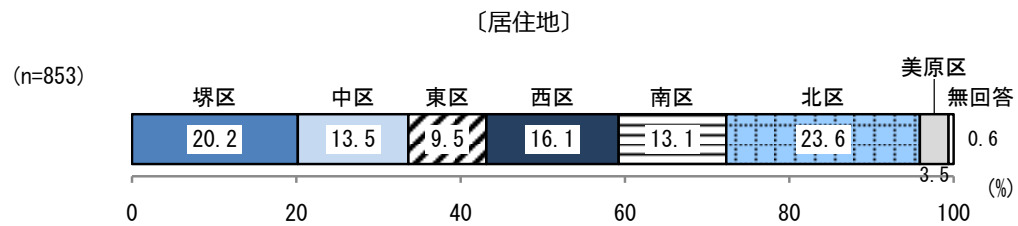


2 居住地域

〔1〕居住地域

問3 あなたのお住いはどちらですか。（○は1つ）

居住地は、「北区」が23.6%と最も多く、次いで、「堺区」が20.2%、「西区」が16.1%、「中区」が13.5%、「南区」が13.1%となっています。

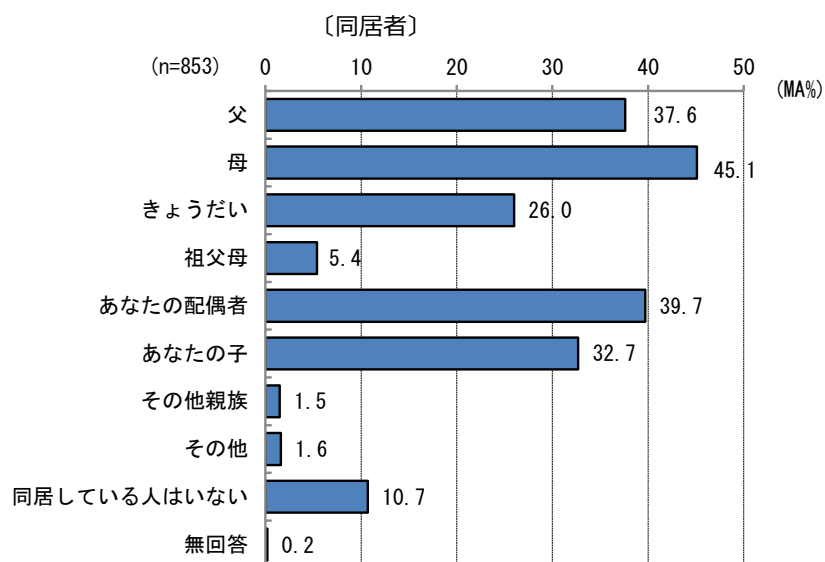


3 家族と経済状況について

〔1〕同居している人について

問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

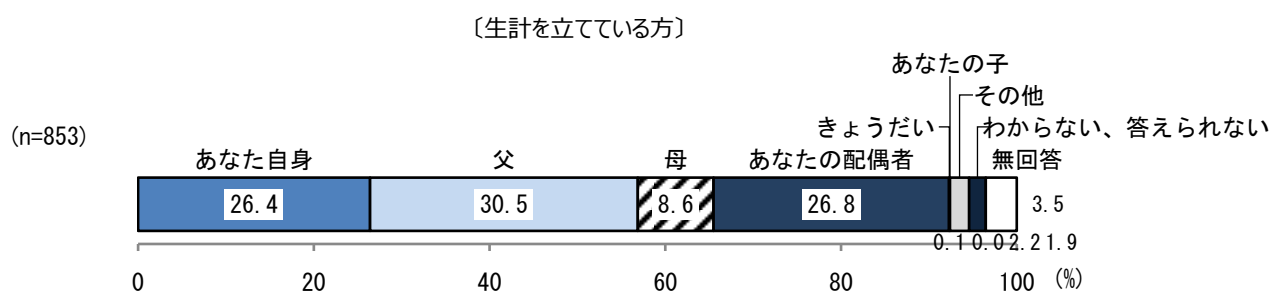
同居者は、「母」が 45.1%と最も多く、次いで「あなたの配偶者」が 39.7%、「父」が 37.6%、「あなたの子」が 32.7%、「きょうだい」が 26.0%となっています。



〔2〕経済状況

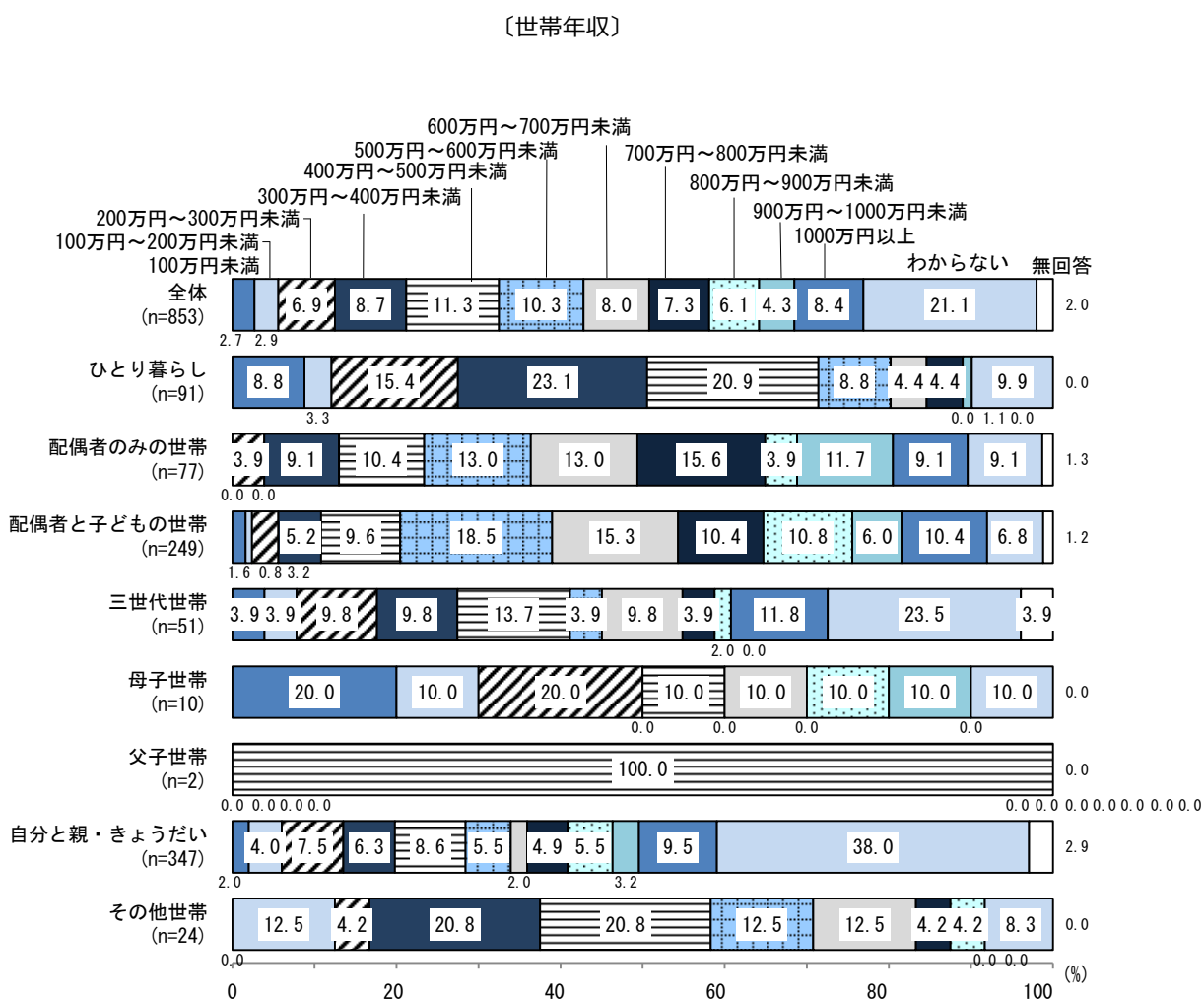
問5 あなたの家の生計について、生計を支えている方は主にどなたですか。（○は1つ）

生計を立てている方は、「父」が 30.5%と最も多く、次いで「あなたの配偶者」が 26.8%、「あなた自身」が 26.4%、「母」が 8.6%、「きょうだい」が 0.1%となっています。



問6 あなたの世帯における年収をお答えください。（〇は1つ）

世帯年収については、ひとり暮らしでは「300 万円～400 万円未満」が 23.1%、配偶者のみの世帯では「700 万円～800 万円未満」が 15.6%、配偶者と子どもの世帯では「500 万円～600 万円未満」が 18.5%、三世代世帯では「400 万円～500 万円未満」が 13.7%、母子家庭では「100 万円未満」、「200 万円～300 万円未満」が同率で 20.0%、父子家庭では「400 万円～500 万円未満」が 100.0%、自分と親・きょうだいでは「1000 万円以上」が 9.5%、その他世帯では「300 万円～400 万円未満」、「400 万円～500 万円未満」が同率で 20.8%と、それぞれ最も多くなっています。

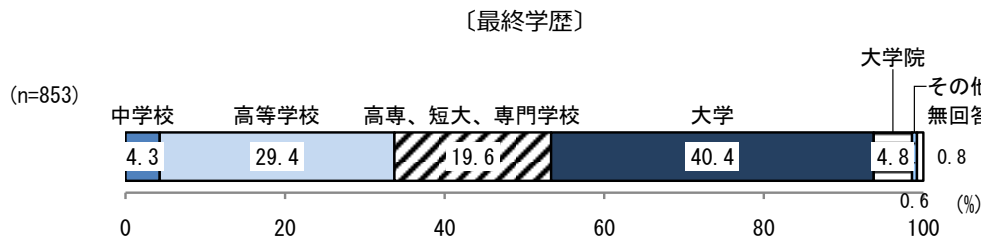


4 就労状況について

〔1〕回答者の最終学歴

問7 あなたが最後に卒業した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。
(○は1つ)

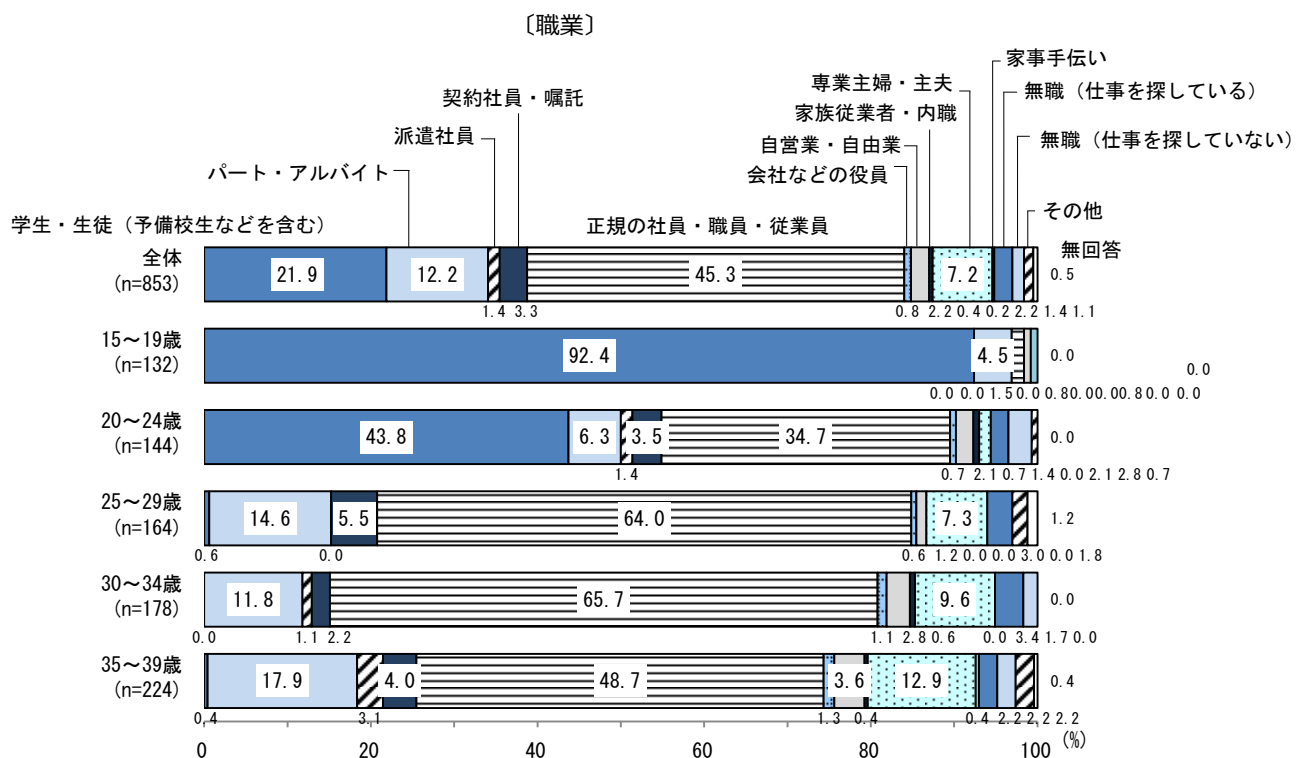
最終学歴は、「大学」が40.4%と最も多く、「高等学校」が29.4%、「高専、短大、専門学校」が19.6%、「大学院」が4.8%、「中学校」が4.3%となっています。



〔2〕就労状況について

問8 あなたの現在の仕事をお答えください。(○は1つ)

職業については、15～19 歳、20～24 歳では「学生・生徒（予備校生などを含む）」がそれぞれ92.4%、43.8%と最も多く、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「正規の社員・職員・従業員」がそれぞれ64.0%、65.7%、48.7%と最も多くなっています。次いで、15～19 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「パート・アルバイト」がそれぞれ4.5%、14.6%、11.8%、17.9%と多く、20～24 歳では「正規の社員・職員・従業員」が34.7%と多くなっています。

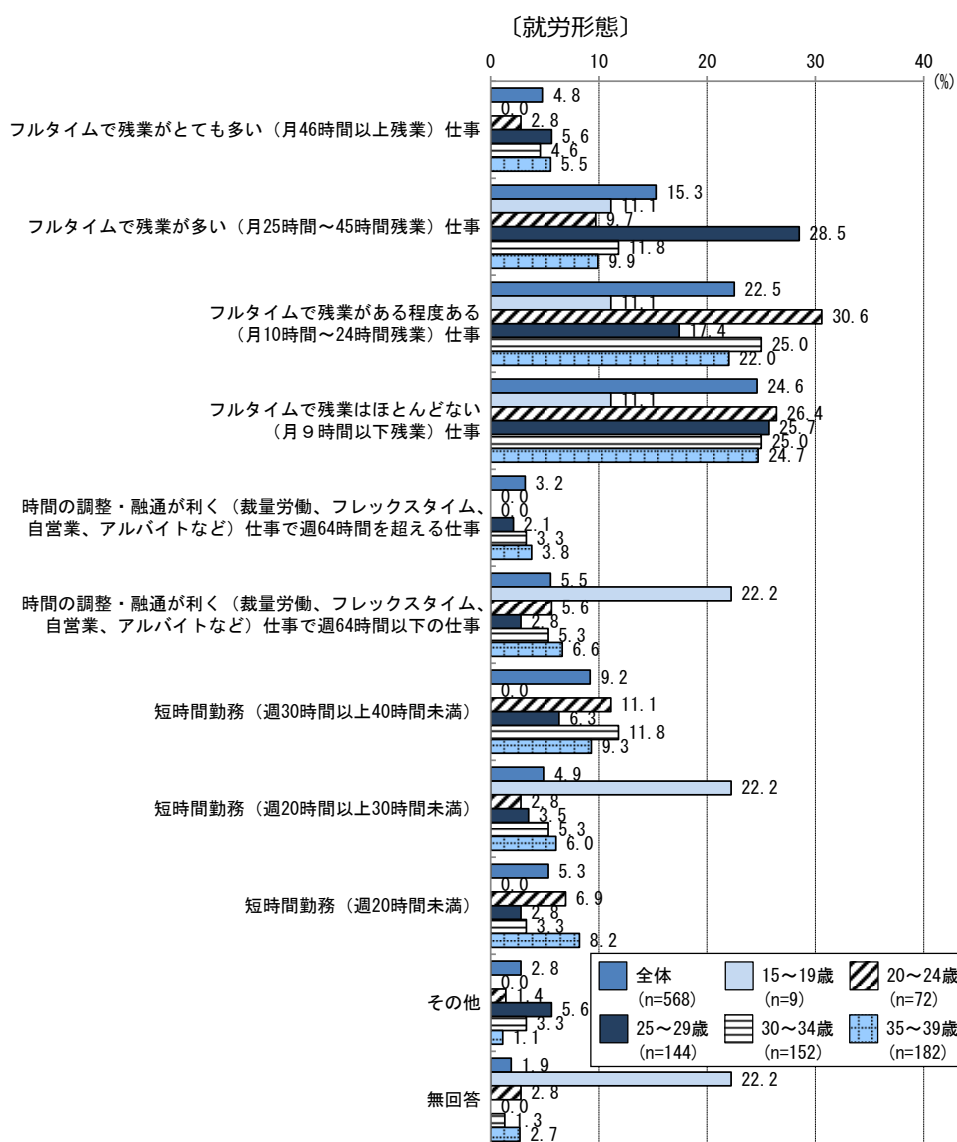


現在、就労されている方のみ

問9 あなたの現在の就労形態について最もあてはまるものをお答えください。（〇は1つ）

就労形態別にみると、15～19 歳では「時間の調整・融通が利く（裁量労働、フレックスタイム、自営業、アルバイトなど）仕事で週 64 時間以下の仕事」と「短時間勤務（週 20 時間以上 30 時間未満）」が 22.2%と最も多く、20～24 歳では「フルタイムで残業がある程度ある（月 10 時間～24 時間残業）仕事」、25～29 歳では「フルタイムで残業が多い（月 25 時間～45 時間残業）仕事」、30～34 歳では「フルタイムで残業がある程度ある（月 10 時間～24 時間残業）仕事」と「フルタイムで残業はほとんどない（月 9 時間以下残業）仕事」、35～39 歳では「フルタイムで残業はほとんどない（月 9 時間以下残業）仕事」が最も多くなっています。

次いで、15～19 歳では「フルタイムで残業が多い（月 25 時間～45 時間残業）仕事」と「フルタイムで残業がある程度ある（月 10 時間～24 時間残業）仕事」、「フルタイムで残業はほとんどない（月 9 時間以下残業）仕事」、20～24 歳、25～29 歳では「フルタイムで残業はほとんどない（月 9 時間以下残業）仕事」がそれぞれ多く、30～34 歳では「フルタイムで残業が多い（月 25 時間～45 時間残業）仕事」と「短時間勤務（週 30 時間以上 40 時間未満）」、35～39 歳では「フルタイムで残業がある程度ある（月 10 時間～24 時間残業）仕事」が多くなっています。



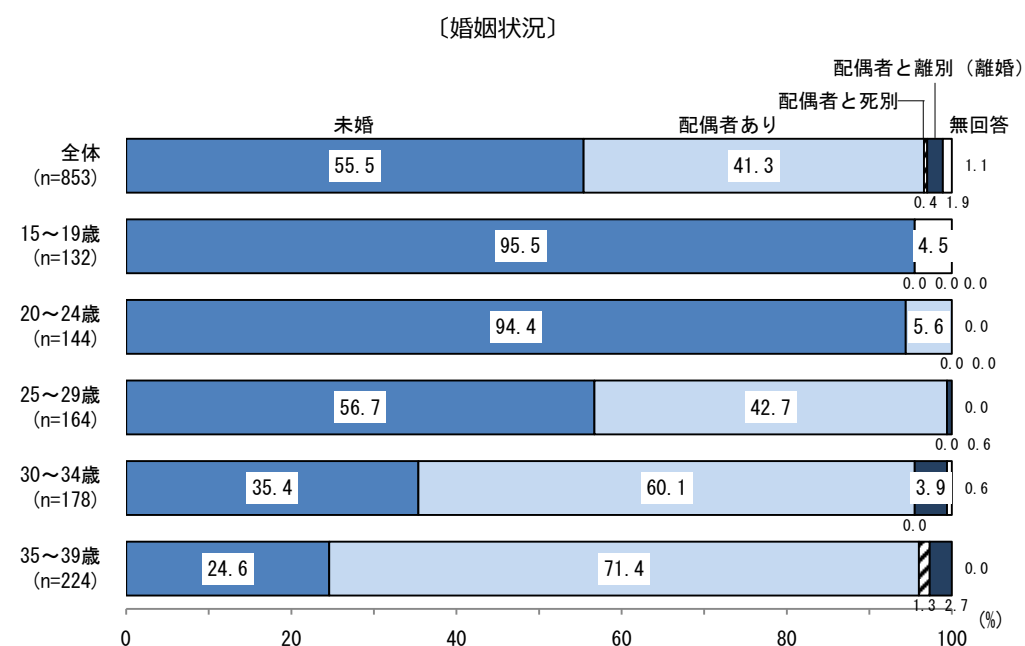
Ⅱ-2. 結婚・子育てに対する考え方

1 現在の婚姻状況

〔1〕現在の婚姻状況について

問10 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。（○は1つ）

婚姻状況については、15～19 歳、20～24 歳、25～29 歳では「未婚」がそれぞれ 95.5%、94.4%、56.7%と最も多く、30～34 歳、35～39 歳では「配偶者あり」がそれぞれ 60.1%、71.4%と最も多くなっています



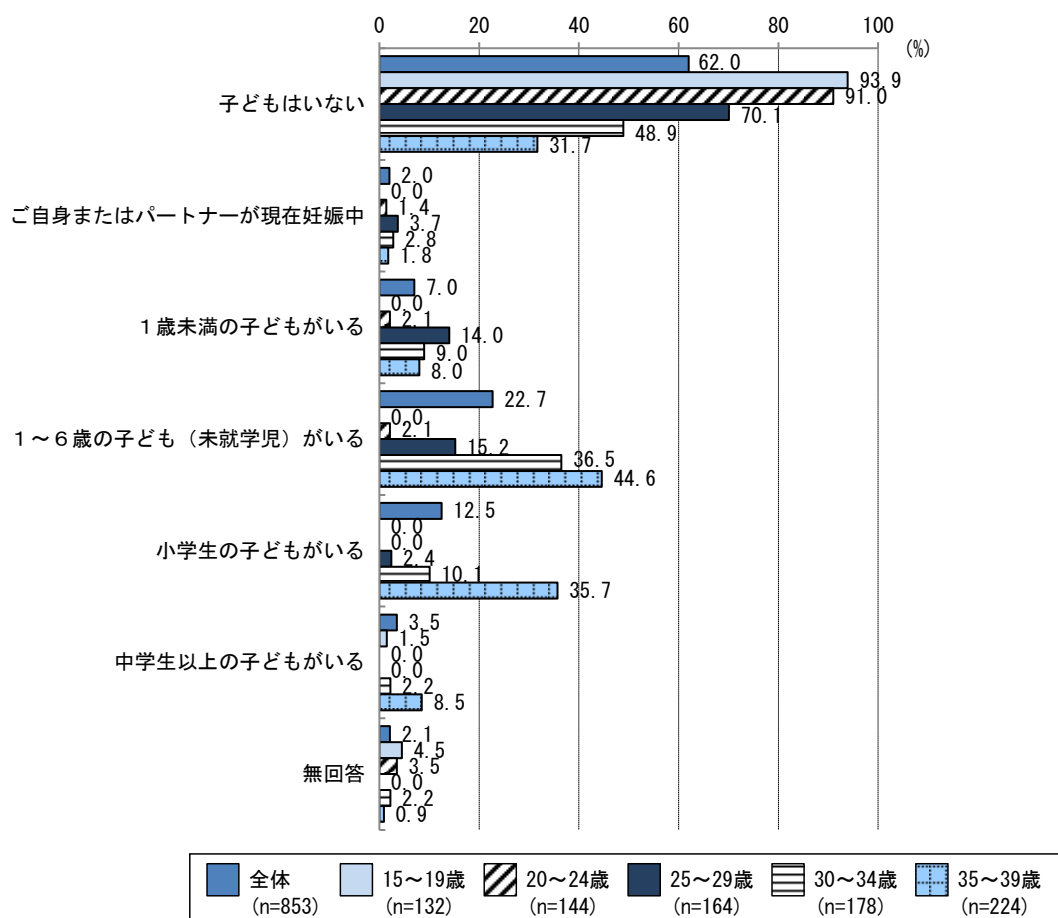
2 子どもについて

〔1〕養育している子どもの有無

問11 あなたはお子さんがいらっしゃいますか。（あてはまる番号すべてに○）

子どもがいるかについては、15～19 歳、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳では「子どもはいない」、35～39 歳では「1～6 歳の子ども（未就学児）がいる」が最も多くなっています。次いで 20～24 歳では「1 歳未満の子どもがいる」と「1～6 歳の子ども（未就学児）がいる」、25～29 歳、30～34 歳では「1～6 歳の子ども（未就学児）がいる」、35～39 歳では「小学生の子どもがいる」が多くなっています。

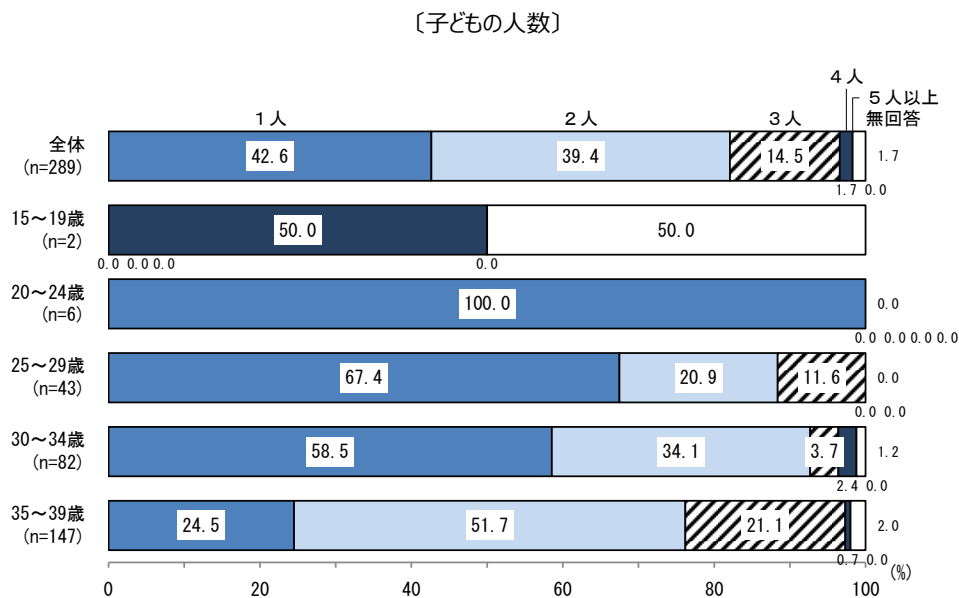
〔子どもがいるか〕



問11で「3. 」～「6. 」に○をつけた方（子どもがいる方）のみ

問12 現在のお子さんの人数をお答えください。（○は1つ）

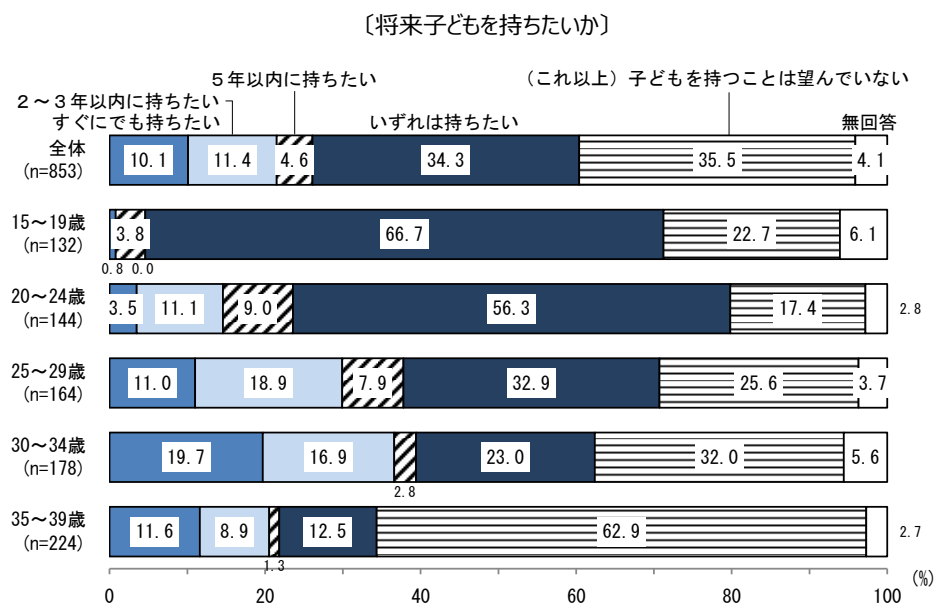
子どもの人数については、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳では「1 人」がそれぞれ最も多く、35～39 歳では「2 人」が 51.7%と最も多くなっています。



問13 あなたは将来、お子さんを持ちたいと思いますか。

将来子どもを持ちたいかについては、15～19 歳、20～24 歳、25～29 歳では「いずれは持ちたい」がそれぞれ 66.7%、56.3%、32.9%と最も多く、30～34 歳、35～39 歳では「（これ以上）子どもを持つことは望んでいない」がそれぞれ 32.0%、62.9%と最も多くなっています。

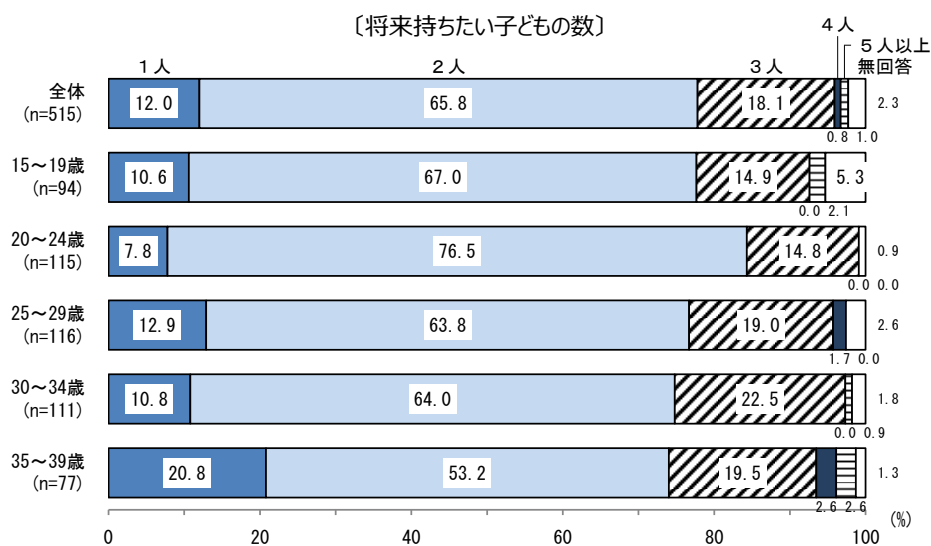
次いで、15～19 歳、20～24 歳、25～29 歳では「（これ以上）子どもを持つことは望んでいない」がそれぞれ 22.7%、17.4%、25.6%、30～34 歳、35～39 歳では「いずれは持ちたい」がそれぞれ 23.0%、12.5%と多くなっています。



問13で「1. 」～「4. 」に○をつけた方（子どもを持ちたい方）のみ

問14 あなたは将来、お子さんを何人持ちたいですか。（○は1つ）

将来持ちたい子どもの数については、すべてのカテゴリーで「2 人」が多く、15～19 歳では 67.0%、20～24 歳では 76.5%、25～29 歳では 63.8%、30～34 歳では 64.0%、35～39 歳では 53.2%となっています。次いで、15～19 歳、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳では「3 人」がそれぞれ 14.9%、14.8%、19.0%、22.5%と多く、35～39 歳では「1 人」が 20.8%と多くなっています。

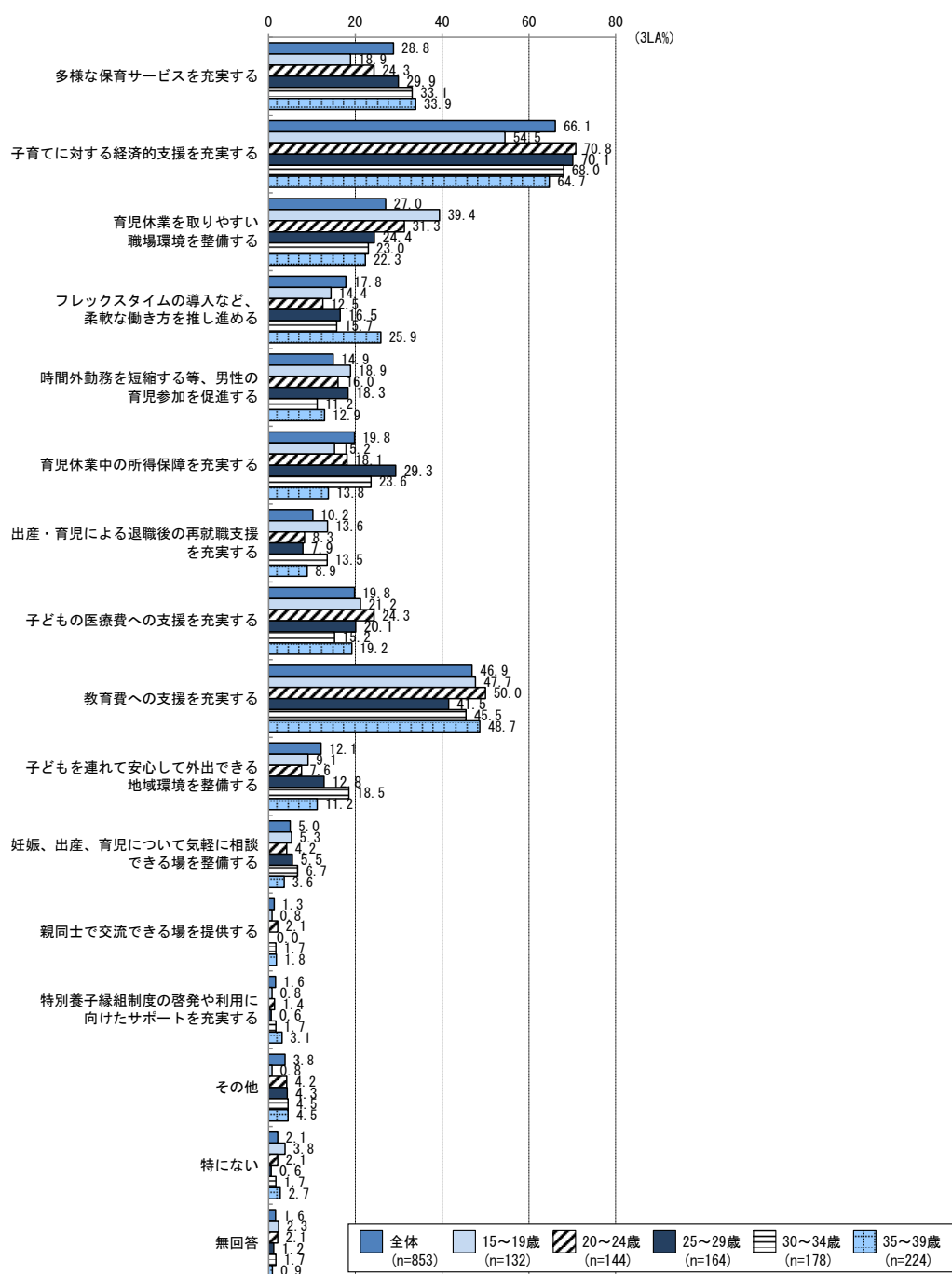


〔1〕子育て支援について

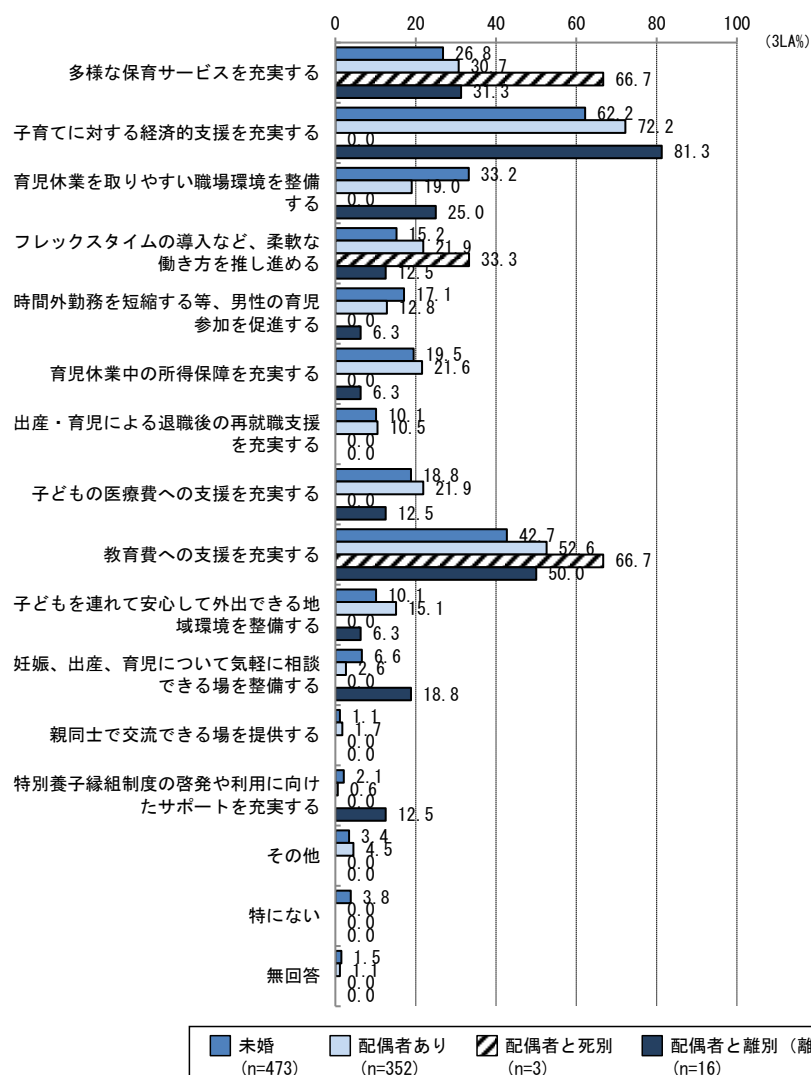
問15 子育てを支援する施策として重要と思うものは何ですか。（〇は3つまで）

重要だと思う子育てを支援する施策を年齢別にみると、すべてのカテゴリーで「子育てに対する経済的支援を充実する」が多く、15～19歳では54.5%、20～24歳では70.8%、25～29歳では70.1%、30～34歳では68.0%、35～39歳では64.7%となっています。次いで、「教育費への支援を充実する」が多くなっています。また、未婚、配偶者あり、配偶者と離別（離婚）別では「子育てに対する経済的支援を充実する」が最も多くなっています。

〔重要だと思う子育てを支援する施策 年齢別〕



〔重要だと思う子育てを支援する施策 未婚・既婚別〕



3 結婚について

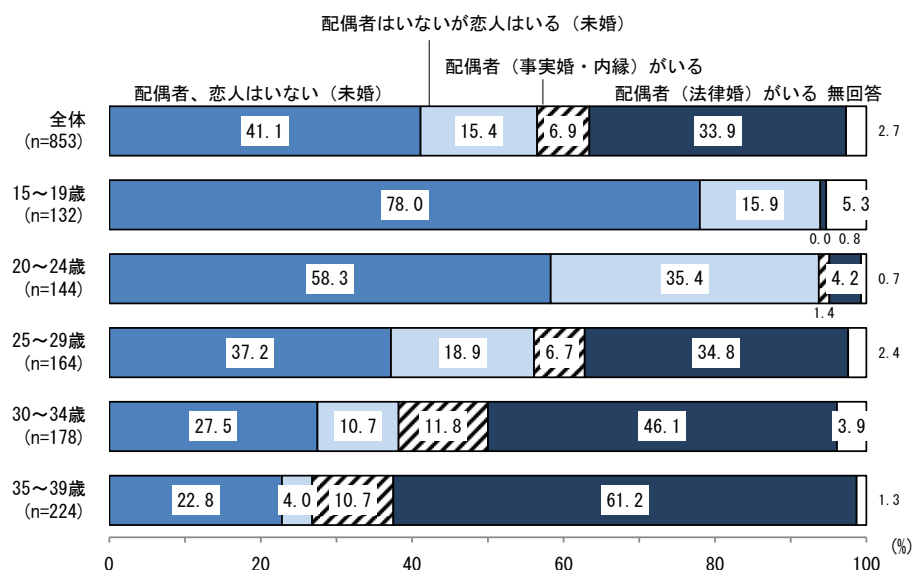
〔1〕結婚相手や恋人の有無

問16 あなたは現在、結婚相手や配偶者、恋人がいますか。（○は1つ）

結婚相手、配偶者、恋人の有無については、15～19歳、20～24歳、25～29歳では「配偶者、恋人はいない（未婚）」がそれぞれ78.0%、58.3%、37.2%と最も多く、30～34歳、35～39歳では「配偶者（法律婚）がいる」がそれぞれ46.1%、61.2%と最も多くなっています。

次いで、15～19歳、20～24歳では「配偶者はいないが恋人はいる（未婚）」がそれぞれ15.9%、35.4%と多く、25～29歳では「配偶者（法律婚）がいる」が34.8%、30～34歳、35～39歳では「配偶者、恋人はいない（未婚）」がそれぞれ27.5%、22.8%と多くなっています。

〔結婚相手、配偶者、恋人の有無〕



〔2〕結婚していない理由

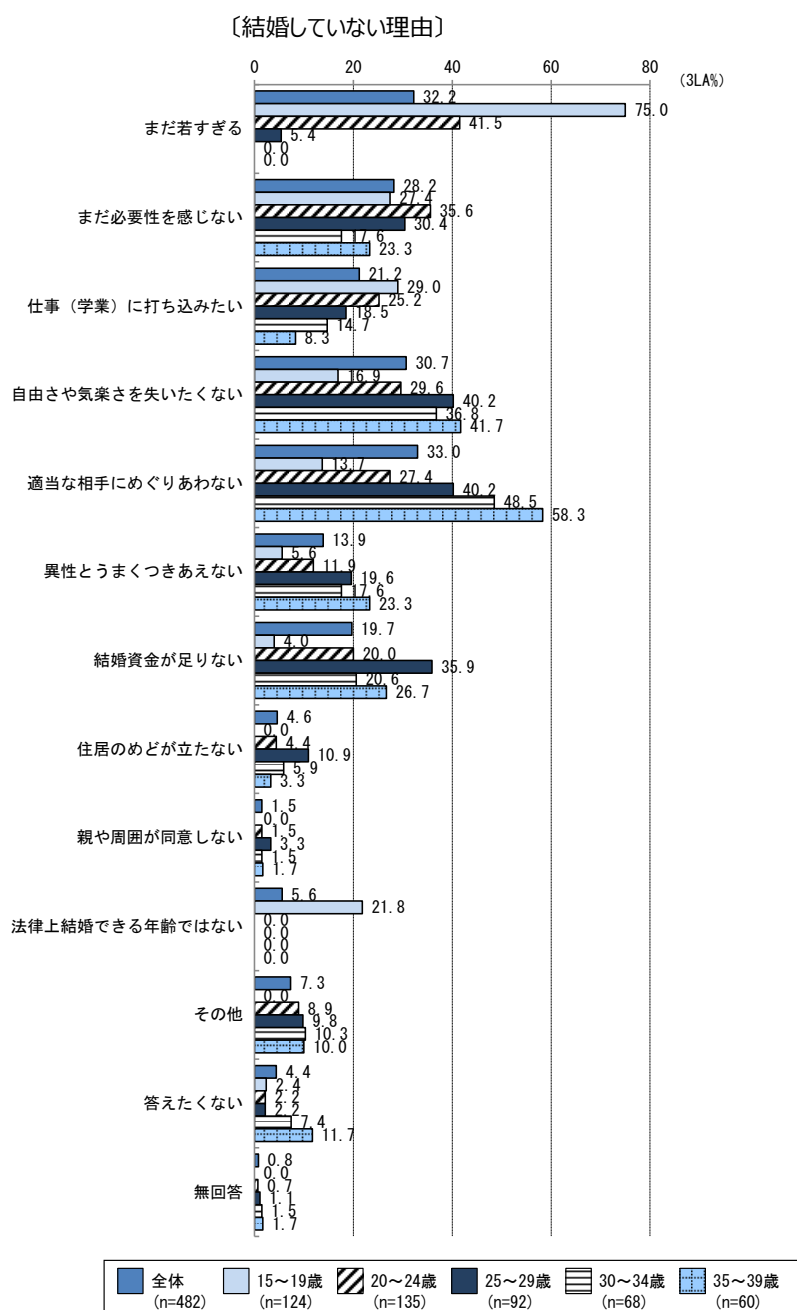
問16で「1」または「2」に○をつけた方（未婚の方）のみ

問17 結婚についてお聞きます。

(1)あなたが今、結婚していない理由を3つまで教えてください。（○は3つまで）

結婚していない理由については、15～19 歳、20～24 歳では「まだ若すぎる」がそれぞれ 75.0%、41.5%と最も多く、25～29 歳では「自由さや気楽さを失いたくない」と「適当な相手にめぐりあわない」が 40.2%、30～34 歳、35～39 歳では「適当な相手にめぐりあわない」がそれぞれ 48.5%、58.3%と最も多くなっています。

次いで、15～19 歳では「仕事（学業）に打ち込みたい」が 29.0%と多く、20～24 歳では「まだ必要性を感じない」が 35.6%、25～29 歳では「結婚資金が足りない」が 35.9%、30～34 歳、35～39 歳では「自由さや気楽さを失いたくない」がそれぞれ 36.8%、41.7%と多くなっています。

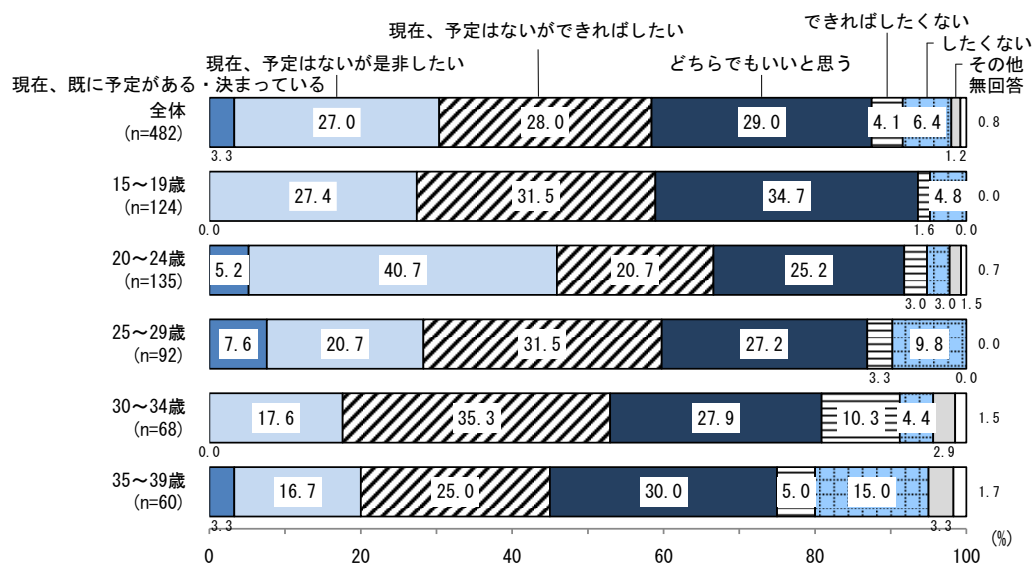


問17(2) あなたは今後、結婚したいと思いますか。(〇は1つ)

今後の結婚願望については、15～19 歳、35～39 歳では「どちらでもいいと思う」がそれぞれ 34.7%、30.0%が最も多く、20～24 歳では「現在、予定はないが是非したい」が 40.7%、25～29 歳、30～34 歳では「現在、予定はないができればしたい」がそれぞれ 31.5%、35.3%と最も多くなっています。

次いで、15～19 歳、35～39 歳では「現在、予定はないができればしたい」がそれぞれ 31.5%、25.0%と多く、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳では「どちらでもいいと思う」がそれぞれ 25.2%、27.2%、27.9%と多くなっています。

〔今後の結婚願望〕

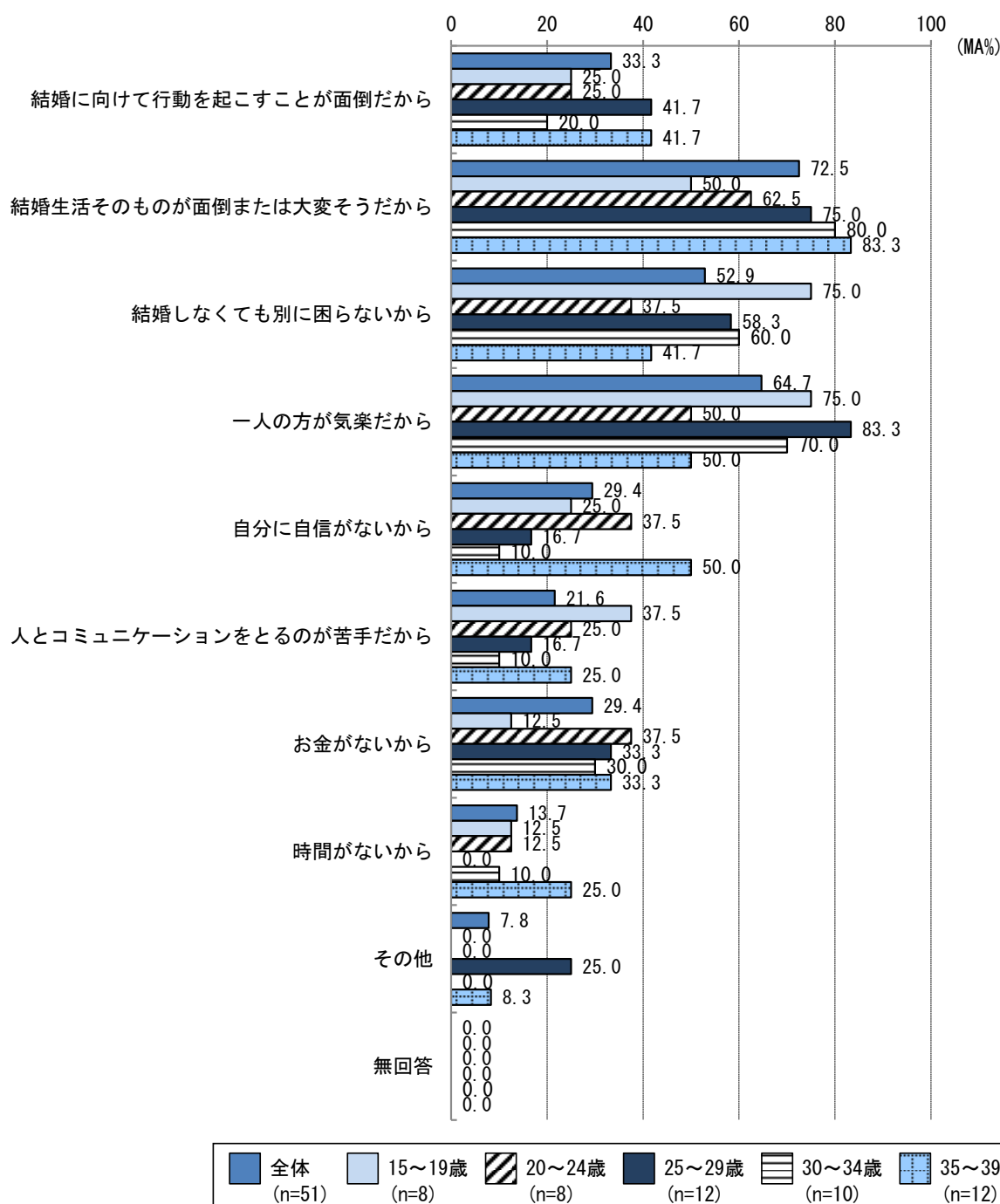


問17(2)で「5」または「6」に○をつけた方（結婚するつもりがない方）のみ

問17(3) 結婚するつもりがないのはなぜですか。（あてはまる番号すべてに○）

結婚するつもりがない理由については、15～19 歳では「結婚しなくても別に困らないから」と「一人の方が気楽だから」、20～24 歳、30～34 歳、35～39 歳では「結婚生活そのものが面倒または大変そうだから」、25～29 歳では「一人の方が気楽だから」が最も多くなっています。

〔結婚するつもりがない理由〕

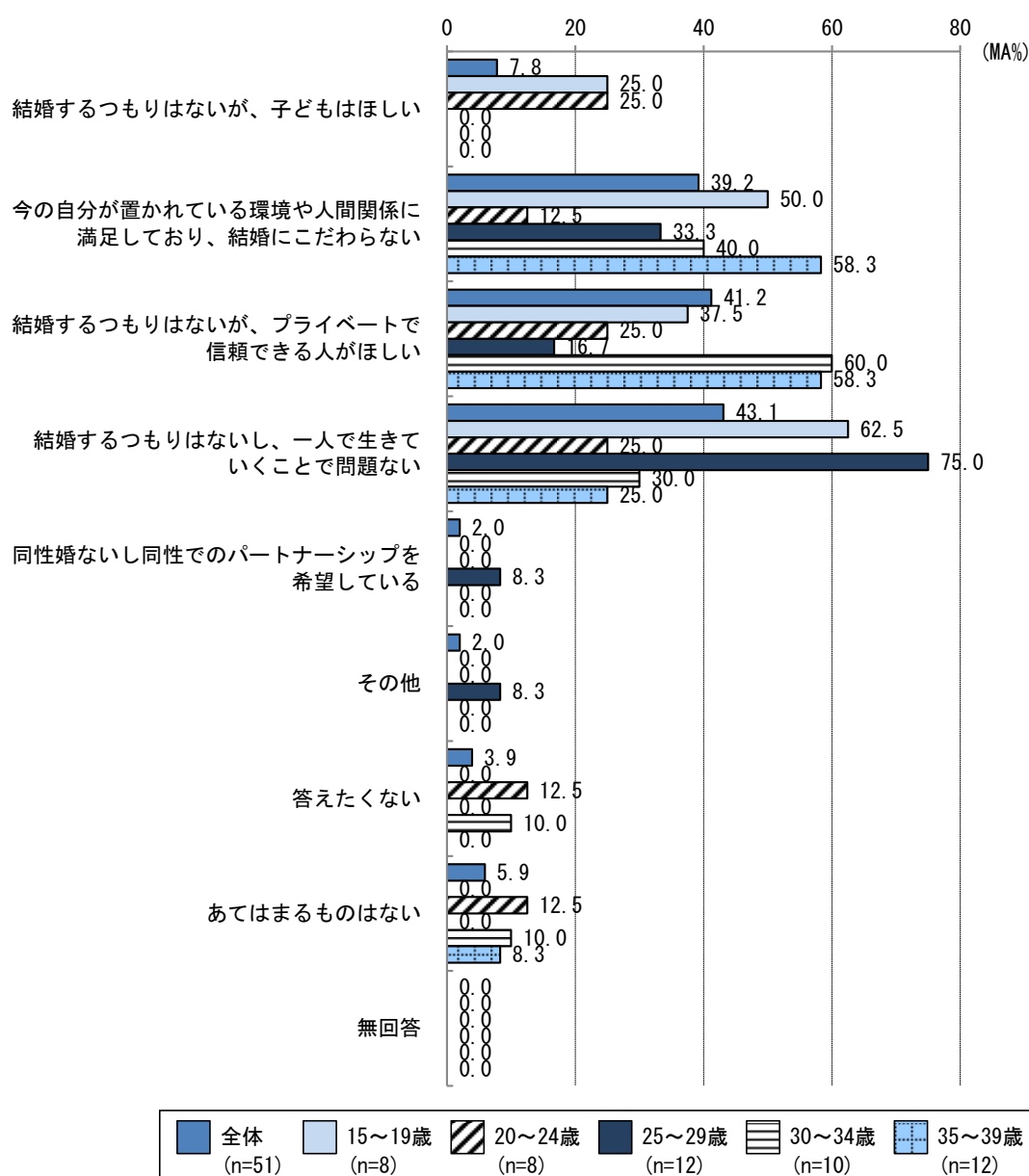


問17(2)で「5」または「6」に○をつけた方（結婚するつもりがない方）のみ

問17(4) あなたが思い描く家族形態について、お答えください。（あてはまる番号すべてに○）

思い描く家族形態については、15～19 歳、25～29 歳では「結婚するつもりはないし、一人で生きていくことで問題ない」、20～24 歳では「結婚するつもりはないが、子どもはほしい」と結婚するつもりはないが、プライベートで信頼できる人がほしい」、「結婚するつもりはないし、一人で生きていくことで問題ない」、30～34 歳では「結婚するつもりはないが、プライベートで信頼できる人がほしい」、35～39 歳では「今の自分が置かれている環境や人間関係に満足しており、結婚にこだわらない」と結婚するつもりはないが、プライベートで信頼できる人がほしい」が最も多くなっています。

〔思い描く家族形態〕



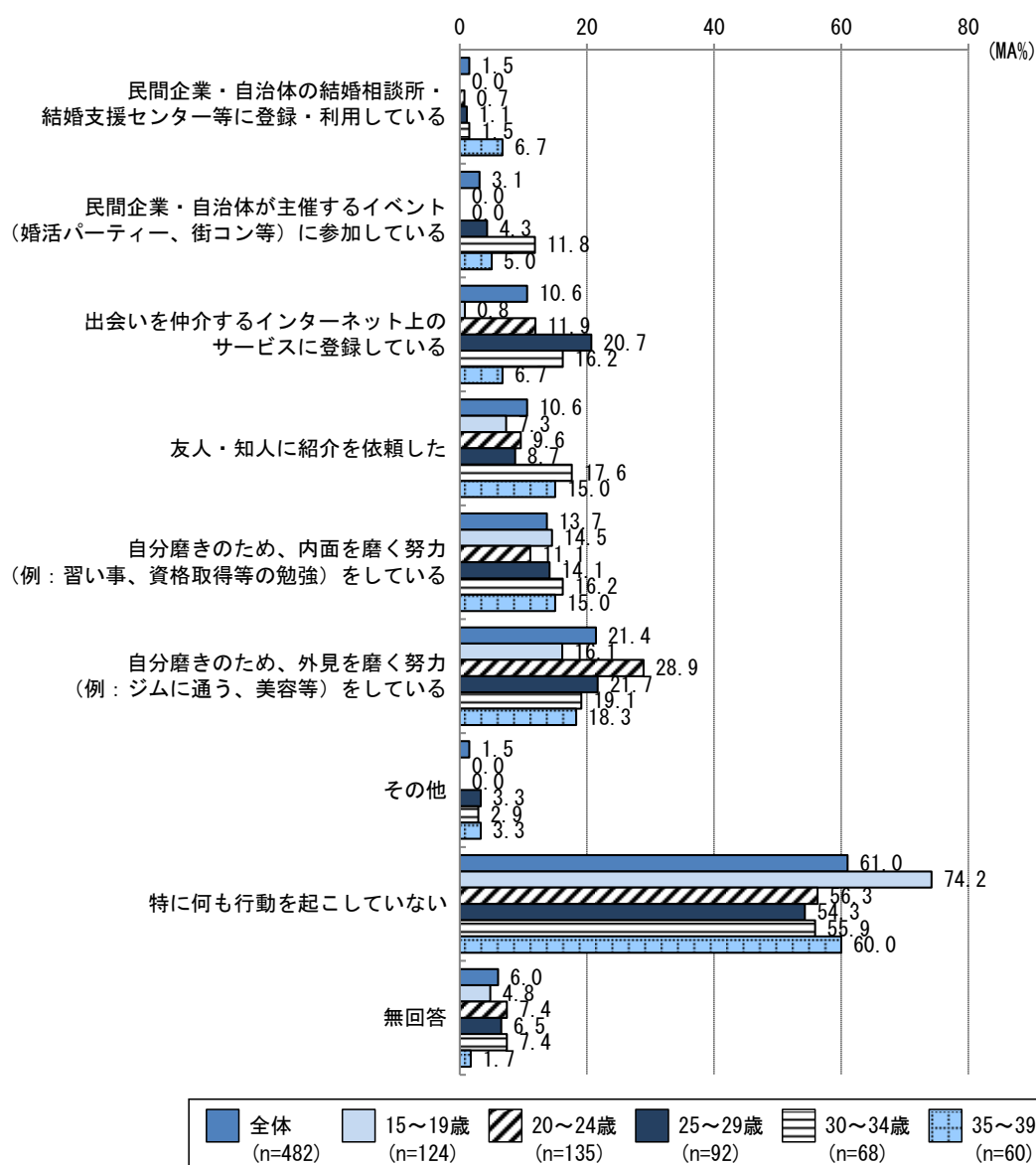
問16で「1」または「2」に○をつけた方（未婚の方）のみ

問17(5) 具体的な相手を探すため、何か行動を起こしましたか。（あてはまる番号すべてに○）

相手探しのために行動したことについては、すべてのカテゴリーで「特に何も行動を起こしていない」が最も多いが、「自分磨きのため、外見を磨く努力（例：ジムに通う、美容等）をしている」が、15～19歳では16.1%、20～24歳では28.9%、25～29歳では21.7%、30～34歳では19.1%、35～39歳では18.3%と多くなっています。

次いで、15～19歳では「自分磨きのため、内面を磨く努力（例：習い事、資格取得等の勉強）をしている」が14.5%と多く、20～24歳、25～29歳では「出会いを仲介するインターネット上のサービスに登録している」がそれぞれ11.9%、20.7%、30～34歳では「友人・知人に紹介を依頼した」が17.6%、35～39歳では「友人・知人に紹介を依頼した」と「自分磨きのため、内面を磨く努力（例：習い事、資格取得等の勉強）をしている」が15.0%と多くなっています。

〔相手探しのために行動したこと〕

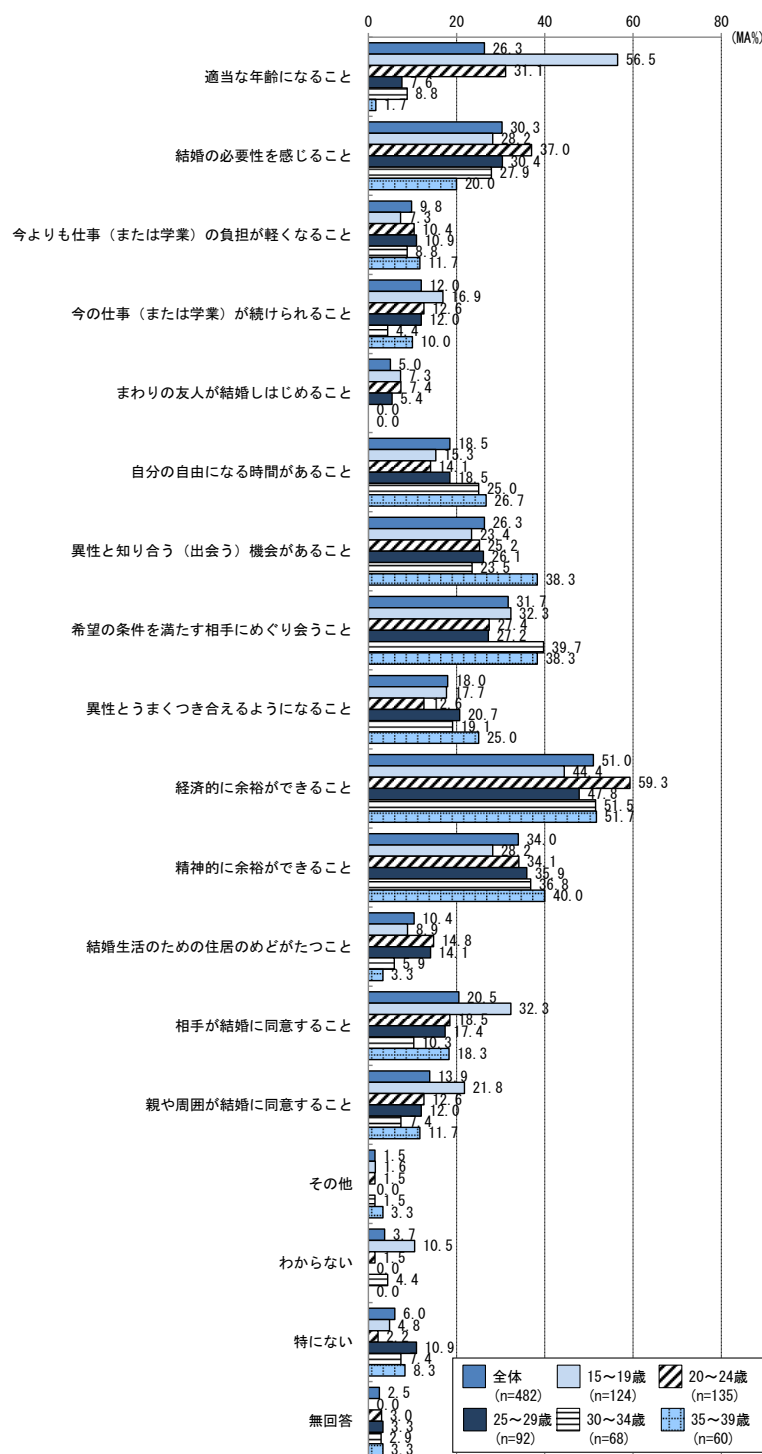


問17(6) あなたは、どのような状況になれば結婚したいと思いますか。ご自分にあてはまることを、すべて選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

どのような状況になれば結婚と思うかについては、15～19 歳では「適当な年齢になること」が 56.5%と最も多く、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「経済的に余裕ができること」がそれぞれ 59.3%、47.8%、51.5%、51.7%と最も多くなっています。

次いで、15～19 歳では「経済的に余裕ができること」が 44.4%と多く、20～24 歳では「結婚の必要性を感じる」ことが 37.0%、25～29 歳、35～39 歳では「精神的に余裕ができること」がそれぞれ 35.9%、40.0%、30～34 歳では「希望の条件を満たす相手にめぐり会うこと」が 39.7%と多くなっています。

〔どのような状況になれば結婚と思うか〕



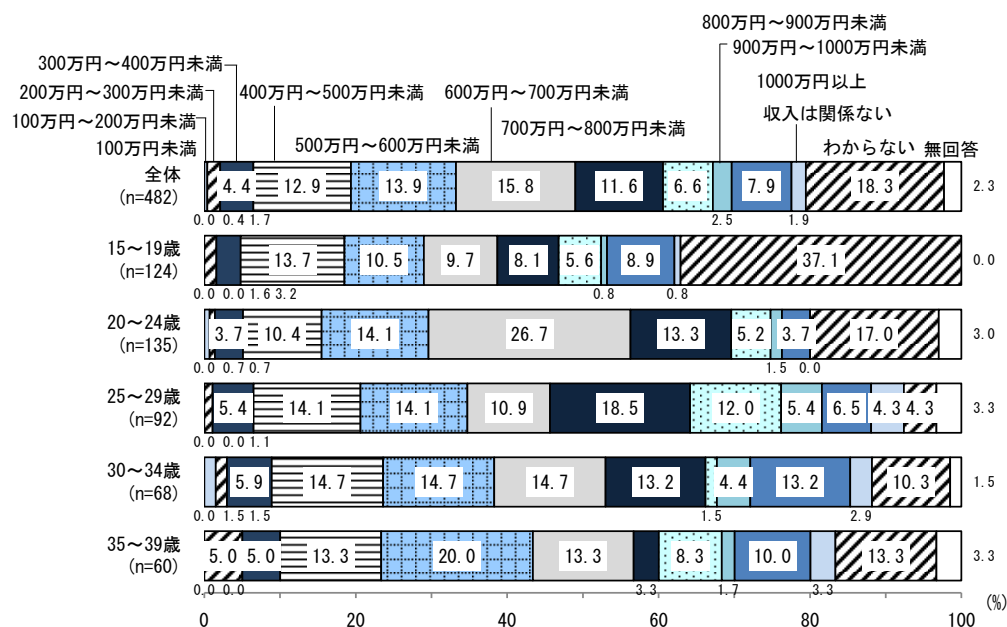
問17(7) 結婚生活を送るにあたって世帯収入（税込）は、どのくらい必要と思いますか。

（○は1つ）

結婚生活を送るにあたって必要だと思う世帯収入については、15～19 歳では「400 万円～500 万円未満」が 13.7%と最も多く、20～24 歳では「600 万円～700 万円未満」が 26.7%、25～29 歳では「700 万円～800 万円未満」が 18.5%、30～34 歳では「400 万円～500 万円未満」と「500 万円～600 万円未満」、「600 万円～700 万円未満」が 14.7%、35～39 歳では「500 万円～600 万円未満」が 20.0%と最も多くなっています。

次いで、15～19 歳、20～24 歳では「500 万円～600 万円未満」がそれぞれ 10.5%、14.1%と多く、25～29 歳では「400 万円～500 万円未満」と「500 万円～600 万円未満」が 14.1%、30～34 歳では「700 万円～800 万円未満」と「1000 万円以上」が 13.2%、35～39 歳では「400 万円～500 万円未満」と「600 万円～700 万円未満」が 13.3%と多くなっています。

〔結婚生活を送るにあたって必要だと思う世帯収入〕



Ⅱ-3. 日頃の意識と生活について

クロス集計『困難経験別』について

困難経験別の各困難経験者の算出方法は、以下のとおりです。

ひきこもり (外出頻度低が6カ月以上)	問 27『あなたは普段どのくらい外出しますか』の質問に対し、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と回答し、かつ、問 28「あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか」の質問でその状態が6カ月以上続いていると回答した方
ヤングケアラー	問 23『あなたは、 成人する前に 、家族の中で高齢や病気、身体が不自由、幼いなどの理由で支援やケアが必要な人のお世話をしていたことがありますか』の質問に対し、「ある（現在未成年で今もしている場合を含む）」と回答した方
経済的困難	問 22『成人する前に経験をしたこと』を問う質問に対し、「生活が経済的に困っていたことがある」と回答した方
親からの虐待	問 22『成人する前に経験をしたこと』を問う質問に対し、「親から虐待されていたことがある」と回答した方
いじめを受けた	問 22『成人する前に経験をしたこと』を問う質問に対し、「いじめを受けたことがある」と回答した方
不登校になった	問 22『成人する前に経験をしたこと』を問う質問に対し、「不登校になったことがある」と回答した方

1 心身の状態について

〔1〕回答者の心身の状態

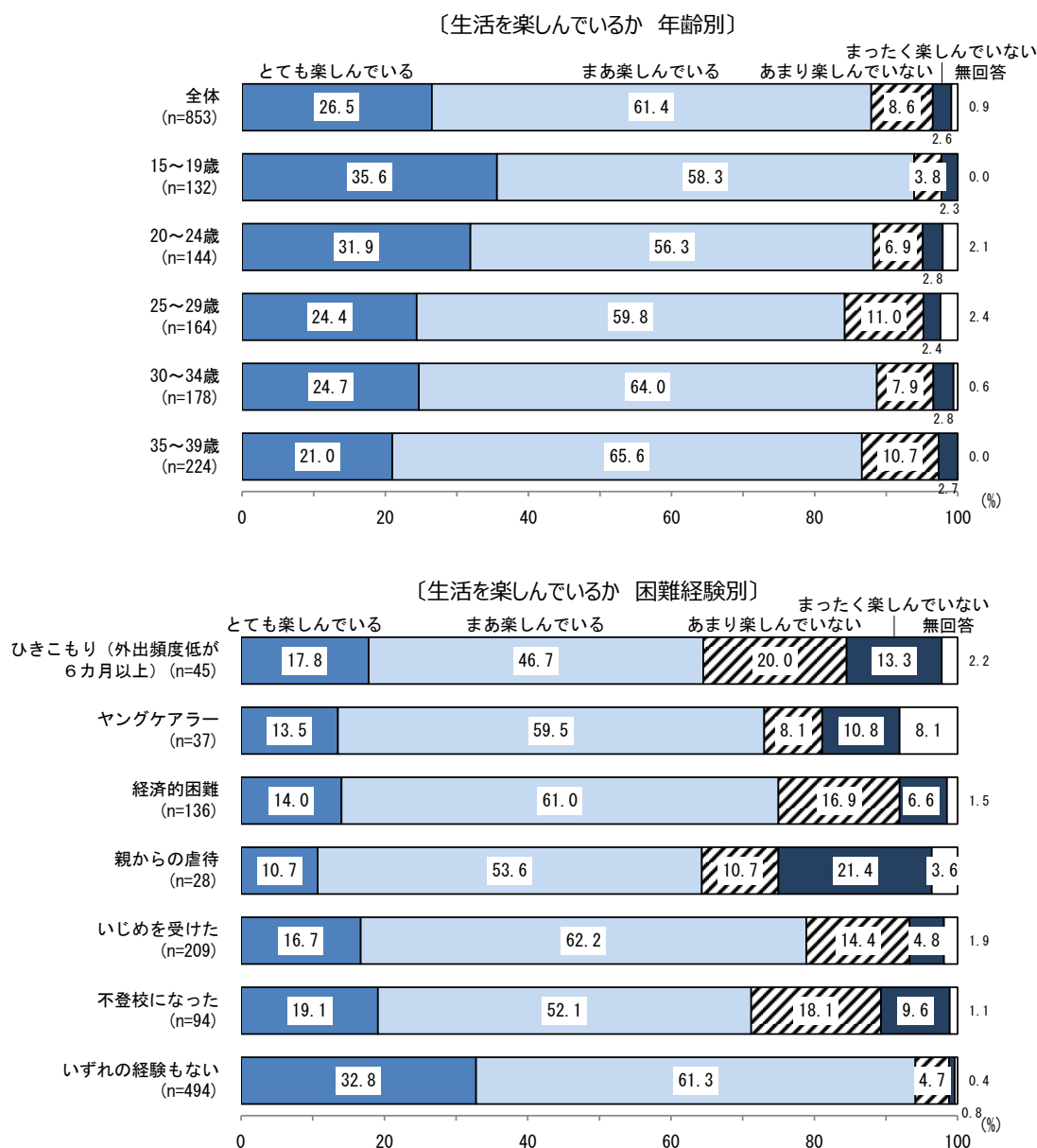
問18 あなたの心身の状態についておたずねします。（それぞれ〇は1つ）

■ 生活を楽しんでいるか。

生活を楽しんでいるかを年齢別にみると、すべてのカテゴリーで「まあ楽しんでいる」が多く、15～19 歳では 58.3%、20～24 歳では 56.3%、25～29 歳では 59.8%、30～34 歳では 64.0%、35～39 歳では 65.6%となっています。次いで、「とても楽しんでいる」が多くなっています。

また困難経験別にみると、すべてのカテゴリーで「まあ楽しんでいる」が多く、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）では 46.7%、ヤングケアラーでは 59.5%、経済的困難では 61.0%、親からの虐待では 53.6%、いじめを受けたでは 62.2%、不登校になったでは 52.1%となっています。

次いで、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）、経済的困難では「あまり楽しんでいない」がそれぞれ 20.0%、16.9%、ヤングケアラー、いじめを受けた、不登校になったでは「とても楽しんでいる」がそれぞれ 13.5%、16.7%、19.1%、親からの虐待では「まったく楽しんでいない」が 21.4%と多くなっています。

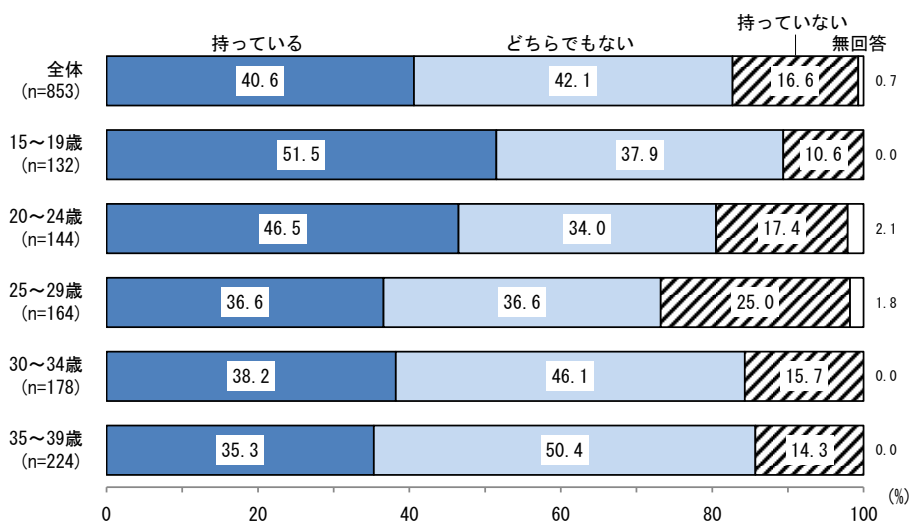


■ 将来に対して希望を持っているか。

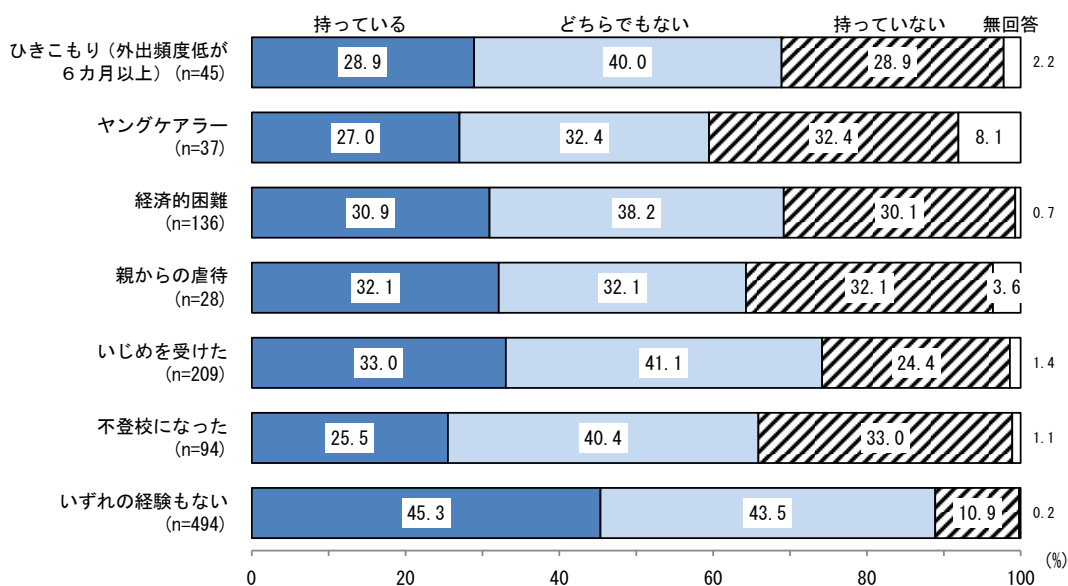
将来に対する希望を持っているかを年齢別にみると、15～19 歳、20～24 歳では「持っている」がそれぞれ 51.5%、46.5%、25～29 歳では「持っている」と「どちらでもない」が 36.6%、30～34 歳、35～39 歳では「どちらでもない」がそれぞれ 46.1%、50.4%と最も多くなっています。次いで、15～19 歳、20～24 歳では「どちらでもない」がそれぞれ 37.9%、34.0%、25～29 歳では「持っていない」が 25.0%、30～34 歳、35～39 歳では「持っている」がそれぞれ 38.2%、35.3%と多くなっています。

困難経験別にみると、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）、経済的困難、いじめを受けた、不登校になったでは「どちらでもない」がそれぞれ 40.0%、38.2%、41.1%、40.4%と最も多く、ヤングケアラーでは「どちらでもない」と「持っていない」が 32.4%、親からの虐待では「持っている」と「どちらでもない」、「持っていない」が 32.1%となっています。

〔将来に対する希望を持っているか 年齢別〕



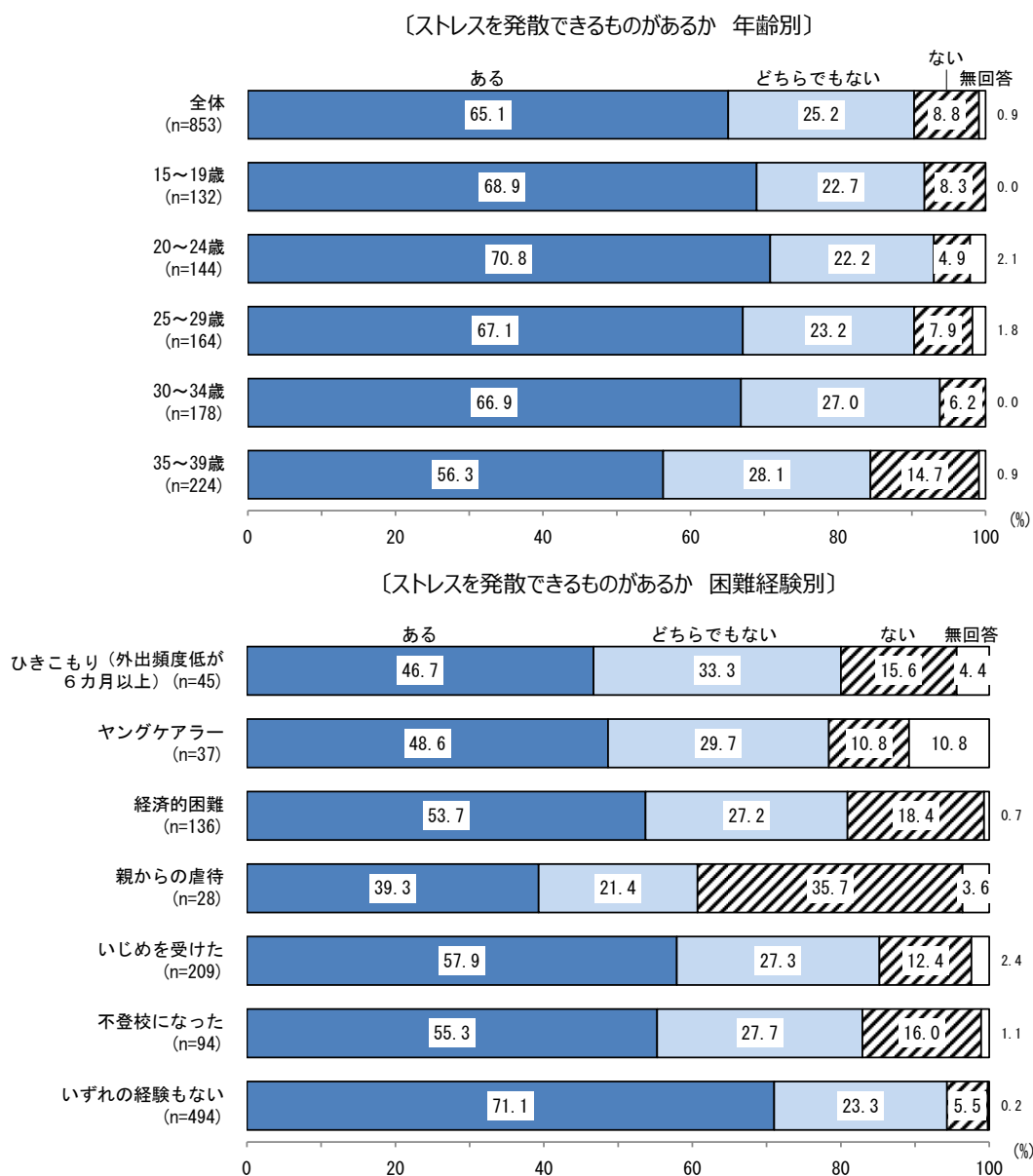
〔将来に対する希望を持っているか 困難経験別〕



■ ストレスを発散できるものがあるか。

ストレスを発散できるものがあるかを年齢別にみると、すべてのカテゴリーで「ある」が多く、15～19 歳では 68.9%、20～24 歳では 70.8%、25～29 歳では 67.1%、30～34 歳では 66.9%、35～39 歳では 56.3%となっています。

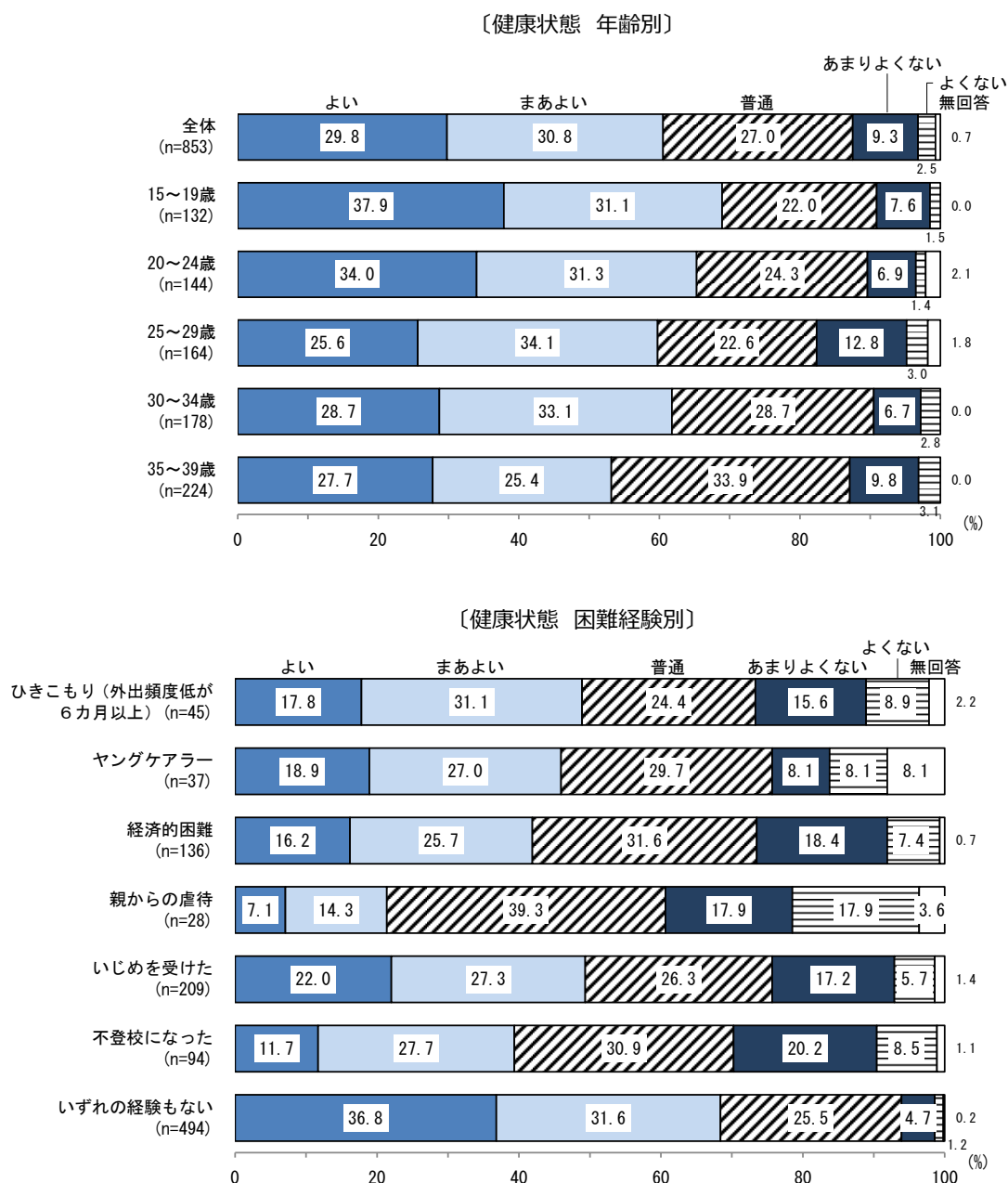
経験困難別にみると、すべてのカテゴリーで「ある」が多く、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）では 46.7%、ヤングケアラーでは 48.6%、経済的困難では 53.7%、親からの虐待では 39.3%、いじめを受けたでは 57.9%、不登校になったでは 55.3%となっています。



■ 回答者の健康状態はどうか。

健康状態については、15～19 歳、20～24 歳では「よい」がそれぞれ 37.9%、34.0%と最も多く、25～29 歳、30～34 歳では「まあよい」がそれぞれ 34.1%、33.1%、35～39 歳では「普通」が 33.9%と最も多くなっています。次いで、15～19 歳、20～24 歳では「まあよい」がそれぞれ 31.1%、31.3%と多く、25～29 歳、35～39 歳では「よい」がそれぞれ 25.6%、27.7%、30～34 歳では「よい」と「普通」が 28.7%と多くなっています。

困難経験別にみると、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）、いじめを受けたでは「まあよい」がそれぞれ 31.1%、27.3%と最も多く、ヤングケアラー、経済的困難、親からの虐待、不登校になったでは「普通」がそれぞれ 29.7%、31.6%、39.3%、30.9%と最も多くなっています。次いで、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）、いじめを受けたでは「普通」がそれぞれ 24.4%、26.3%、ヤングケアラー、経済的困難、不登校になったでは「まあよい」がそれぞれ 27.0%、25.7%、27.7%、親からの虐待では「あまりよくない」と「よくない」が 17.9%と多くなっています。

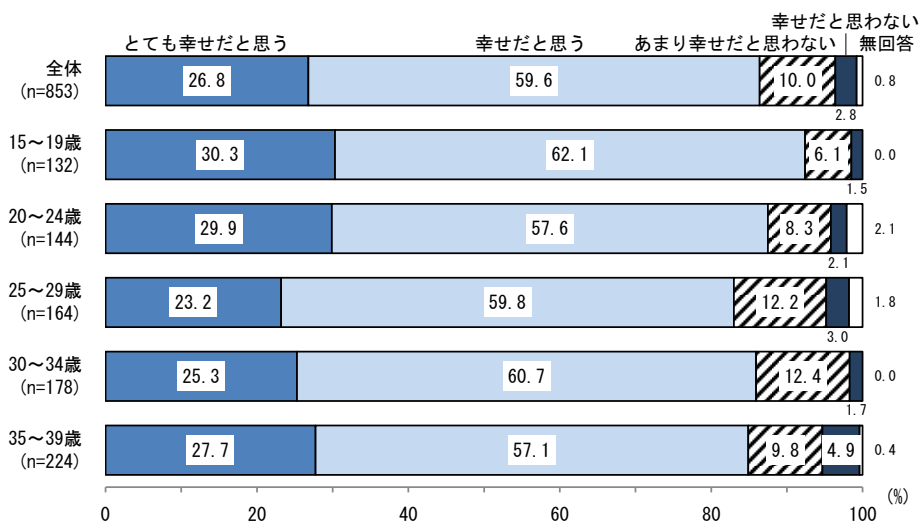


■ 自分が幸せだと思うか。

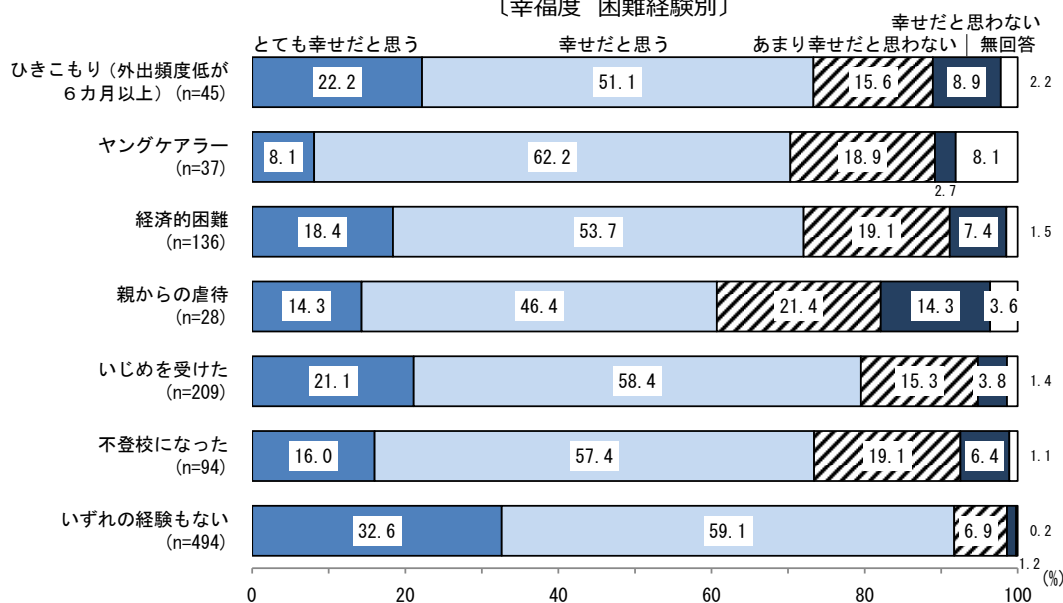
幸福度を年齢別にみると、すべてのカテゴリーで「幸せだと思う」が多く、15～19 歳では 62.1%、20～24 歳では 57.6%、25～29 歳では 59.8%、30～34 歳では 60.7%、35～39 歳では 57.1%となっています。次いで、「とても幸せだと思う」が多くなっています。

困難経験別にみると、すべてのカテゴリーで「幸せだと思う」が多く、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）では 51.1%、ヤングケアラーでは 62.2%、経済的困難では 53.7%、親からの虐待では 46.4%、いじめを受けたでは 58.4%、不登校になったでは 57.4%となっています。次いで、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）、いじめを受けたでは「とても幸せだと思う」がそれぞれ 22.2%、21.1%と多く、ヤングケアラー、経済的困難、親からの虐待、不登校になったでは「あまり幸せだと思わない」がそれぞれ 18.9%、19.1%、21.4%、19.1%と多くなっています。

〔幸福度 年齢別〕



〔幸福度 困難経験別〕



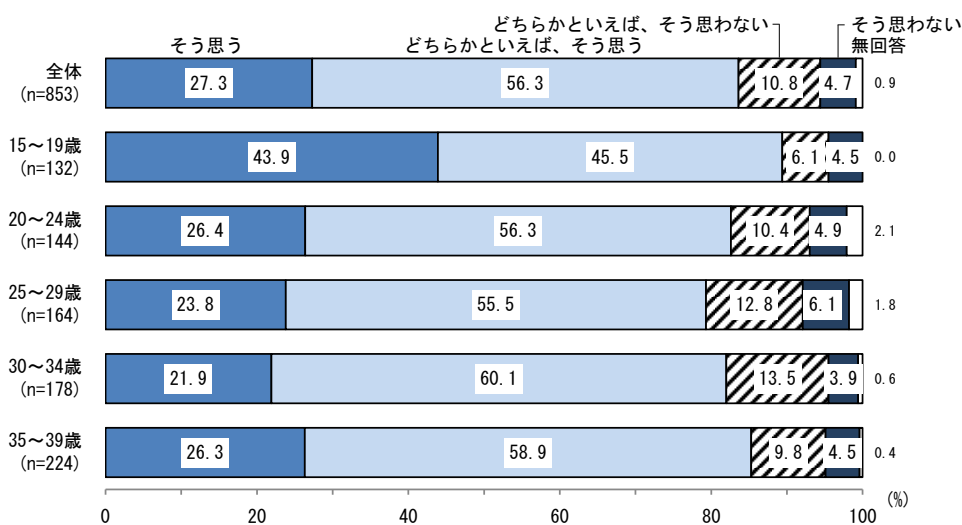
■「社会のために役立つことをしたいと思うか。」

社会のために役立つことをしたいと思うかを年齢別にみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば、そう思う」が多く、15～19歳では45.5%、20～24歳では56.3%、25～29歳では55.5%、30～34歳では60.1%、35～39歳では58.9%となっています。次いで、「そう思う」が多くなっています。

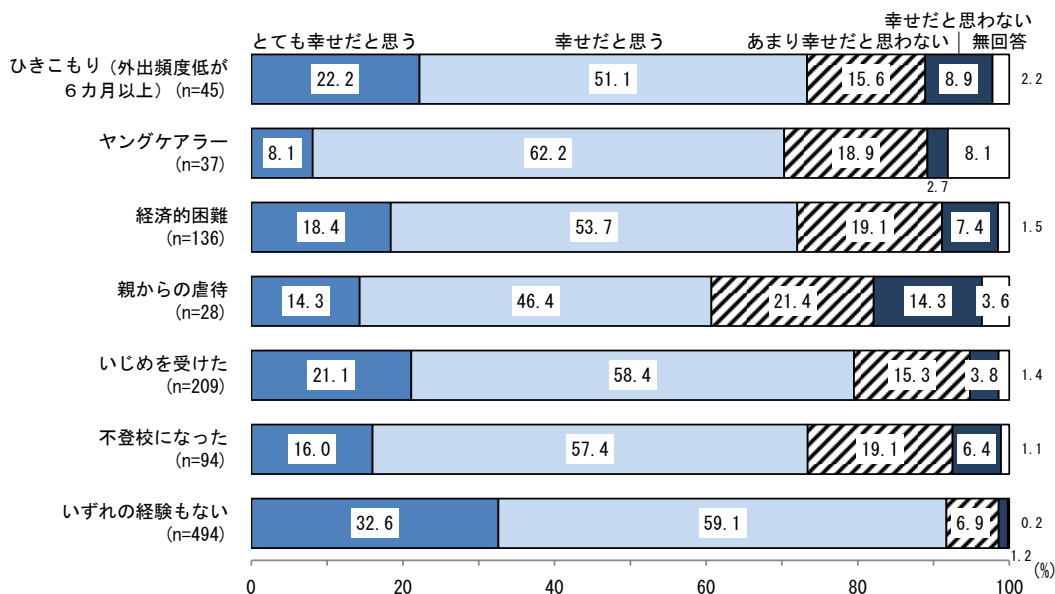
困難経験別にみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば、そう思う」が多く、ひきこもり（外出頻度低が6か月以上）では57.8%、ヤングケアラーでは51.4%、経済的困難では57.4%、親からの虐待では60.7%、いじめを受けたでは53.1%、不登校になったでは54.3%となっています。

次いで、「そう思う」が多くなっています。

〔社会のために役立つことをしたいと思うか 年齢別〕



〔社会のために役立つことをしたいと思うか 困難経験別〕



2 居場所・孤独感

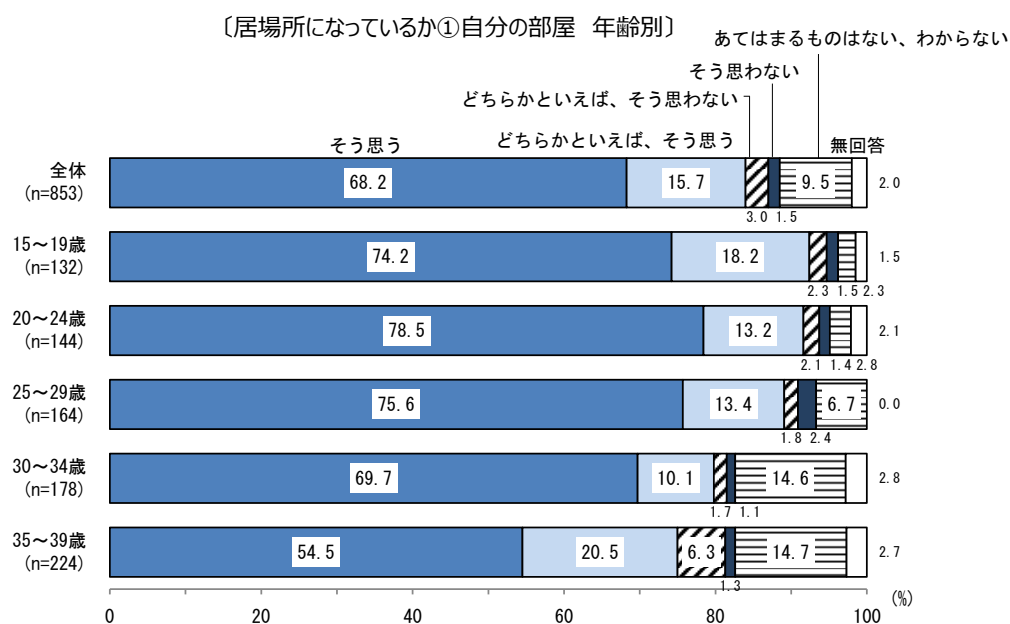
〔1〕回答者にとっての居場所について

問19 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。（それぞれ〇は1つ）

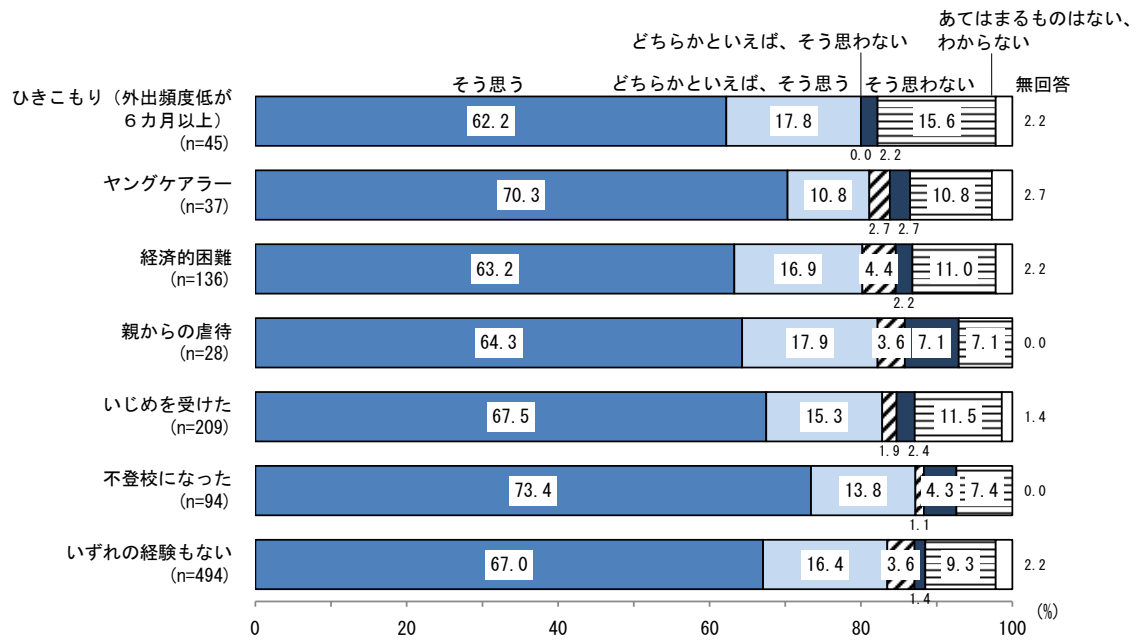
①自分の部屋

居場所になっているか①自分の部屋を年齢別にみると、すべてのカテゴリーで「そう思う」が多く、15～19歳では74.2%、20～24歳では78.5%、25～29歳では75.6%、30～34歳では69.7%、35～39歳では54.5%となっています。次いで、15～19歳、20～24歳、25～29歳、35～39歳では「どちらかといえば、そう思う」、30～34歳では「あてはまるものはない、わからない」が多くなっています。

困難経験別では、すべてのカテゴリーで「そう思う」が多く、ひきこもり（外出頻度低が6カ月以上）では62.2%、ヤングケアラーでは70.3%、経済的困難では63.2%、親からの虐待では64.3%、いじめを受けたでは67.5%、不登校になったでは73.4%となっています。次いで、ひきこもり（外出頻度低が6カ月以上）、経済的困難、親からの虐待、いじめを受けた、不登校になったでは「どちらかといえば、そう思う」がそれぞれ17.8%、16.9%、17.9%、15.3%、13.8%、ヤングケアラーでは「どちらかといえば、そう思う」と「あてはまるものはない、わからない」が10.8%と多くなっています。



〔居場所になっているか①自分の部屋 困難経験別〕

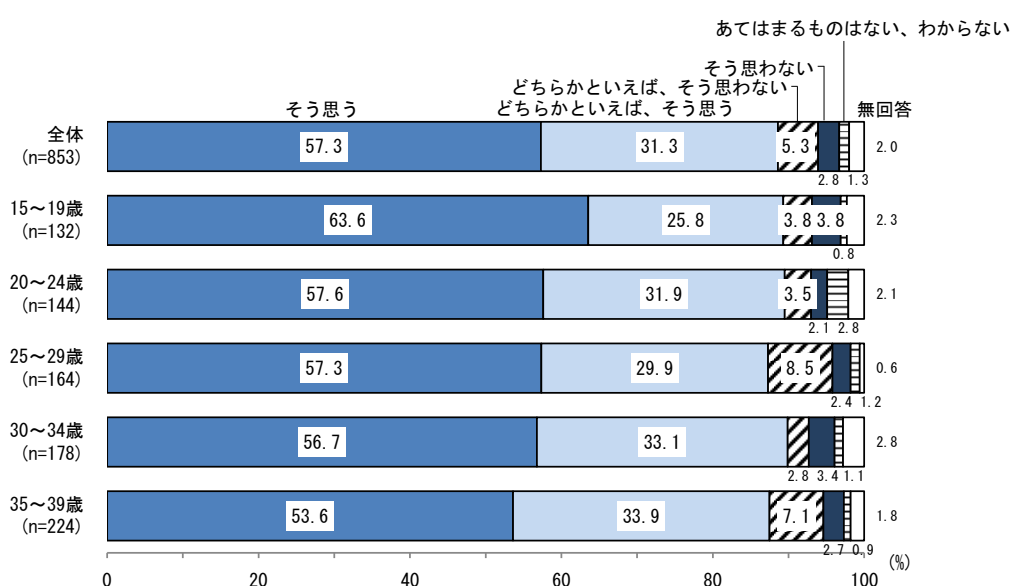


②家庭

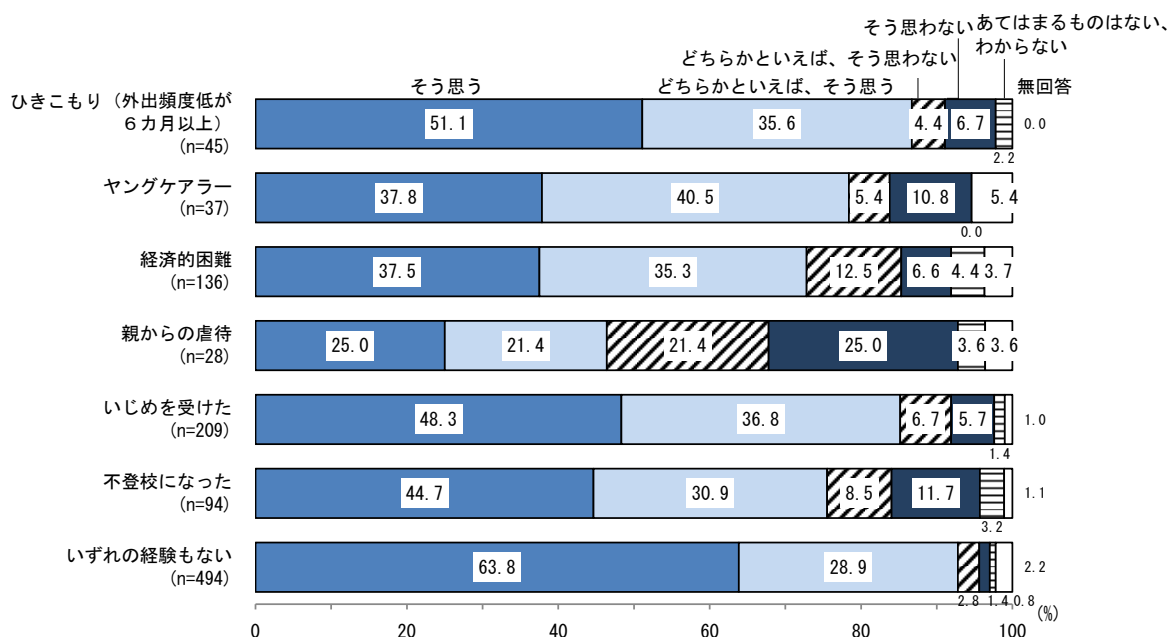
居場所になっているか②家庭を年齢別にみると、すべてのカテゴリーで「そう思う」が多く、15～19 歳では 63.6%、20～24 歳では 57.6%、25～29 歳では 57.3%、30～34 歳では 56.7%、35～39 歳では 53.6%となっています。次いで、「どちらかといえば、そう思う」が多くなっています。

困難経験別では、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）、経済的困難、いじめを受けた、不登校になったでは「そう思う」がそれぞれ 51.1%、37.5%、48.3%、44.7%と最も多く、ヤングケアラーでは「どちらかといえば、そう思う」が 40.5%、親からの虐待では「そう思う」と「そう思わない」が 25.0%と最も多くなっています。次いで、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）、経済的困難、いじめを受けた、不登校になったでは「どちらかといえば、そう思う」がそれぞれ 35.6%、35.3%、36.8%、30.9%と多く、ヤングケアラーでは「そう思う」が 37.8%、親からの虐待では「どちらかといえば、そう思う」と「どちらかといえば、そう思わない」が 21.4%と多くなっています。

〔居場所になっているか②家庭 年齢別〕



〔居場所になっているか②家庭 困難経験別〕

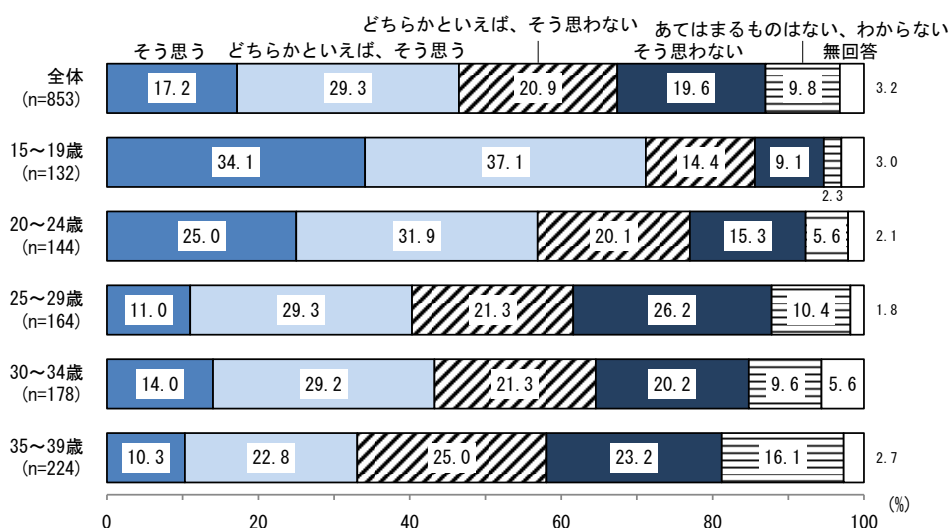


③学校

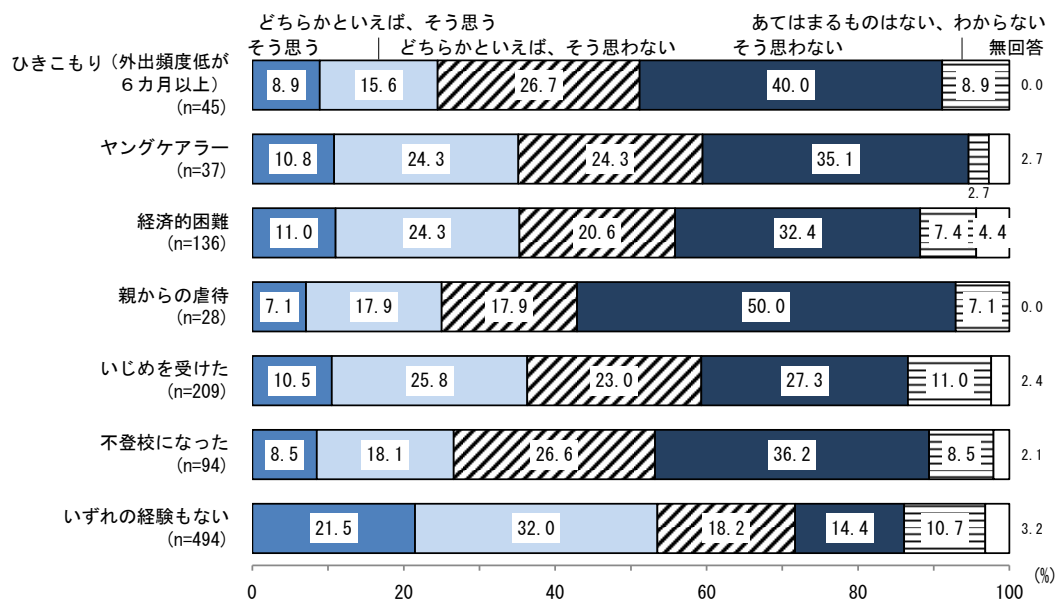
居場所になっているか③学校を年齢別にみると、15～19 歳、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳では「どちらかといえば、そう思う」がそれぞれ 37.1%、31.9%、29.3%、29.2%と最も多く、35～39 歳では「どちらかといえば、そう思わない」が 25.0%と最も多くなっています。次いで、15～19 歳、20～24 歳では「そう思う」がそれぞれ 34.1%、25.0%と多く、25～29 歳、35～39 歳では「そう思わない」がそれぞれ 26.2%、23.2%、30～34 歳では「どちらかといえば、そう思わない」が 21.3%と多くなっています。

困難経験別にみると、すべてのカテゴリーで「そう思わない」が多く、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）では 40.0%、ヤングケアラーでは 35.1%、経済的困難では 32.4%、親からの虐待では 50.0%、いじめを受けたでは 27.3%、不登校になったでは 36.2%となっています。次いで、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）、不登校になったでは「どちらかといえば、そう思わない」がそれぞれ 26.7%、26.6%、ヤングケアラー、親からの虐待では「どちらかといえば、そう思う」と「どちらかといえば、そう思わない」が 24.3%、17.9%、経済的困難、いじめを受けたでは「どちらかといえば、そう思う」がそれぞれ 24.3%、25.8%と多くなっています。

〔居場所になっているか③学校 年齢別〕



〔居場所になっているか③学校 困難経験別〕

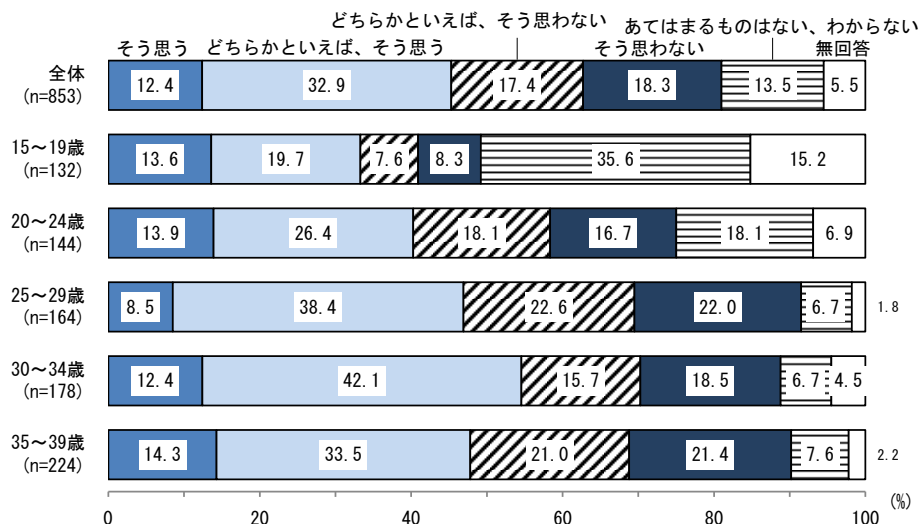


④職場

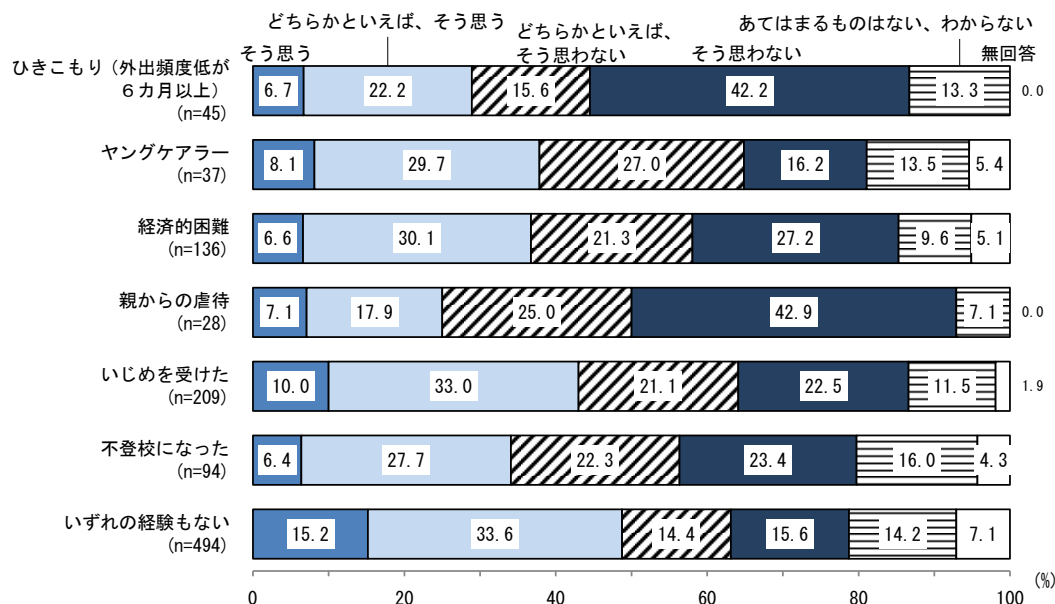
居場所になっているか④職場を年齢別にみると、15～19 歳では「あてはまるものはない、わからない」が 35.6%と最も多く、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「どちらかといえば、そう思う」がそれぞれ 26.4%、38.4%、42.1%、33.5%と最も多くなっています。次いで、15～19 歳では「どちらかといえば、そう思う」が 19.7%、20～24 歳では「どちらかといえば、そう思わない」と「あてはまるものはない、わからない」が 18.1%、25～29 歳では「どちらかといえば、そう思わない」が 22.6%、30～34 歳、35～39 歳では「そう思わない」がそれぞれ 18.5%、21.4%と多くなっています。

困難経験別にみると、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）、親からの虐待では「そう思わない」がそれぞれ 42.2%、42.9%、ヤングケアラー、経済的困難、いじめを受けた、不登校になったでは「どちらかといえば、そう思う」がそれぞれ 29.7%、30.1%、33.0%、27.7%と最も多くなっています。次いで、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）では「どちらかといえば、そう思う」が 22.2%、ヤングケアラー、親からの虐待では「どちらかといえば、そう思わない」がそれぞれ 27.0%、25.0%、経済的困難、いじめを受けた、不登校になったでは「そう思わない」がそれぞれ 27.2%、22.5%、23.4%と多くなっています。

〔居場所になっているか④職場 年齢別〕



〔居場所になっているか④職場 困難経験別〕

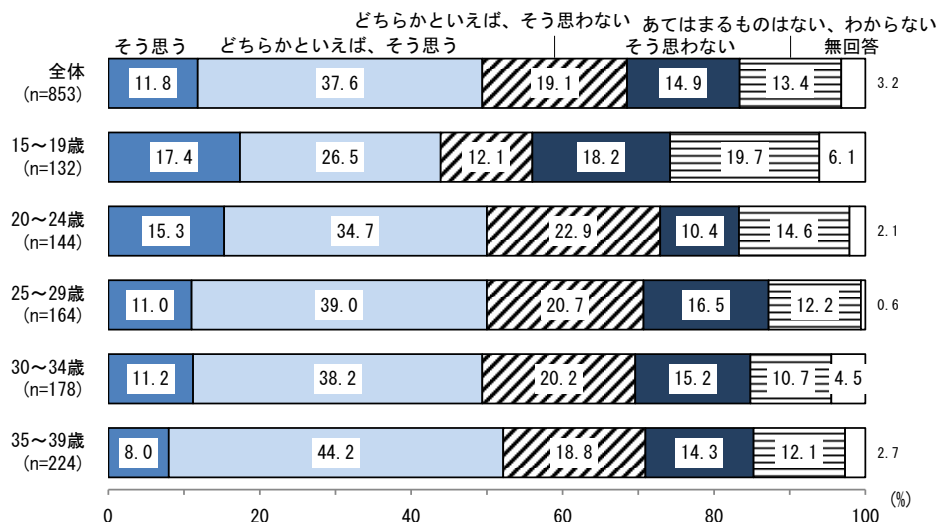


⑤地域

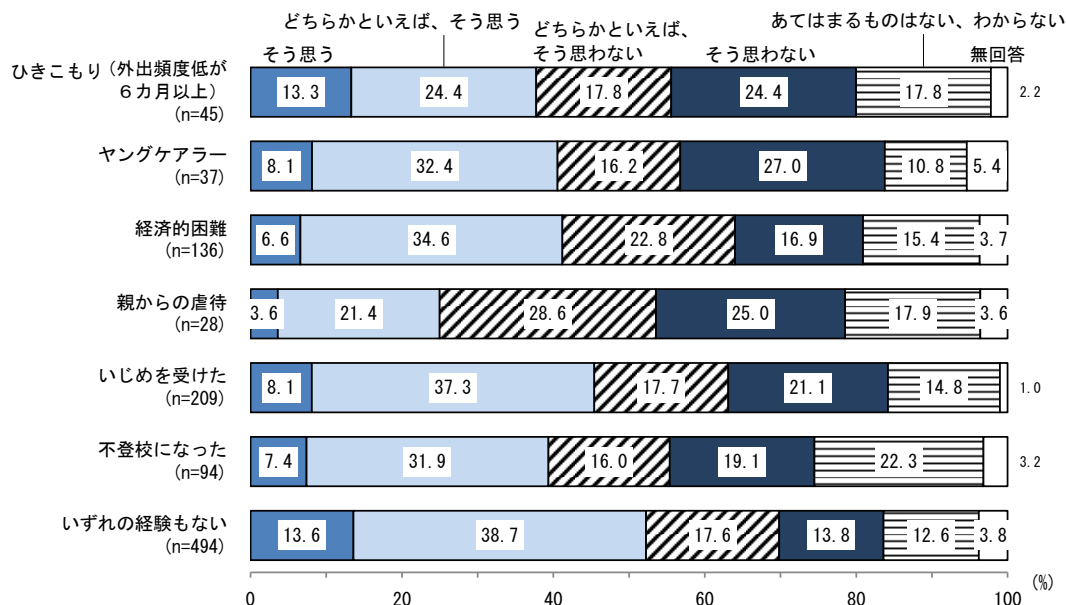
居場所になっているか⑤地域を年齢別にみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば、そう思う」が多く、15～19歳では26.5%、20～24歳では34.7%、25～29歳では39.0%、30～34歳では38.2%、35～39歳では44.2%となっています。次いで、15～19歳では「あてはまるものはない、わからない」が19.7%と多く、20～24歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳では「どちらかといえば、そう思わない」がそれぞれ22.9%、20.7%、20.2%、18.8%と多くなっています。

困難経験別では、ひきこもり（外出頻度低が6カ月以上）では「どちらかといえば、そう思う」と「そう思わない」が24.4%と最も多く、ヤングケアラー、経済的困難、いじめを受けた、不登校になったでは「どちらかといえば、そう思う」がそれぞれ32.4%、34.6%、37.3%、31.9%、親からの虐待では「どちらかといえば、そう思わない」が28.6%と最も多くなっています。次いで、ひきこもり（外出頻度低が6カ月以上）では「どちらかといえば、そう思わない」と「あてはまるものはない、わからない」が17.8%、ヤングケアラー、親からの虐待、いじめを受けたでは「そう思わない」がそれぞれ27.0%、25.0%、21.1%、経済的困難では「どちらかといえば、そう思わない」が22.8%、不登校になったでは「あてはまるものはない、わからない」が22.3%と多くなっています。

〔居場所になっているか⑤地域 年齢別〕



〔居場所になっているか⑤地域 困難経験別〕

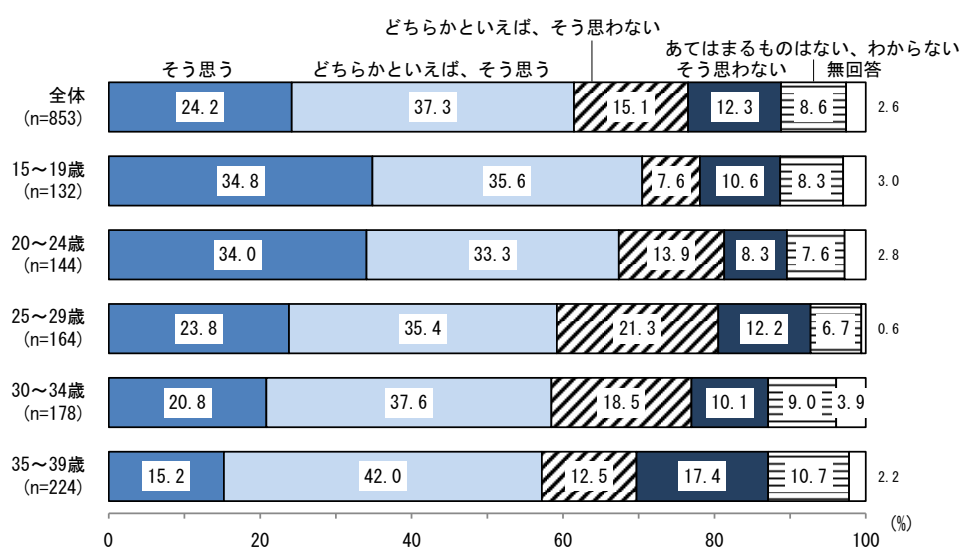


⑥インターネット空間

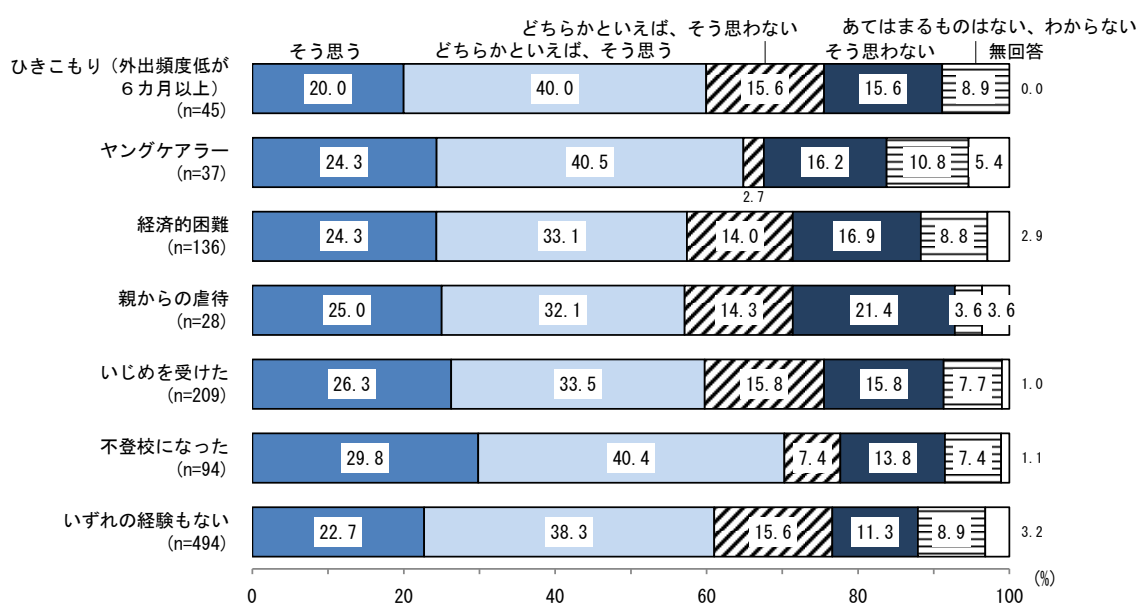
居場所になっているか⑥インターネット空間を年齢別にみると、15～19 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「どちらかといえば、そう思う」がそれぞれ 35.6%、35.4%、37.6%、42.0%、20～24 歳では「そう思う」が 34.0%と最も多くなっています。次いで、15～19 歳、25～29 歳、30～34 歳では「そう思う」がそれぞれ 34.8%、23.8%、20.8%、20～24 歳では「どちらかといえば、そう思う」が 33.3%、35～39 歳では「そう思わない」が 17.4%と多くなっています。

困難経験別にみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば、そう思う」が多く、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）では 40.0%、ヤングケアラーでは 40.5%、経済的困難では 33.1%、親からの虐待では 32.1%、いじめを受けたでは 33.5%、不登校になったでは 40.4%となっています。次いで、「そう思う」が多くなっています。

【居場所になっているか⑥インターネット空間 年齢別】



【居場所になっているか⑥インターネット空間 困難経験別】



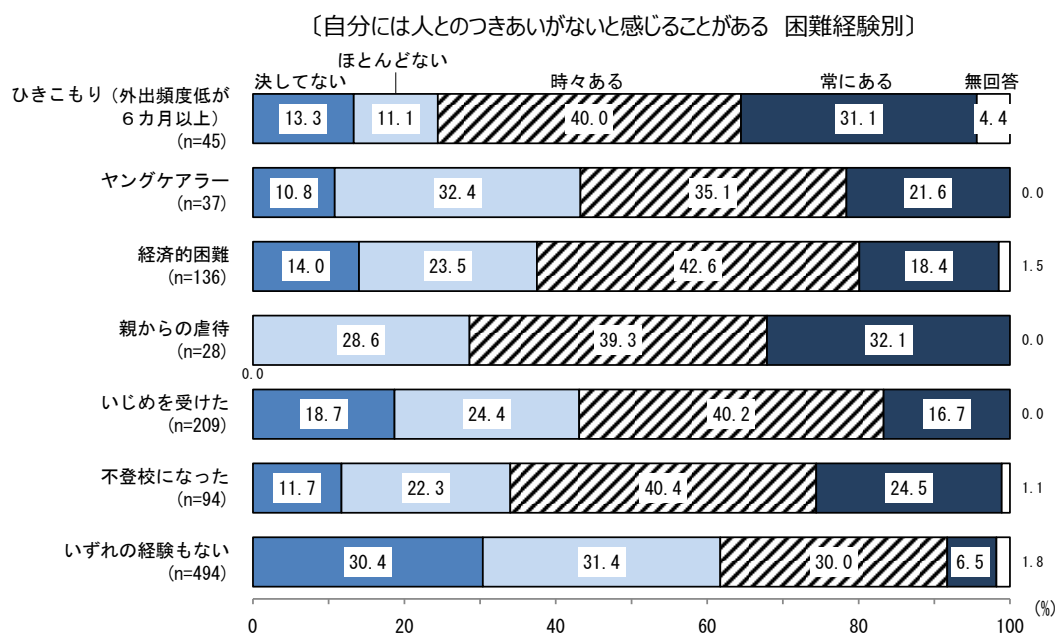
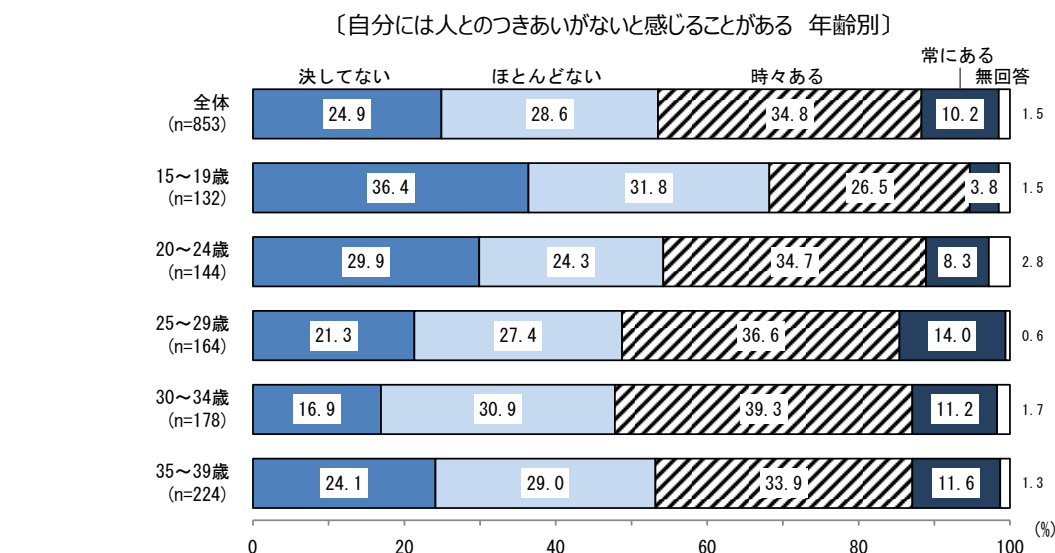
〔2〕孤独感について

問20 次の①～③のことについて、あなたはどれくらいの頻度で感じていますか。
(それぞれ〇は1つ)

①自分には人とのつきあいがないと感じることがある

自分には人とのつきあいがないと感じることがあるかを年齢別にみると、15～19 歳では「決してない」が 36.4%と最も多く、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「時々ある」がそれぞれ 34.7%、36.6%、39.3%、33.9%と最も多くなっています。次いで、15～19 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「ほとんどない」がそれぞれ 31.8%、27.4%、30.9%、29.0%と多く、20～24 歳では「決してない」が 29.9%と多くなっています。

困難経験別にみると、すべてのカテゴリーで「時々ある」が多く、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）では 40.0%、ヤングケアラーでは 35.1%、経済的困難では 42.6%、親からの虐待では 39.3%、いじめを受けたでは 40.2%、不登校になったでは 40.4%となっています。次いで、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）、親からの虐待、不登校になったでは「常にある」がそれぞれ 31.1%、32.1%、24.5%、ヤングケアラー、経済的困難、いじめを受けたでは「ほとんどない」がそれぞれ 32.4%、23.5%、24.4%と多くなっています。

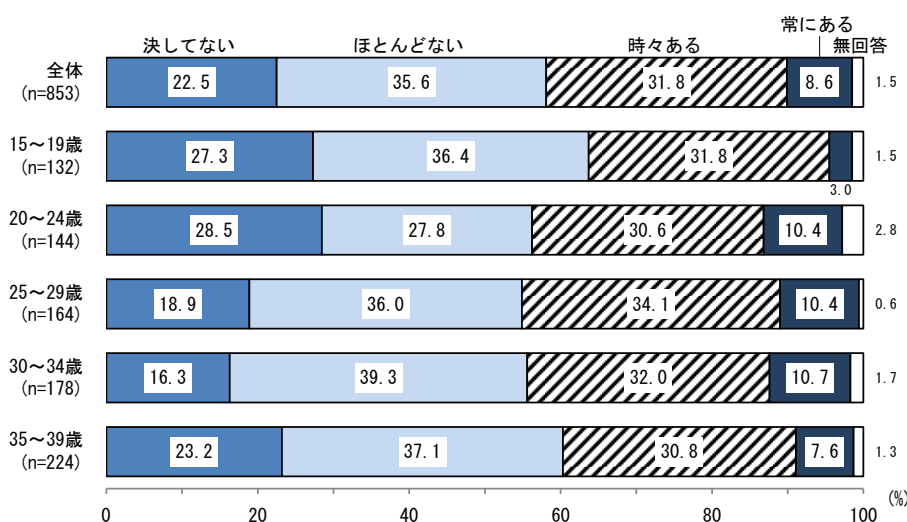


②自分は取り残されていると感じることがある

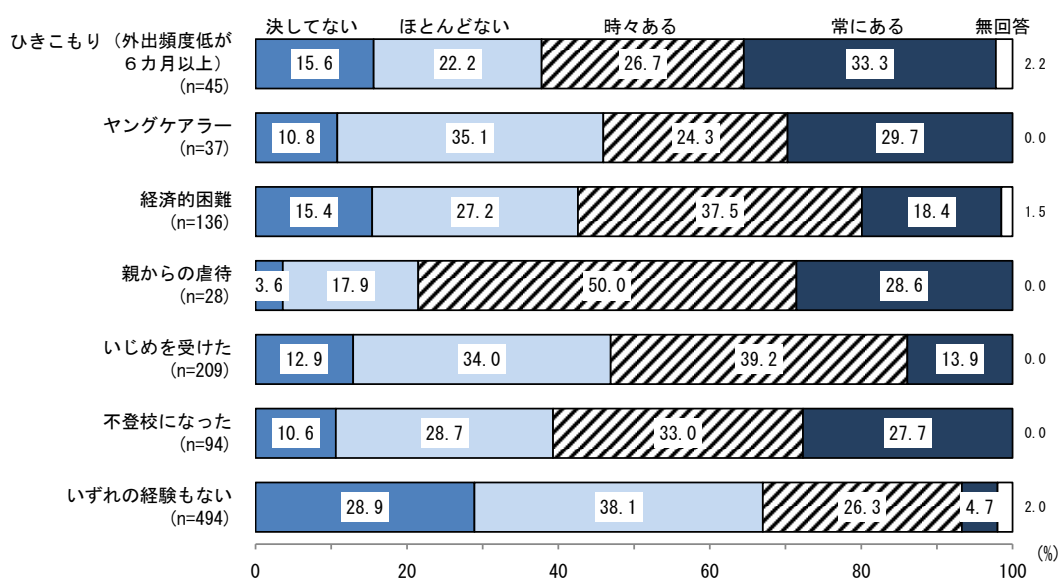
自分は取り残されていると感じることがあるかを年齢別にみると、15～19歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳では「ほとんどない」がそれぞれ36.4%、36.0%、39.3%、37.1%、20～24歳では「時々ある」が30.6%と最も多くなっています。次いで、15～19歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳では「時々ある」がそれぞれ31.8%、34.1%、32.0%、30.8%、20～24歳では「決してない」が28.5%と多くなっています。

困難経験別にみると、ひきこもり（外出頻度低が6カ月以上）では「常にある」が33.3%、ヤングケアラーでは「ほとんどない」が35.1%、経済的困難、親からの虐待、いじめを受けた、不登校になったでは「時々ある」がそれぞれ37.5%、50.0%、39.2%、33.0%と最も多くなっています。次いで、ひきこもり（外出頻度低が6カ月以上）では「時々ある」が26.7%、ヤングケアラー、親からの虐待では「常にある」がそれぞれ29.7%、28.6%、経済的困難、いじめを受けた、不登校になったでは「ほとんどない」がそれぞれ27.2%、34.0%、28.7%と多くなっています。

〔自分は取り残されていると感じることがある 年齢別〕



〔自分は取り残されていると感じることがある 困難経験別〕

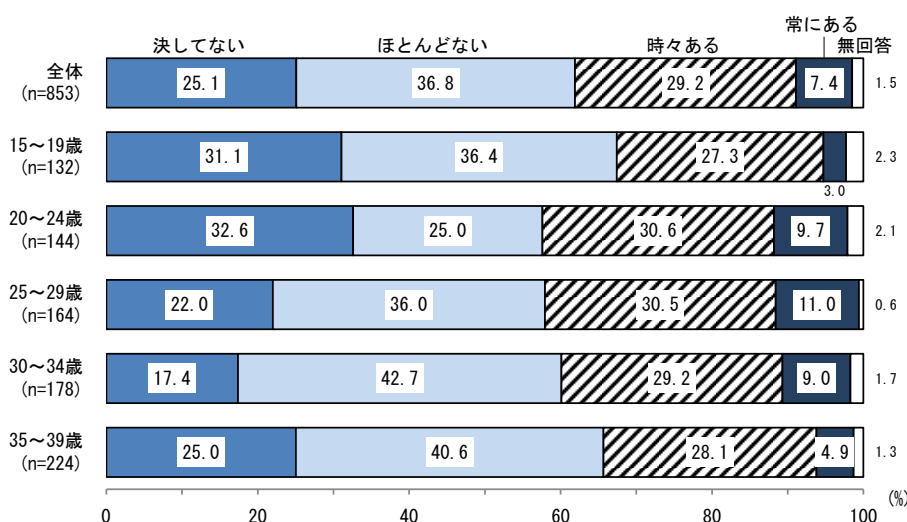


③自分は他の人たちから孤立していると感じることがある

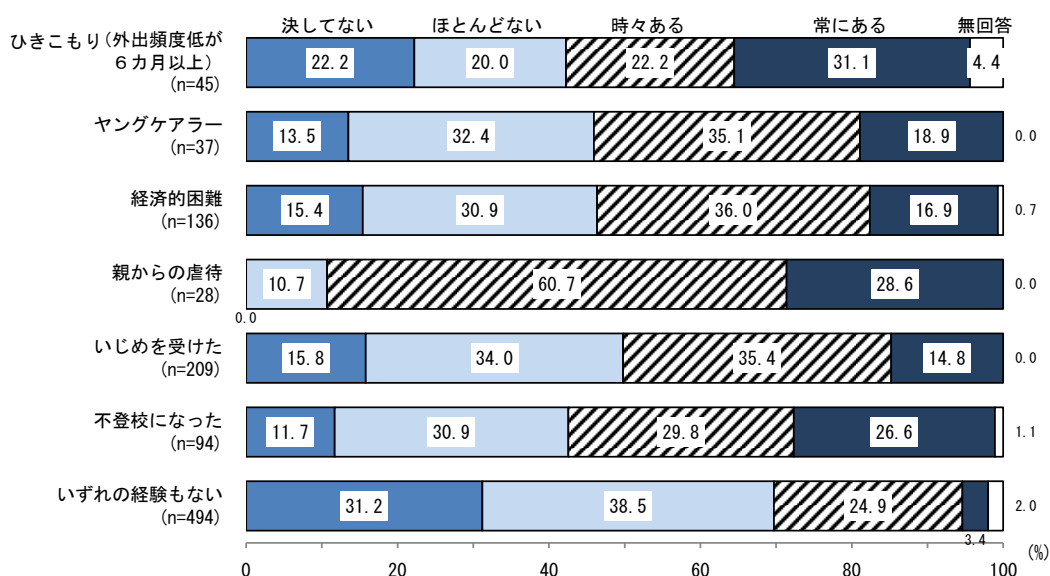
自分は他の人たちから孤立していると感じることがあるかを年齢別にみると、15～19 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「ほとんどない」がそれぞれ 36.4%、36.0%、42.7%、40.6%、20～24 歳では「決してない」が 32.6%と最も多くなっています。次いで、15～19 歳では「決してない」が 31.1%、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「時々ある」がそれぞれ 30.6%、30.5%、29.2%、28.1%と多くなっています。

困難経験別にみると、ひきこもり（外出頻度低が6カ月以上）では「常にある」が 31.1%、ヤングケアラー、経済的困難、親からの虐待、いじめを受けたでは「時々ある」がそれぞれ 35.1%、36.0%、60.7%、35.4%、不登校になったでは「ほとんどない」が 30.9%と最も多くなっています。次いで、ひきこもり（外出頻度低が6カ月以上）では「決してない」と「時々ある」が 22.2%、ヤングケアラー、経済的困難、いじめを受けたでは「ほとんどない」がそれぞれ 32.4%、30.9%、34.0%、親からの虐待では「常にある」が 28.6%、不登校になったでは「時々ある」が 29.8%と多くなっています。

〔自分は他の人たちから孤立していると感じることがある 年齢別〕



〔自分は他の人たちから孤立していると感じることがある 困難経験別〕

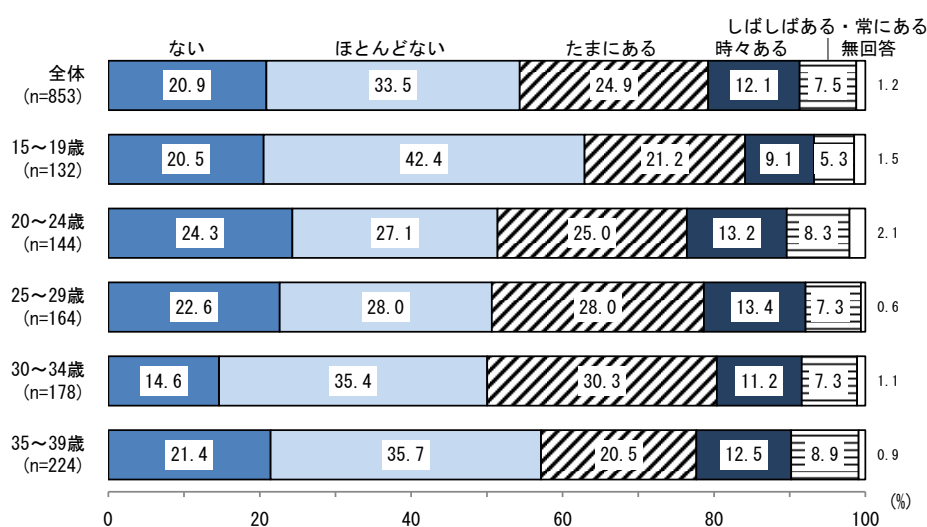


問21 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。（〇は1つ）

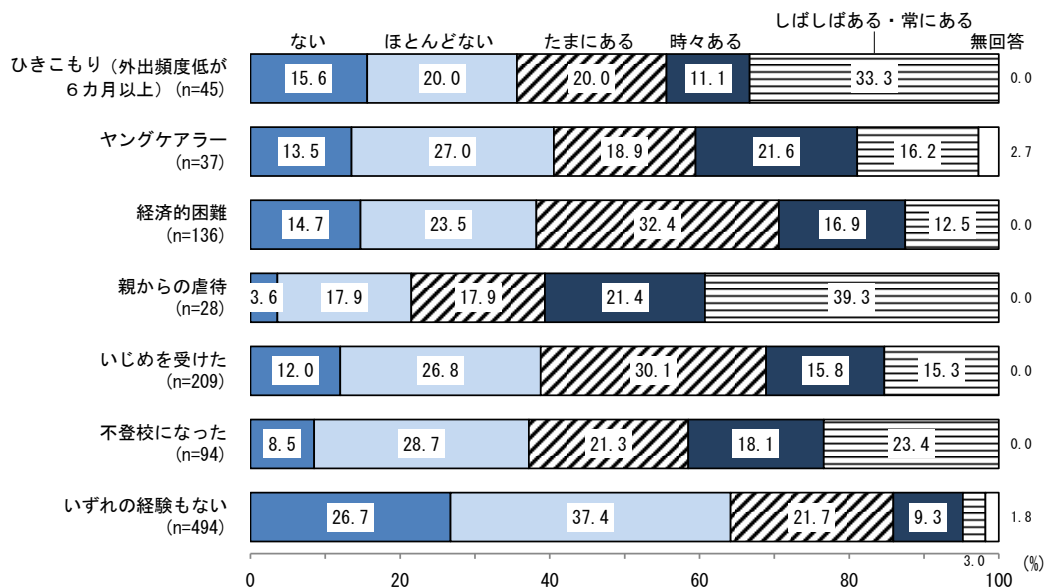
孤独を感じることがあるかを年齢別にみると、15～19 歳、20～24 歳、30～34 歳、35～39 歳では「ほとんどない」がそれぞれ 42.4%、27.1%、35.4%、35.7%、25～29 歳では「ほとんどない」と「たまにある」が 28.0%と最も多くなっています。次いで、15～19 歳、20～24 歳、30～34 歳では「たまにある」がそれぞれ 21.2%、25.0%、30.3%と多く、25～29 歳、35～39 歳では「ない」がそれぞれ 22.6%、21.4%と多くなっています。

困難経験別にみると、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）、親からの虐待では「しばしばある・常にある」がそれぞれ 33.3%、39.3%、ヤングケアラー、不登校になったでは「ほとんどない」がそれぞれ 27.0%、28.7%、経済的困難、いじめを受けたでは「たまにある」がそれぞれ 32.4%、30.1%と最も多くなっています。

〔孤独を感じることがあるか 年齢別〕



〔孤独を感じることがあるか 困難経験別〕



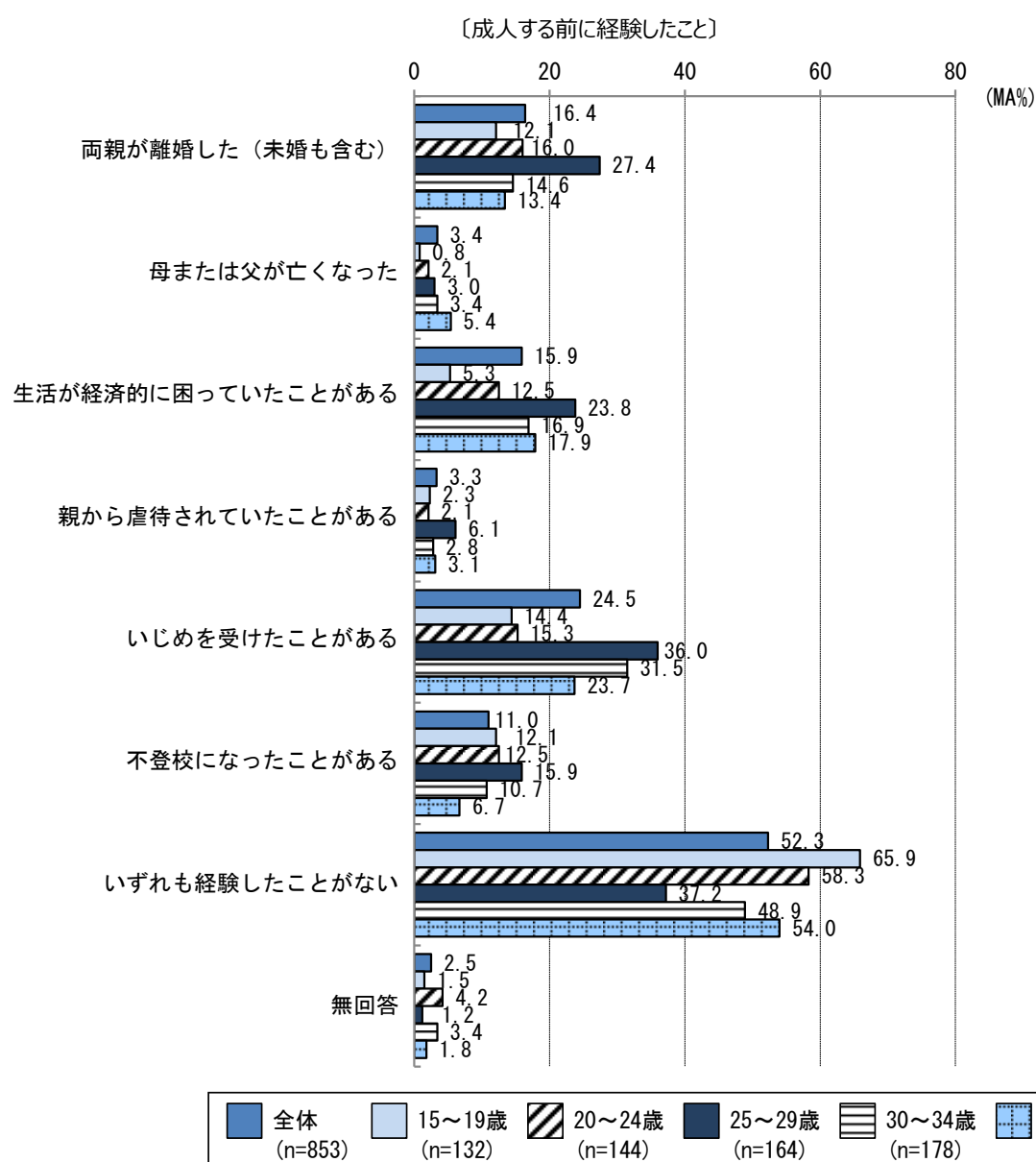
3 家族への支援やケアについて

〔1〕成人する前に経験したこと

問22 あなたは、成人する前に、以下のような経験をしたことがありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

成人する前に経験したことについては、すべてのカテゴリーで「いずれも経験したことがない」が多く、15～19歳では65.9%、20～24歳では58.3%、25～29歳では37.2%、30～34歳では48.9%、35～39歳では54.0%となっています。次いで、15～19歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳では「いじめを受けたことがある」がそれぞれ14.4%、36.0%、31.5%、23.7%、20～24歳では「両親が離婚した（未婚も含む）」が16.0%と多くなっています。

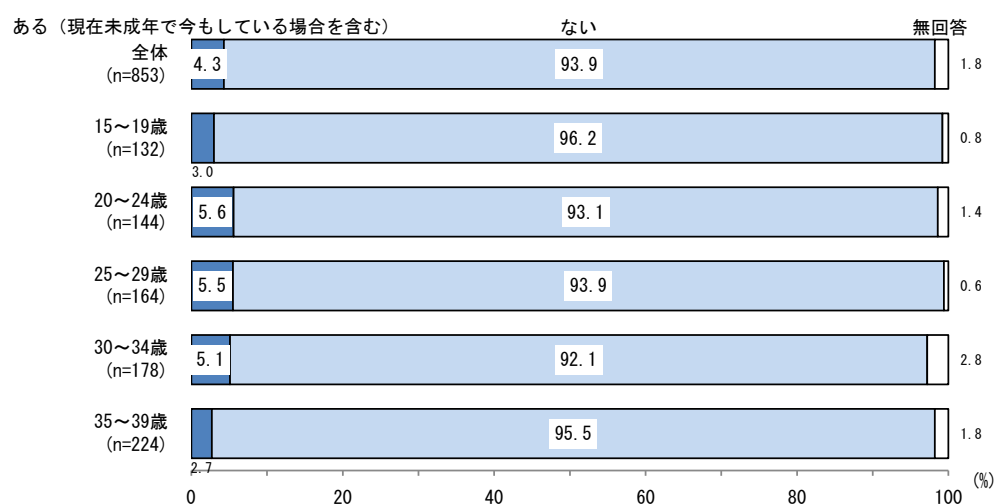


〔1〕家族へのケアや支援について

問23 あなたは、成人する前に、家族の中で高齢や病気、身体が不自由、幼いなどの理由で支援やケアが必要な人のお世話をしていたことがありますか。（〇は1つ）

成人する前に支援やケアが必要な人のお世話をしていたかについては、すべてのカテゴリーで「ない」が多く、15～19歳では96.2%、20～24歳では93.1%、25～29歳では93.9%、30～34歳では92.1%、35～39歳では95.5%となっています。

〔成人する前に支援やケアが必要な人のお世話をしていたか〕



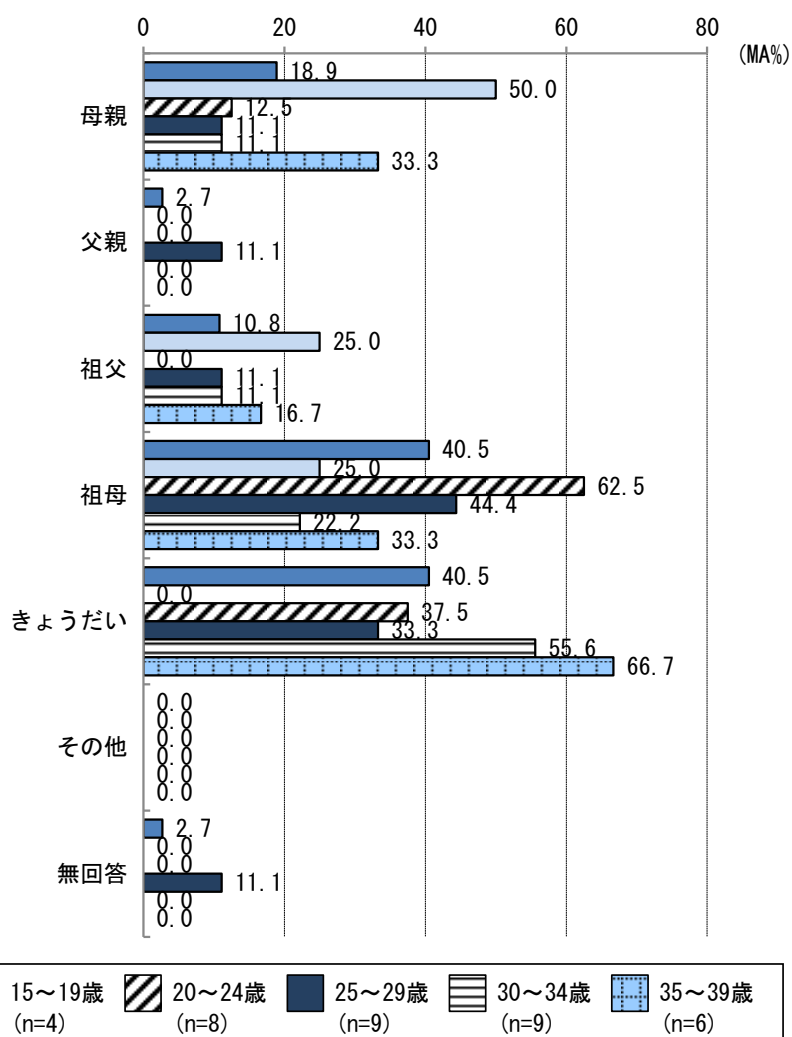
問23で「1. ある」に○をつけた方のみ

問24 あなたがしていた（している）お世話の様子についてお聞きます。

(1)お世話をしていた（している）人は誰ですか。（あてはまる番号すべてに○）

お世話をしていた人については、15～19 歳では「母親」が 50.0%、20～24 歳、25～29 歳では「祖母」がそれぞれ 62.5%、44.4%、30～34 歳、35～39 歳では「きょうだい」がそれぞれ 55.6%、66.7%と最も多くなっています。次いで、15～19 歳では「祖父」と「祖母」が 25.0%、20～24 歳、25～29 歳では「きょうだい」がそれぞれ 37.5%、33.3%、30～34 歳では「祖母」が 22.2%、35～39 歳では「母親」と「祖母」が 33.3%と多くなっています。

〔お世話していた人〕

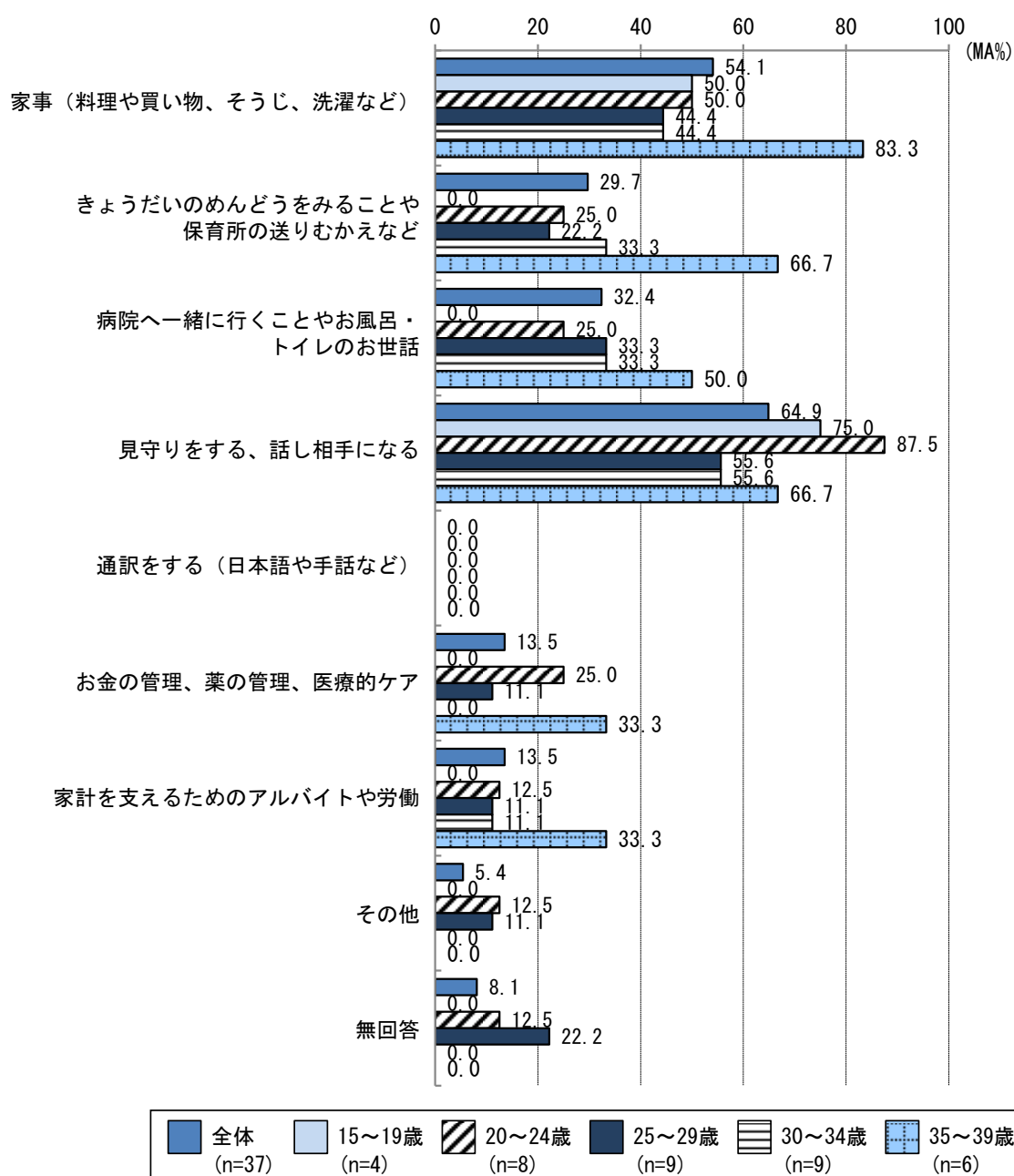


問24(2) お世話の内容を教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

お世話の内容については、15～19 歳、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳では「見守りをする、話し相手になる」がそれぞれ 75.0%、87.5%、55.6%、55.6%、35～39 歳では「家事（料理や買い物、そうじ、洗濯など）」が 83.3%と最も多くなっています。

次いで、15～19 歳、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳では「家事（料理や買い物、そうじ、洗濯など）」がそれぞれ 50.0%、50.0%、44.4%、44.4%、35～39 歳では「きょうだいのめんどろをみることや保育所の送りむかえなど」と「見守りをする、話し相手になる」が 66.7%と多くなっています。

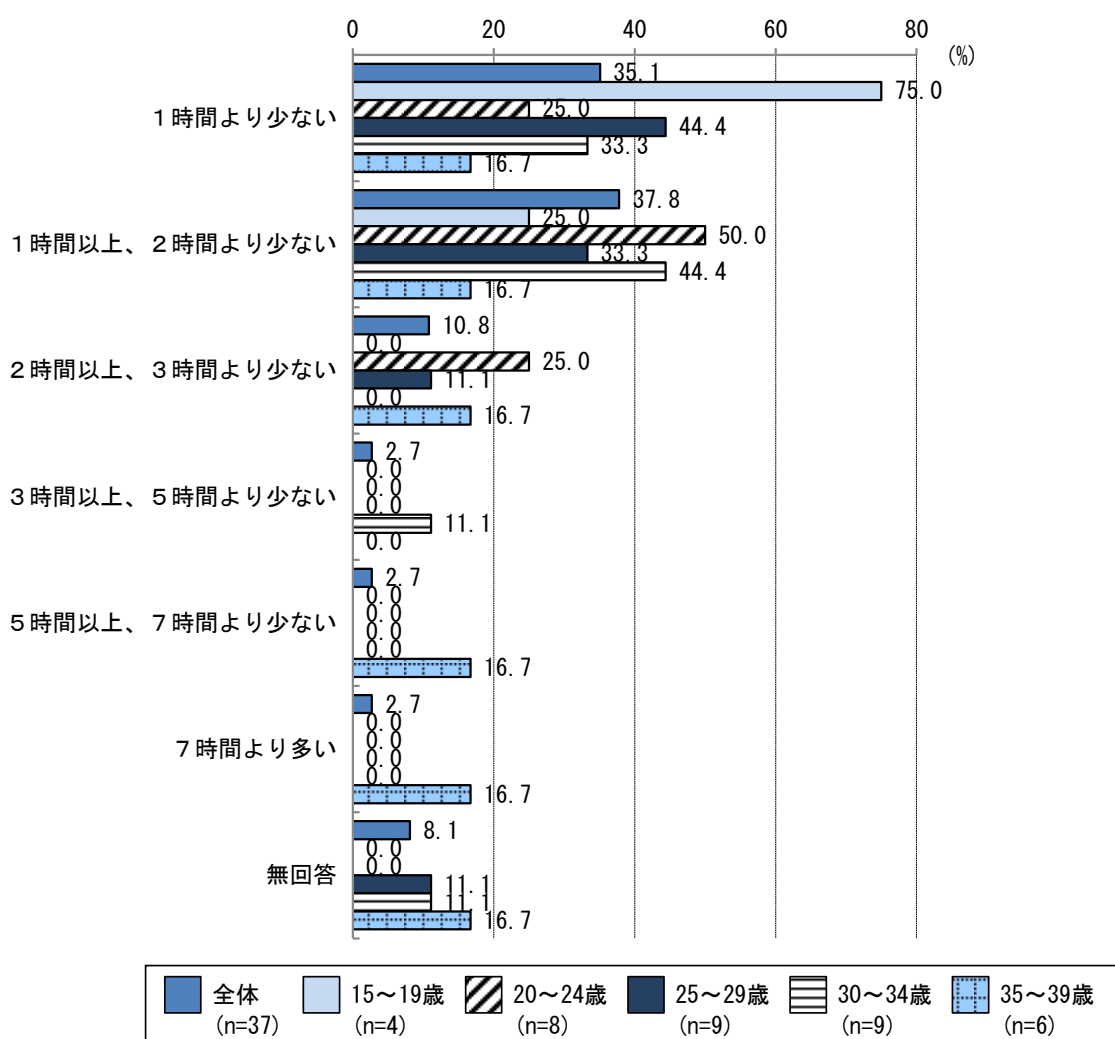
〔お世話の内容〕



問24(3) 学校があった（ある）日、お世話を1日のうちどれくらいしていました（います）か。（○は1つ）

学校があった日にお世話をしていた時間については、15～19 歳、25～29 歳では「1 時間より少ない」がそれぞれ 75.0%、44.4%、20～24 歳、30～34 歳では「1 時間以上、2 時間より少ない」がそれぞれ 50.0%、44.4%、35～39 歳では「1 時間より少ない」と「1 時間以上、2 時間より少ない」、「2 時間以上、3 時間より少ない」、「5 時間以上、7 時間より少ない」、「7 時間より多い」が 16.7%と最も多くなっています。次いで、15～19 歳、25～29 歳では「1 時間以上、2 時間より少ない」がそれぞれ 25.0%、33.3%、20～24 歳では「1 時間より少ない」と「2 時間以上、3 時間より少ない」が25.0%、30～34 歳では「1 時間より少ない」が33.3%と多くなっています。

〔学校があった日にお世話をしていた時間〕

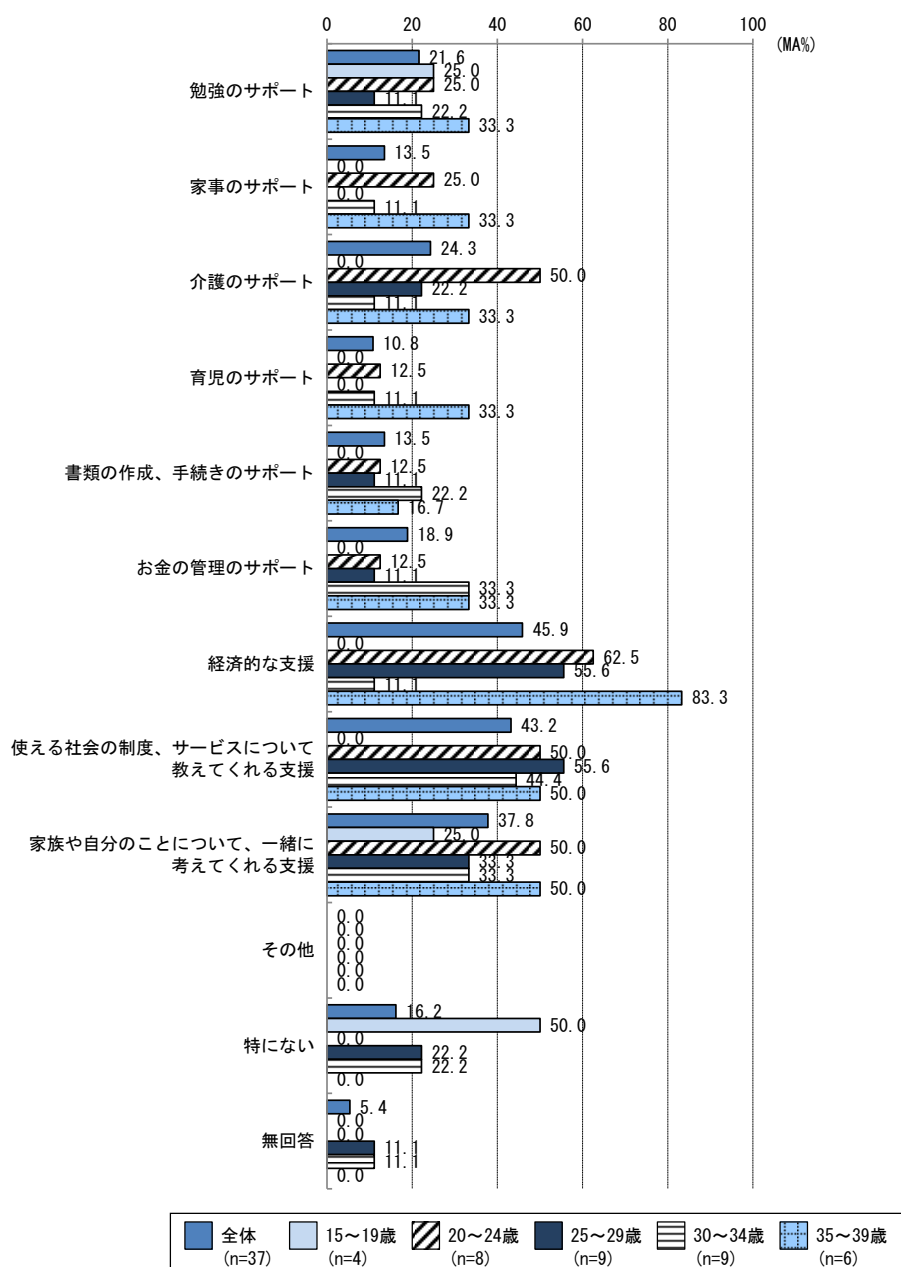


問24(4) あなたがほしかった（ほしい）サポートや支援がありました（あります）か。
（あてはまる番号すべてに○）

欲しかったサポートや支援については、15～19 歳では「勉強のサポート」と「家族や自分のことについて、一緒に考えてくれる支援」が 25.0%、20～24 歳、35～39 歳では「経済的な支援」がそれぞれ 62.5%、83.3%、25～29 歳では「経済的な支援」と「使える社会の制度、サービスについて教えてくれる支援」が 55.6%、30～34 歳では「使える社会の制度、サービスについて教えてくれる支援」が 44.4%と最も多くなっています。

次いで、20～24 歳では「介護のサポート」と「使える社会の制度、サービスについて教えてくれる支援」、家族や自分のことについて、一緒に考えてくれる支援」が 50.0%、25～29 歳では「家族や自分のことについて、一緒に考えてくれる支援」が 33.3%、30～34 歳では「お金の管理のサポート」と「家族や自分のことについて、一緒に考えてくれる支援」が 33.3%と多く、35～39 歳では「使える社会の制度、サービスについて教えてくれる支援」と「家族や自分のことについて、一緒に考えてくれる支援」が 50.0%と多くなっています。

〔欲しかったサポートや支援〕



4 他者との関わり方

〔1〕他の人との付き合い方

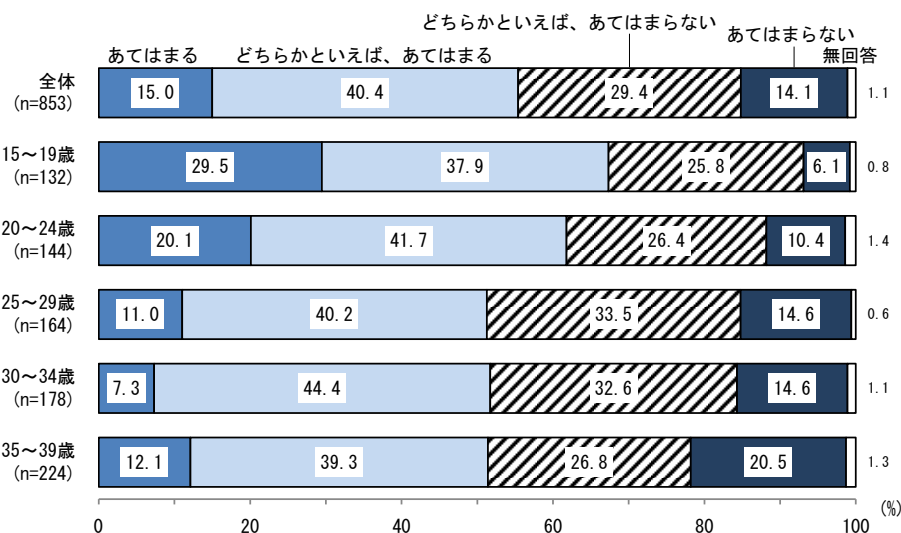
問25 あなたは、他の人と付き合う時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。
(それぞれ〇は1つ)

①誰とでもすぐ仲良くなれる

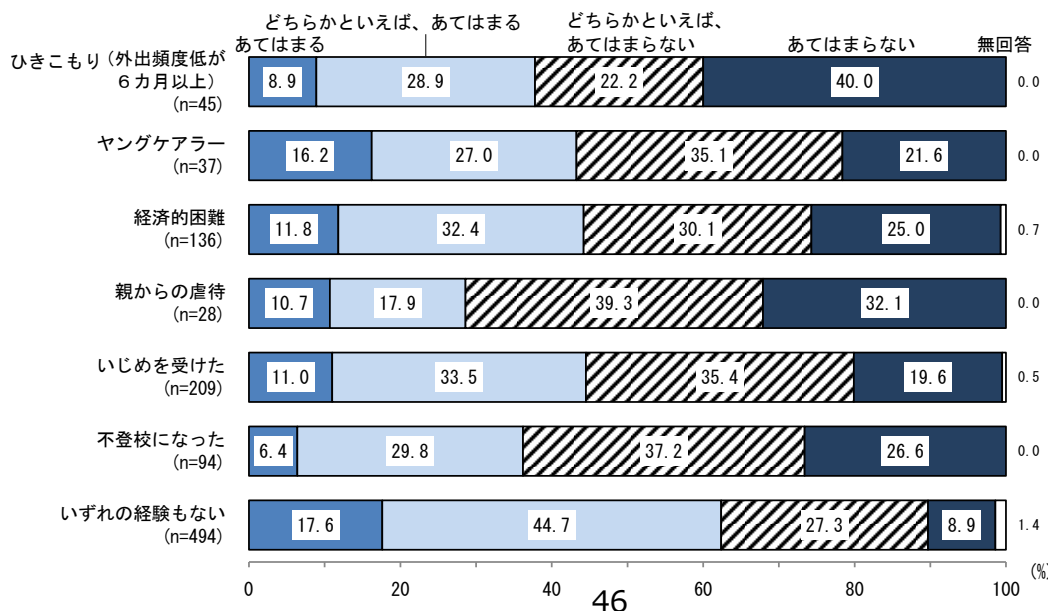
年齢別にみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば、あてはまる」が多く、15～19 歳では 37.9%、20～24 歳では 41.7%、25～29 歳では 40.2%、30～34 歳では 44.4%、35～39 歳では 39.3%となっています。次いで、15～19 歳では「あてはまる」が 29.5%、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「どちらかといえば、あてはまらない」がそれぞれ 26.4%、33.5%、32.6%、26.8%と多くなっています。

困難経験別にみると、ひきこもり（外出頻度低が6カ月以上）では「あてはまらない」が 40.0%、ヤングケアラー、親からの虐待、いじめを受けた、不登校になったでは「どちらかといえば、あてはまらない」がそれぞれ 35.1%、39.3%、35.4%、37.2%、経済的困難では「どちらかといえば、あてはまる」が 32.4%と最も多くなっています。

〔人付き合いについて①誰とでもすぐ仲良くなれる 年齢別〕



〔人付き合いについて①誰とでもすぐ仲良くなれる 困難経験別〕

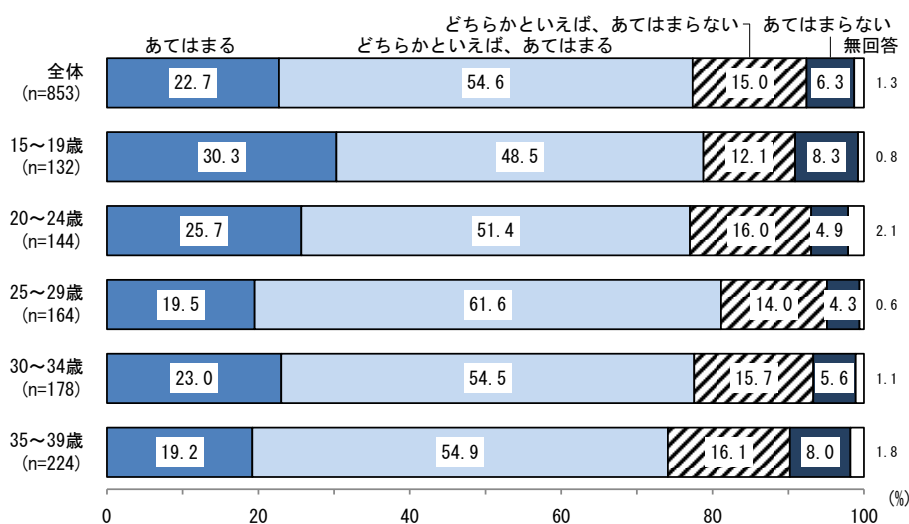


②表情やしぐさで相手の思っていることがわかる

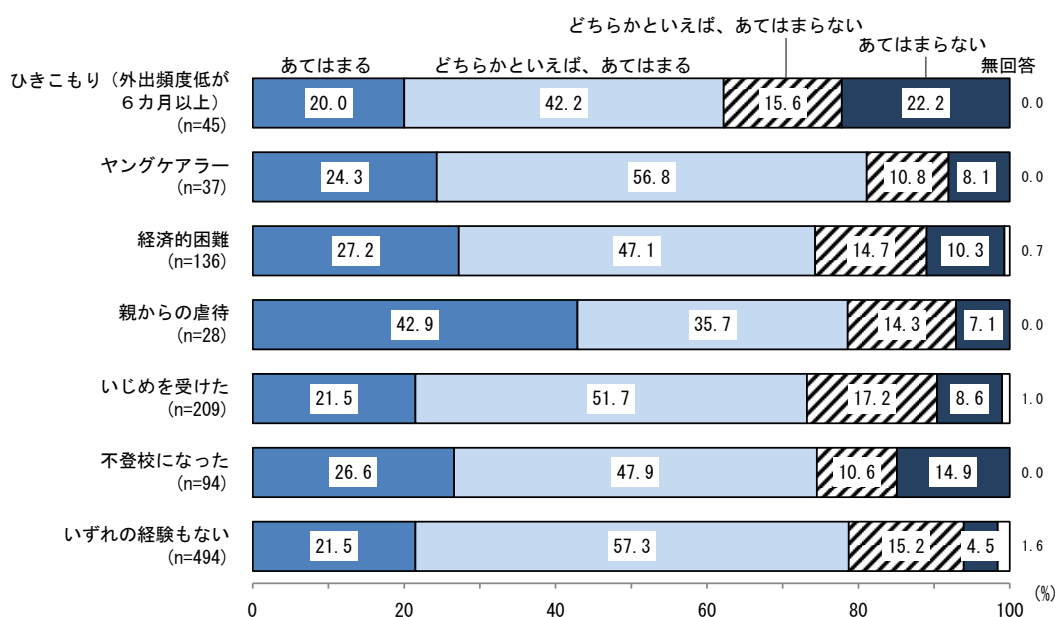
年齢別にみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば、あてはまる」が多く、15～19 歳では 48.5%、20～24 歳では 51.4%、25～29 歳では 61.6%、30～34 歳では 54.5%、35～39 歳では 54.9%となっています。次いで、「あてはまる」が多くなっています。

困難経験別にみると、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）、ヤングケアラー、経済的困難、いじめを受けた、不登校になったでは「どちらかといえば、あてはまる」がそれぞれ 42.2%、56.8%、47.1%、51.7%、47.9%、親からの虐待では「あてはまる」が 42.9%と最も多くなっています。次いで、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）では「あてはまらない」が 22.2%、ヤングケアラー、経済的困難、いじめを受けた、不登校になったでは「あてはまる」がそれぞれ 24.3%、27.2%、21.5%、26.6%、親からの虐待では「どちらかといえば、あてはまる」が 35.7%と多くなっています。

〔人付き合いについて②表情やしぐさで相手の思っていることがわかる 年齢別〕



〔人付き合いについて②表情やしぐさで相手の思っていることがわかる 困難経験別〕

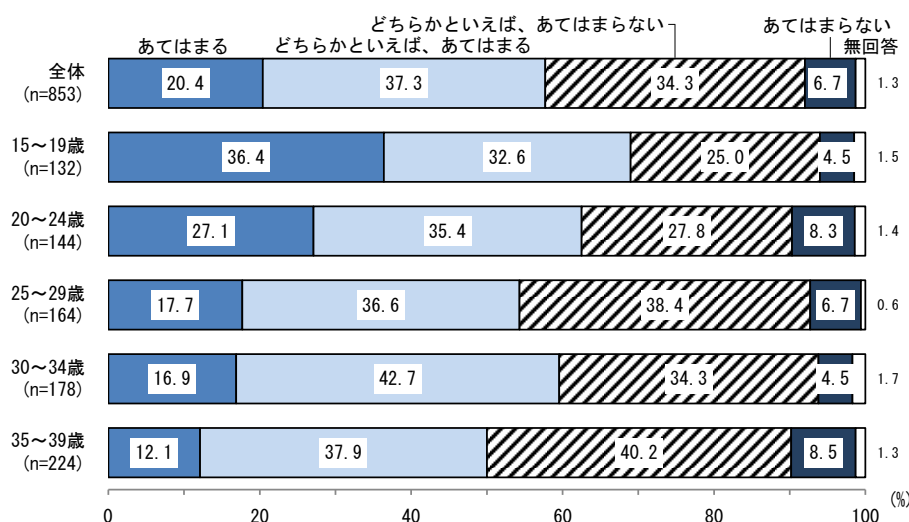


③親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る

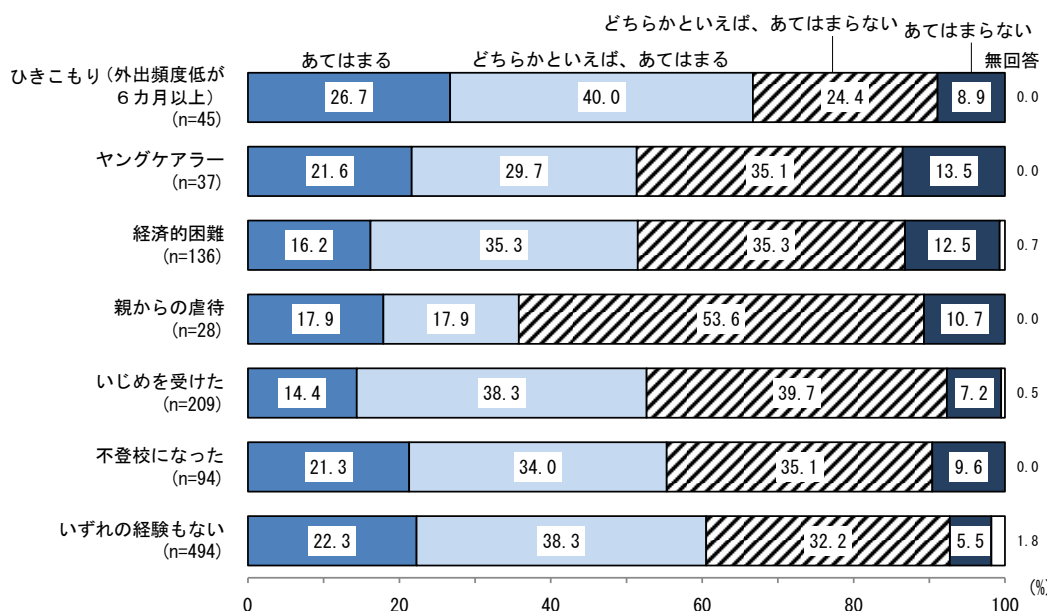
年齢別にみると、15～19 歳では「あてはまる」が 36.4%、20～24 歳、30～34 歳では「どちらかといえば、あてはまる」がそれぞれ 35.4%、42.7%、25～29 歳、35～39 歳では「どちらかといえば、あてはまらない」がそれぞれ 38.4%、40.2%と最も多くなっています。次いで、15～19 歳、25～29 歳、35～39 歳では「どちらかといえば、あてはまる」がそれぞれ 32.6%、36.6%、37.9%、20～24 歳、30～34 歳では「どちらかといえば、あてはまらない」がそれぞれ 27.8%、34.3%と多くなっています。

困難経験別にみると、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）では「どちらかといえば、あてはまる」が 40.0%、ヤングケアラー、親からの虐待、いじめを受けた、不登校になったでは「どちらかといえば、あてはまらない」がそれぞれ 35.1%、53.6%、39.7%、35.1%、経済的困難では「どちらかといえば、あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまらない」が 35.3%と最も多くなっています。次いで、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）、経済的困難では「あてはまる」がそれぞれ 26.7%、16.2%、ヤングケアラー、いじめを受けた、不登校になったでは「どちらかといえば、あてはまる」がそれぞれ 29.7%、38.3%、34.0%、親からの虐待では「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」が 17.9%と多くなっています。

〔人付き合いについて③親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る 年齢別〕



〔人付き合いについて③親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る 困難経験別〕



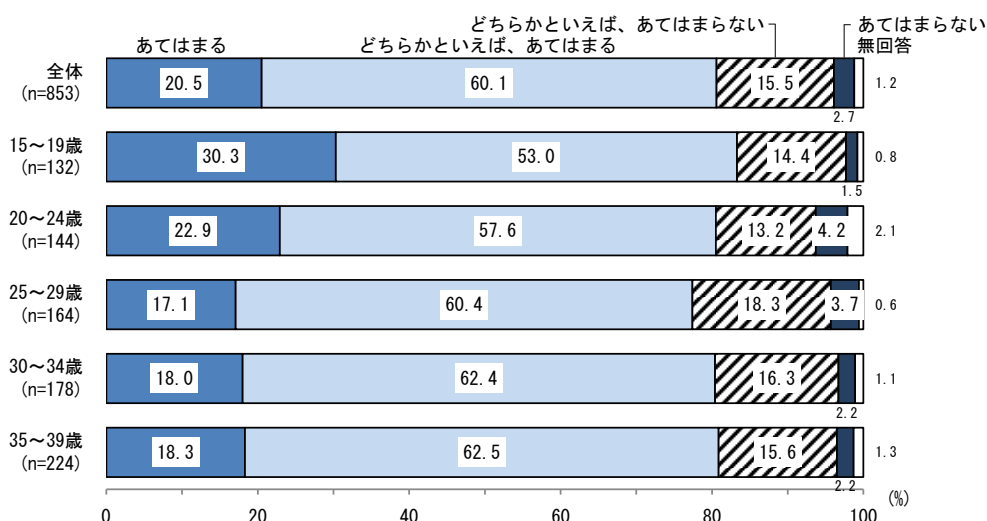
④その場にあった行動がとれる

年齢別にみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば、あてはまる」が多く、15～19 歳では 53.0%、20～24 歳では 57.6%、25～29 歳では 60.4%、30～34 歳では 62.4%、35～39 歳では 62.5%となっています。次いで、15～19 歳、20～24 歳、30～34 歳、35～39 歳では「あてはまる」がそれぞれ 30.3%、22.9%、18.0%、18.3%、25～29 歳では「どちらかといえば、あてはまらない」が 18.3%と多くなっています。

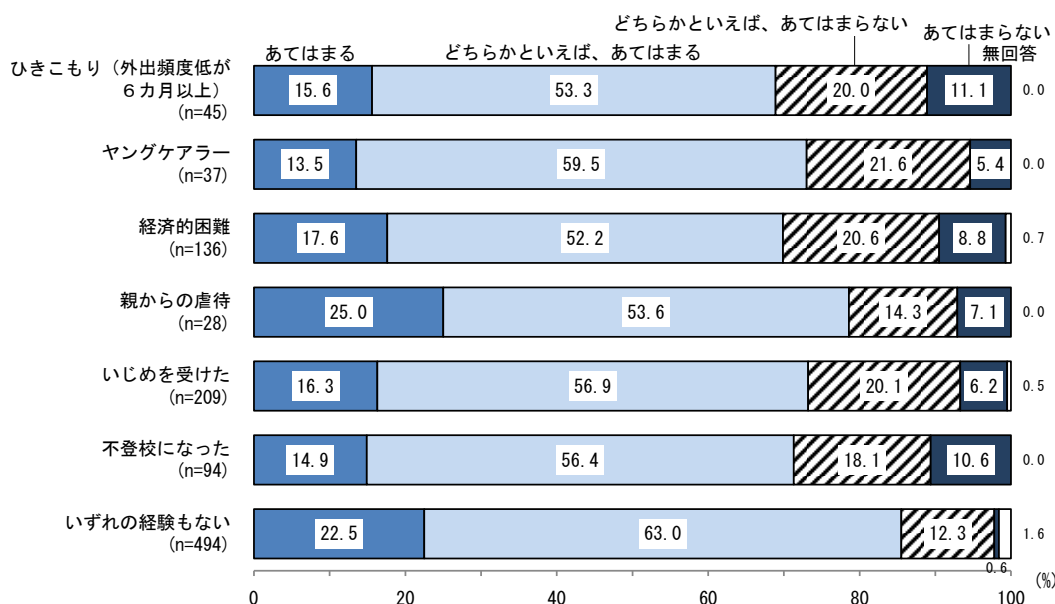
困難経験別にみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば、あてはまる」が多く、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）では 53.3%、ヤングケアラーでは 59.5%、経済的困難では 52.2%、親からの虐待では 53.6%、いじめを受けたでは 56.9%、不登校になったでは 56.4%となっています。

次いで、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）、ヤングケアラー、経済的困難、いじめを受けた、不登校になったでは「どちらかといえば、あてはまらない」がそれぞれ 20.0%、21.6%、20.6%、20.1%、18.1%、親からの虐待では「あてはまる」が 25.0%と多くなっています。

〔人付き合いについて④その場にあった行動がとれる 年齢別〕



〔人付き合いについて④その場にあった行動がとれる 困難経験別〕

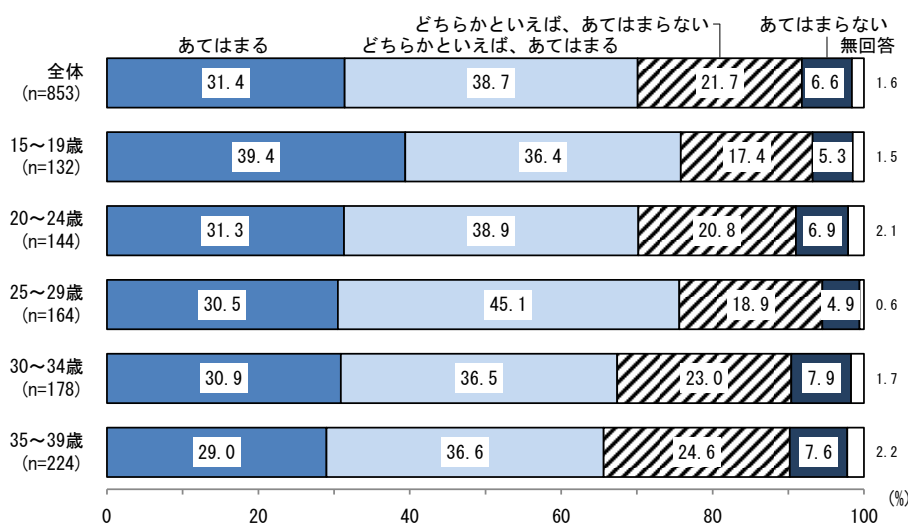


⑤表情が豊かである

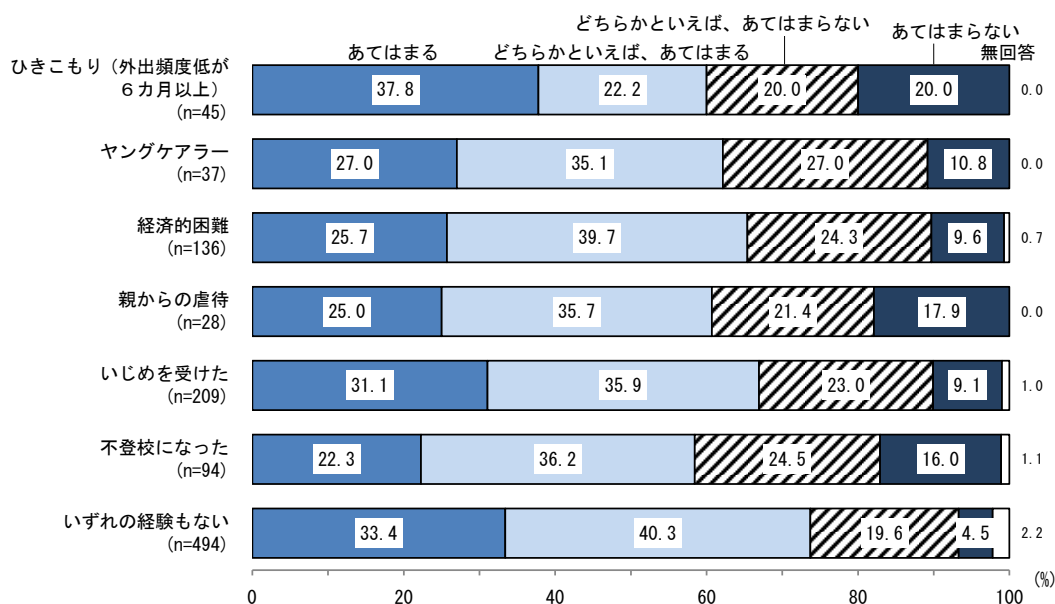
年齢別にみると、15～19 歳では「あてはまる」が 39.4%、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「どちらかといえば、あてはまる」がそれぞれ 38.9%、45.1%、36.5%、36.6%と最も多くなっています。次いで、15～19 歳では「どちらかといえば、あてはまる」が 36.4%、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「あてはまる」がそれぞれ 31.3%、30.5%、30.9%、29.0%と多くなっています。

困難経験別にみると、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）では「あてはまる」が 37.8%、ヤングケアラー、経済的困難、親からの虐待、いじめを受けた、不登校になったでは「どちらかといえば、あてはまる」がそれぞれ 35.1%、39.7%、35.7%、35.9%、36.2%と最も多くなっています。次いで、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）では「どちらかといえば、あてはまる」が 22.2%、ヤングケアラーでは「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまらない」が 27.0%、経済的困難、親からの虐待、いじめを受けたでは「あてはまる」がそれぞれ 25.7%、25.0%、31.1%、不登校になったでは「どちらかといえば、あてはまらない」が 24.5%と多くなっています。

〔人付き合いについて⑤表情が豊かである 年齢別〕



〔人付き合いについて⑤表情が豊かである 困難経験別〕

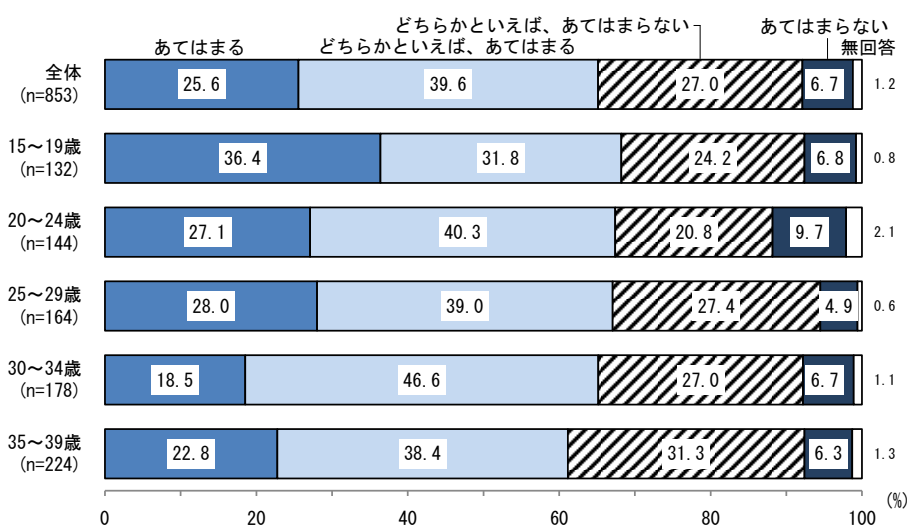


⑥気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう

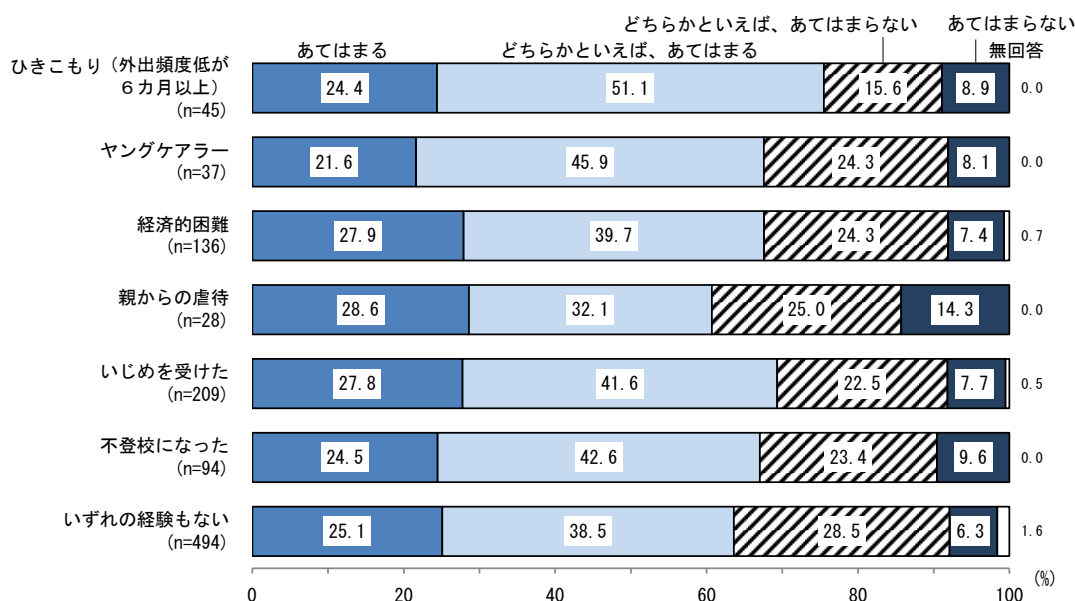
年齢別にみると、15～19 歳では「あてはまる」が 36.4%、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「どちらかといえば、あてはまる」がそれぞれ 40.3%、39.0%、46.6%、38.4%と最も多くなっています。次いで、15～19 歳では「どちらかといえば、あてはまる」が 31.8%、20～24 歳、25～29 歳では「あてはまる」がそれぞれ 27.1%、28.0%、30～34 歳、35～39 歳では「どちらかといえば、あてはまらない」がそれぞれ 27.0%、31.3%と多くなっています。

困難経験別にみると、すべてのカテゴリーで「どちらかといえば、あてはまる」が多く、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）では 51.1%、ヤングケアラーでは 45.9%、経済的困難では 39.7%、親からの虐待では 32.1%、いじめを受けたでは 41.6%、不登校になったでは 42.6%となっています。次いで、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）、経済的困難、親からの虐待、いじめを受けた、不登校になったでは「あてはまる」がそれぞれ 24.4%、27.9%、28.6%、27.8%、24.5%と多く、ヤングケアラーでは「どちらかといえば、あてはまらない」が 24.3%と多くなっています。

〔人付き合いについて⑥気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう 年齢別〕



〔人付き合いについて⑥気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう 困難経験別〕



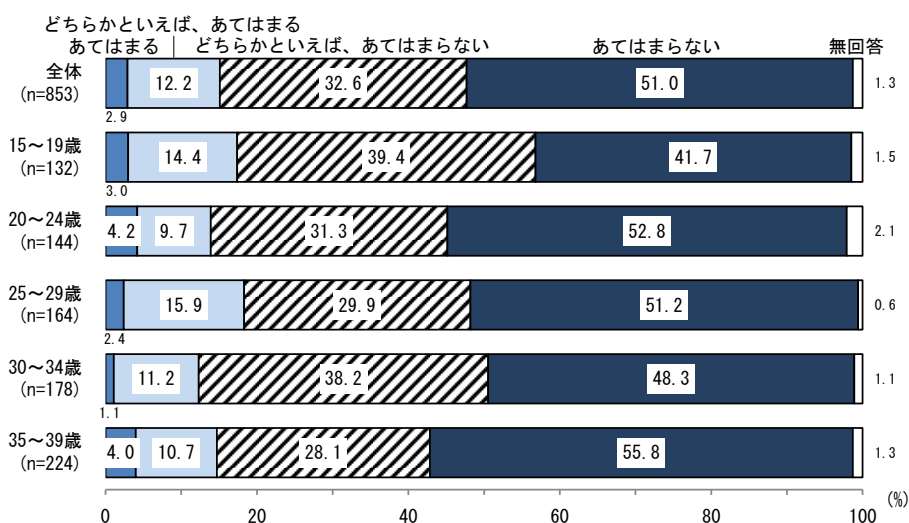
⑦人にぶつかっても、あやまらないことがある

年齢別にみると、すべてのカテゴリーで「あてはまらない」が多く、15～19 歳では 41.7%、20～24 歳では 52.8%、25～29 歳では 51.2%、30～34 歳では 48.3%、35～39 歳では 55.8%となっています。次いで、「どちらかといえば、あてはまらない」が多くなっています。

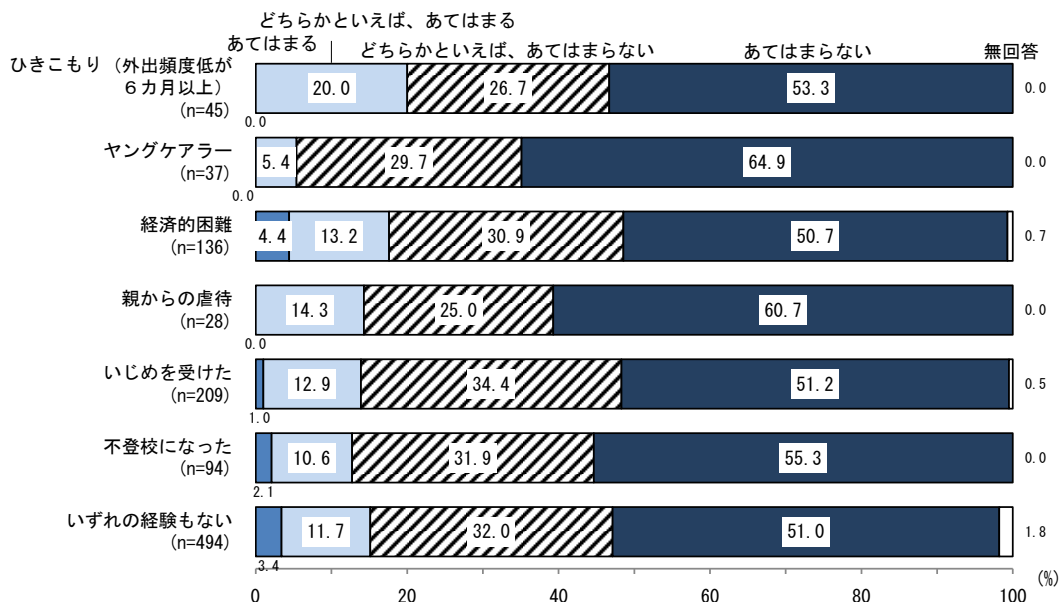
困難経験別にみると、すべてのカテゴリーで「あてはまらない」が多く、ひきこもり（外出頻度低が 6 カ月以上）では 53.3%、ヤングケアラーでは 64.9%、経済的困難では 50.7%、親からの虐待では 60.7%、いじめを受けたでは 51.2%、不登校になったでは 55.3%となっています。

次いで、「どちらかといえば、あてはまらない」が多くなっています。

〔人付き合いについて⑦人にぶつかっても、あやまらないことがある 年齢別〕



〔人付き合いについて⑦人にぶつかっても、あやまらないことがある 困難経験別〕



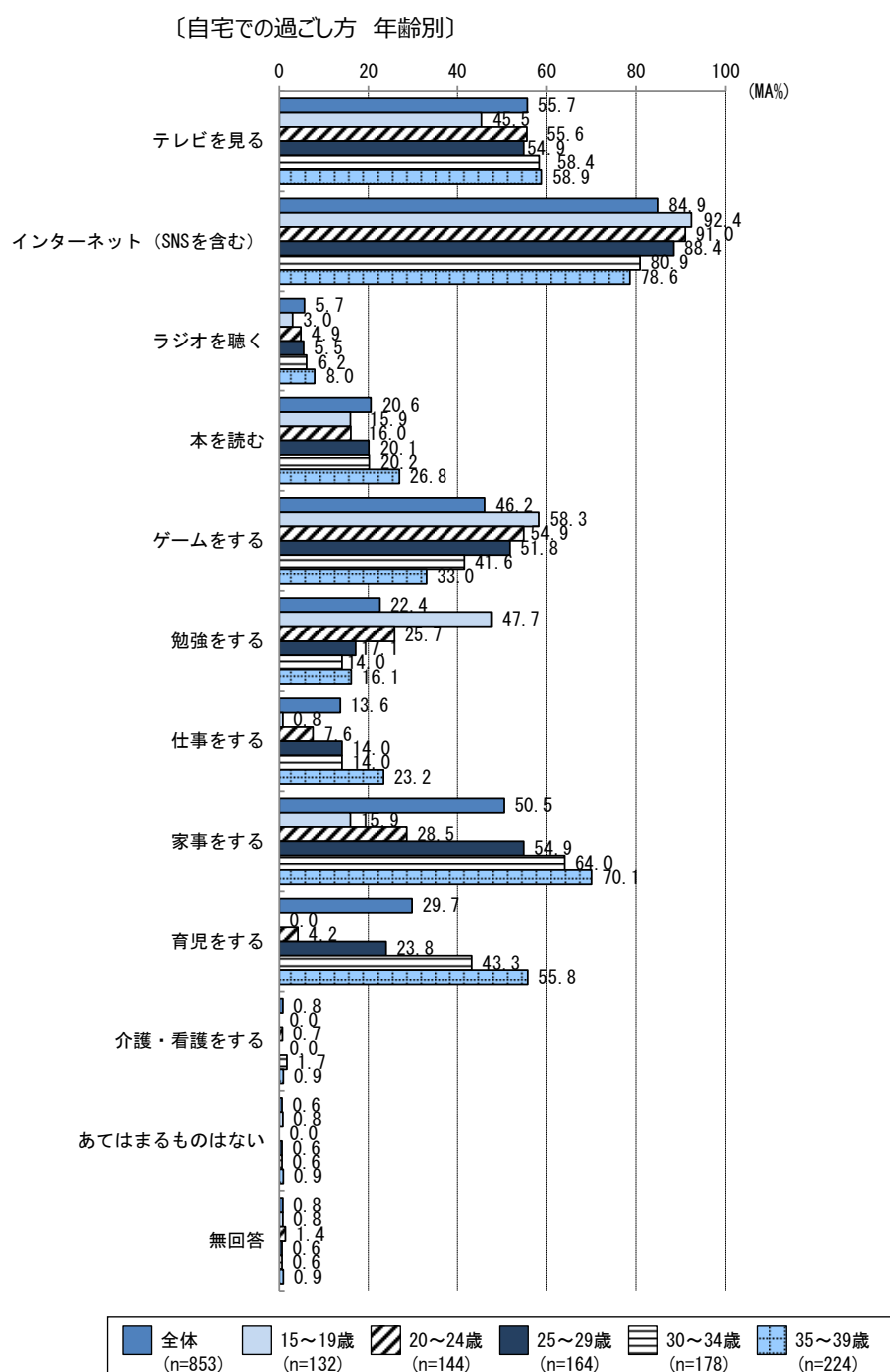
5 普段の過ごし方

〔1〕自宅でどんなことに時間を使っているか。

問26 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。

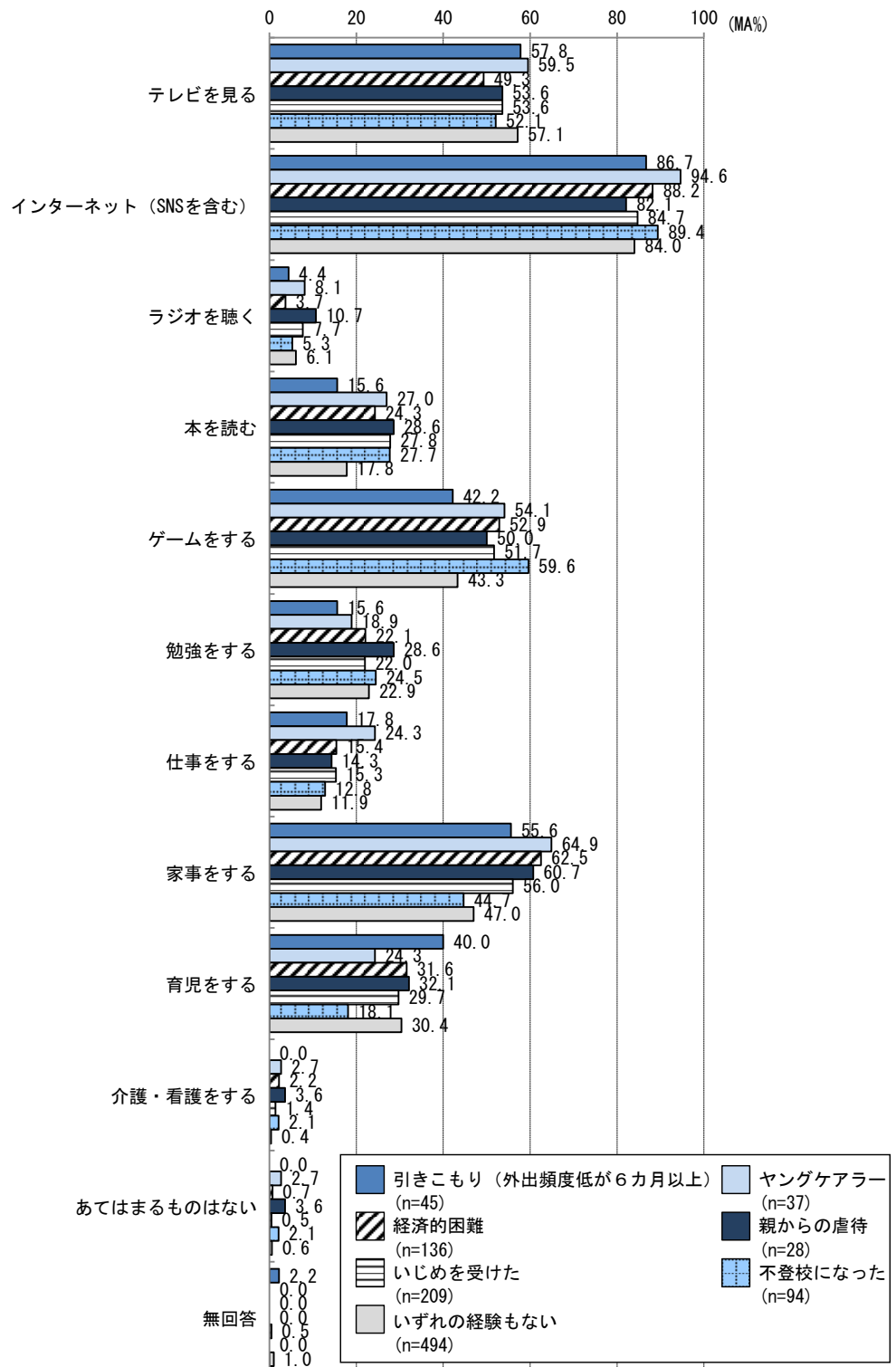
よくしていることをすべて選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

自宅での過ごし方を年齢別にみると、すべてのカテゴリーで「インターネット（SNSを含む）」が多く、15～19歳では92.4%、20～24歳では91.0%、25～29歳では88.4%、30～34歳では80.9%、35～39歳では78.6%となっています。次いで、15～19歳では「ゲームをする」が58.3%、20～24歳では「テレビを見る」が55.6%、25～29歳では「テレビを見る」と「家事をする」が54.9%、30～34歳、35～39歳では「家事をする」がそれぞれ64.0%、70.1%と多くなっています。



困難経験別にみると、すべてのカテゴリーで「インターネット（SNSを含む）」が多く、ひきこもり（外出頻度低が6カ月以上）では86.7%、ヤングケアラーでは94.6%、経済的困難では88.2%、親からの虐待では82.1%、いじめを受けたでは84.7%、不登校になったでは89.4%となっています。次いで、ひきこもり（外出頻度低が6カ月以上）では「テレビを見る」が57.8%、ヤングケアラー、経済的困難、親からの虐待、いじめを受けたでは「家事をする」がそれぞれ64.9%、62.5%、60.7%、56.0%、不登校になったでは「ゲームをする」が59.6%と多くなっています。

〔自宅での過ごし方 困難経験別〕



〔2〕外出状況

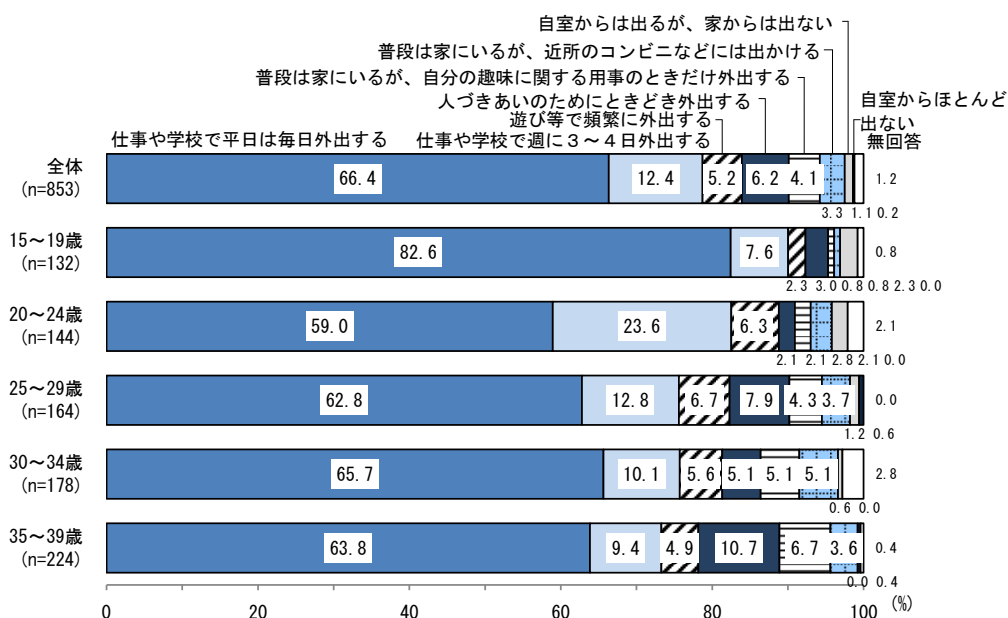
問27 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。

(○は1つ)

外出頻度については、すべてのカテゴリーで「仕事や学校で平日は毎日外出する」が多く、15～19 歳では 82.6%、20～24 歳では 59.0%、25～29 歳では 62.8%、30～34 歳では 65.7%、35～39 歳では 63.8%となっています。

次いで、15～19 歳、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳では「仕事や学校で週に 3～4 日外出する」がそれぞれ 7.6%、23.6%、12.8%、10.1%、35～39 歳では「人づきあいのためにときどき外出する」が 10.7% と多くなっています。

〔外出頻度〕



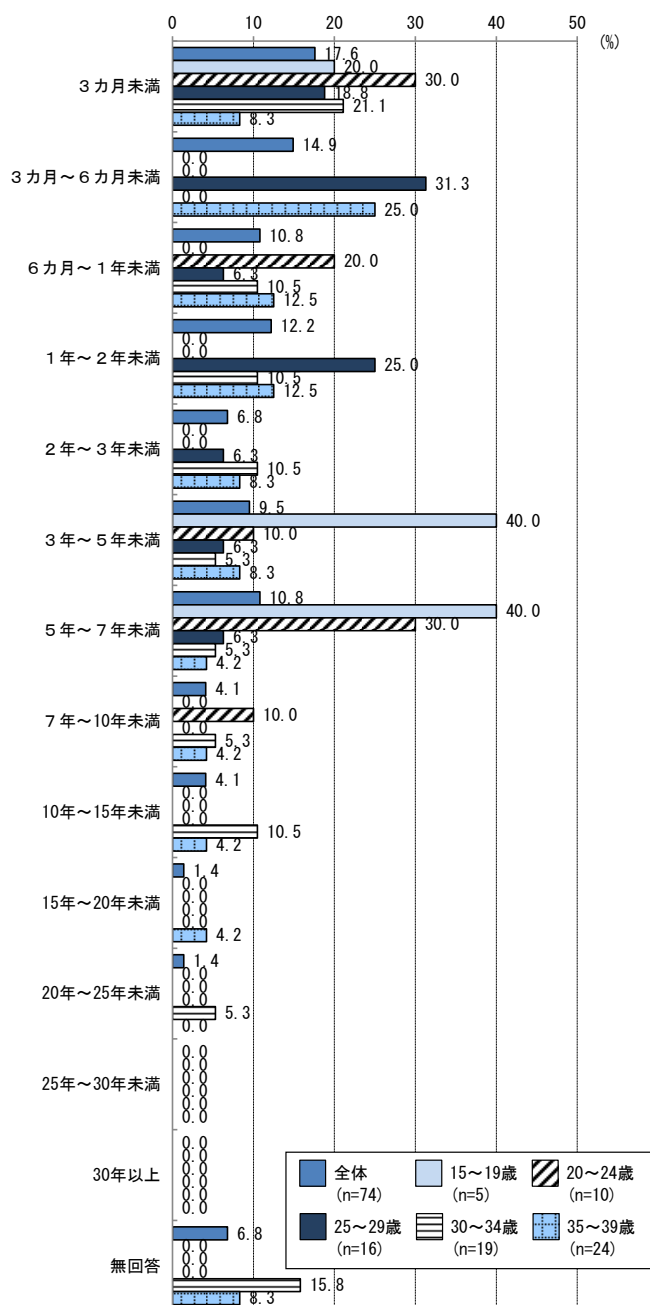
問27で「5」普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する、「6」普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける、「7」自室からは出るが、家からは出ない、「8」自室からほとんど出ないに○をつけた方のみ

問28 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。（○は1つ）

外出状況が現在の状態となってからの期間については、15～19歳では「3年～5年未満」と「5年～7年未満」が40.0%、20～24歳では「3カ月未満」と「5年～7年未満」が30.0%、25～29歳、35～39歳では「3カ月～6カ月未満」がそれぞれ31.3%、25.0%、30～34歳では「3カ月未満」が21.1%と最も多くなっています。

次いで、15～19歳では「3カ月未満」が20.0%、20～24歳では「6カ月～1年未満」が20.0%、25～29歳では「1年～2年未満」が25.0%、30～34歳では「6カ月～1年未満」と「1年～2年未満」、「2年～3年未満」、「10年～15年未満」が10.5%、35～39歳では「6カ月～1年未満」と「1年～2年未満」が12.5%と多くなっています。

〔外出状況が現在の状態となってからの期間〕



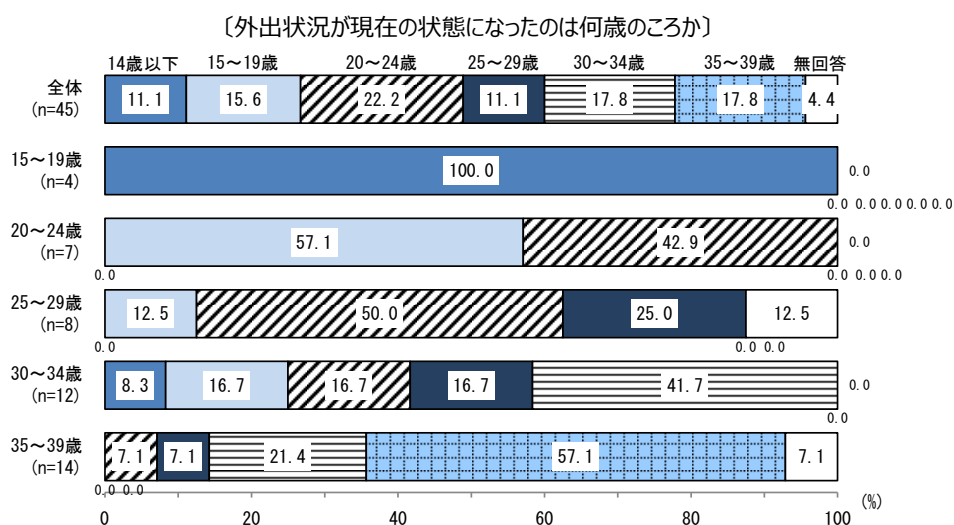
問28で「ウ」～「ス」(外出頻度低が6か月以上)に○をつけた方のみ

問29 あなたの外出状況についてお聞きます。

(1)あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳のころですか。(○は1つ)

外出状況が現在の状態になったのは何歳のころかについては、15～19歳では「14歳以下」が100.0%、20～24歳では「15～19歳」が57.1%、25～29歳では「20～24歳」が50.0%、30～34歳では「30～34歳」が41.7%、35～39歳では「35～39歳」が57.1%と最も多くなっています。

次いで、20～24歳では「20～24歳」が42.9%、25～29歳では「25～29歳」が25.0%、30～34歳では「15～19歳」と「20～24歳」、「25～29歳」が16.7%、35～39歳では「30～34歳」が21.4%と多くなっています。

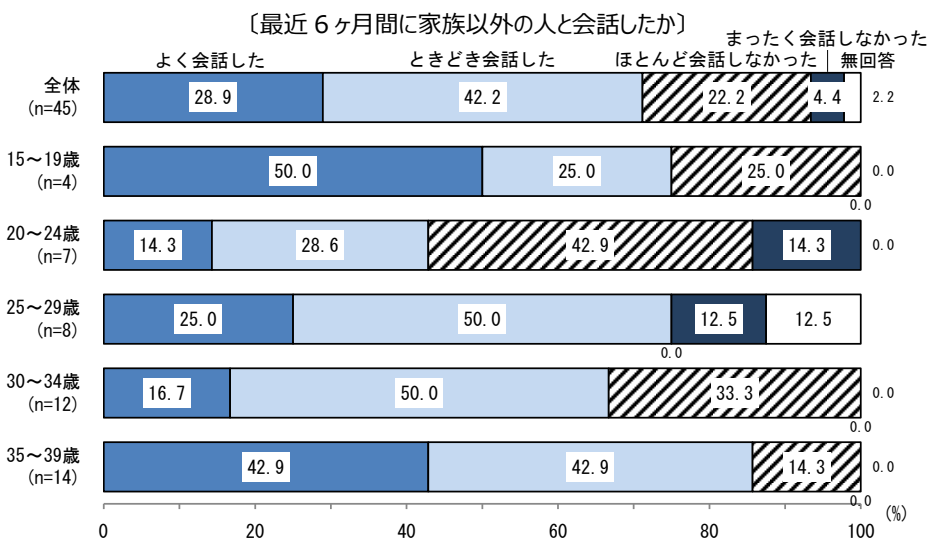


問28で「ウ」～「ス」(外出頻度低が6か月以上)に○をつけた方のみ

問29(2) 最近6カ月間に、家族以外の人と会話をしましたか。(○は1つ)

最近6ヶ月間に家族以外の人と会話をしたかについては、15～19歳では「よく会話をした」が50.0%、20～24歳では「ほとんど会話をしなかった」が42.9%、25～29歳、30～34歳では「ときどき会話をした」がそれぞれ50.0%、50.0%、35～39歳では「よく会話をした」と「ときどき会話をした」が42.9%と最も多くなっています。

次いで、15～19歳では「ときどき会話をした」と「ほとんど会話をしなかった」が25.0%、20～24歳では「ときどき会話をした」が28.6%、25～29歳では「よく会話をした」が25.0%、30～34歳、35～39歳では「ほとんど会話をしなかった」がそれぞれ33.3%、14.3%と多くなっています。

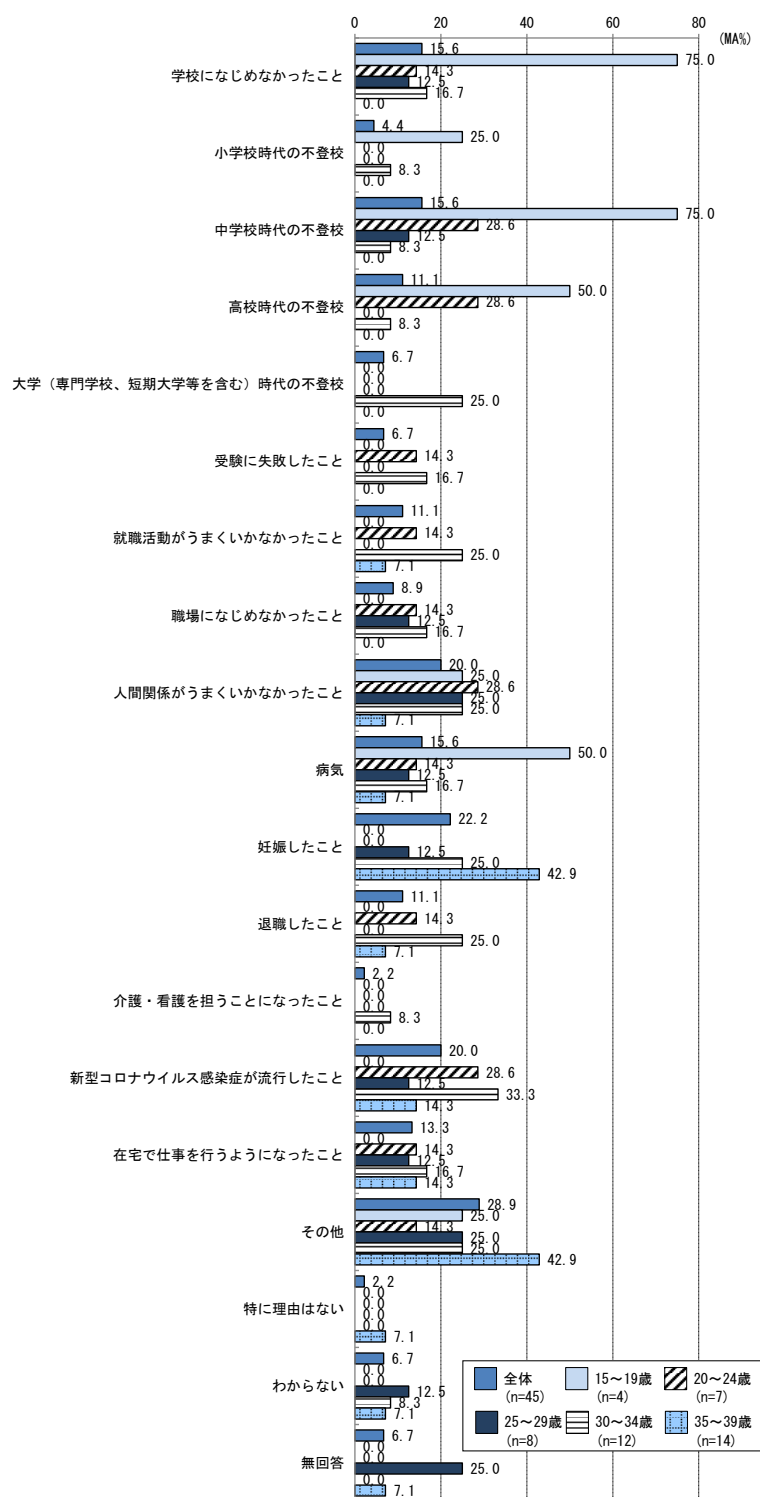


問28で「ウ」～「ス」(外出頻度低6か月以上)に○をつけた方のみ

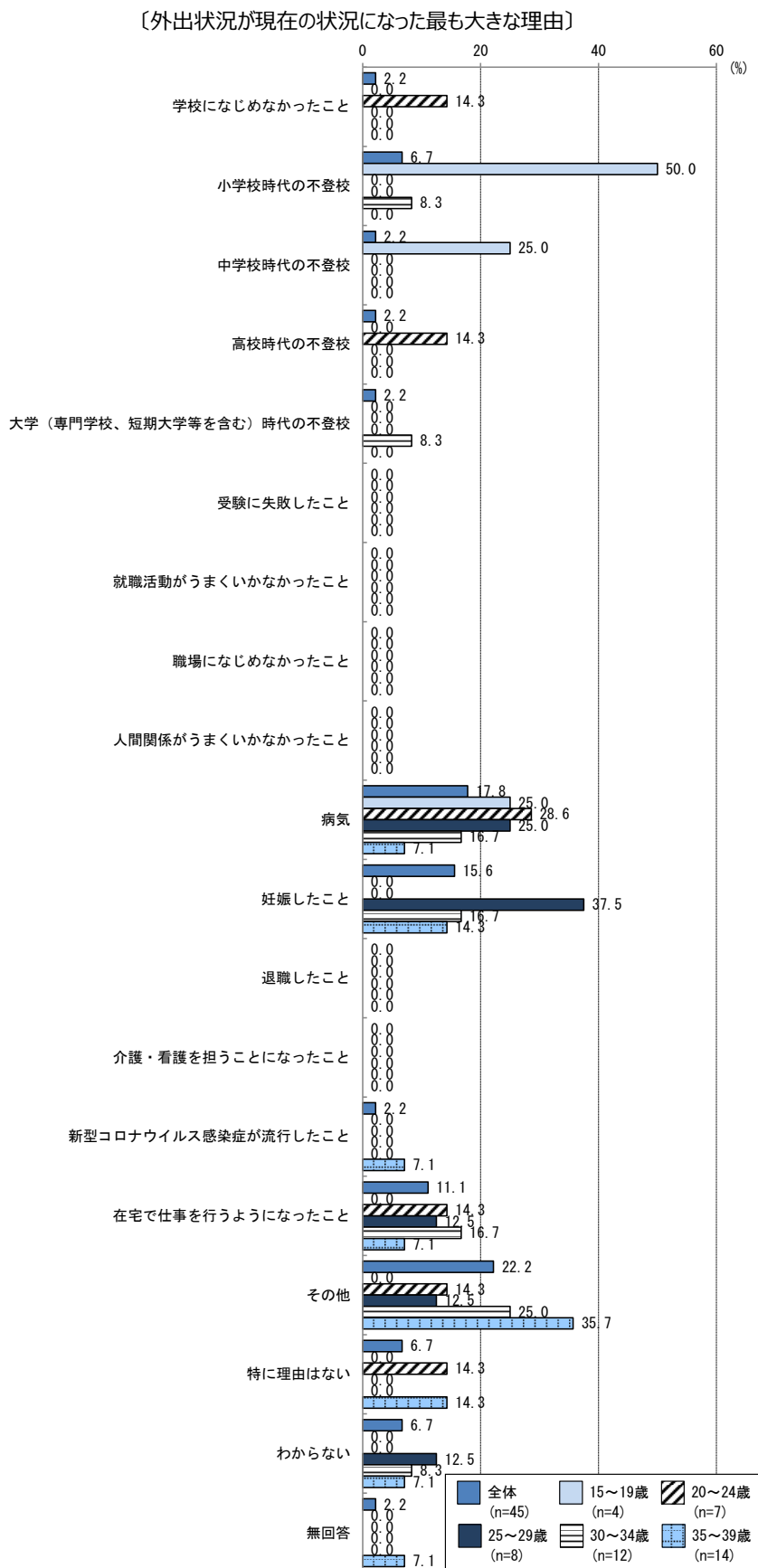
問29(3) あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。関連する理由のすべてに○をつけ、その中で最も大きな理由1つにも○をつけてください。

外出状況が現在の状態になった理由については、15～19 歳では「学校になじめなかったこと」と「中学校時代の不登校」が 75.0%と最も多く、20～24 歳では「中学校時代の不登校」と「高校時代の不登校」、「人間関係がうまくいかなかったこと」、「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」が 28.6%、25～29 歳では「人間関係がうまくいかなかったこと」が 25.0%、30～34 歳では「新型コロナウイルス感染症が流行したこと」が 33.3%、35～39 歳では「妊娠したこと」が 42.9%と最も多くなっています。

〔外出状況が現在の状態になった理由〕



外出状況が現在の状態になった最も大きな理由については、15～19 歳では「小学校時代の不登校」が 50.0%、20～24 歳では「病気」が 28.6%、25～29 歳、35～39 歳では「妊娠したこと」がそれぞれ 37.5%、14.3%、30～34 歳では「病気」と「妊娠したこと」、「在宅で仕事を行うようになったこと」が 16.7%と最も多くなっています。



6 社会生活・日常生活における困難

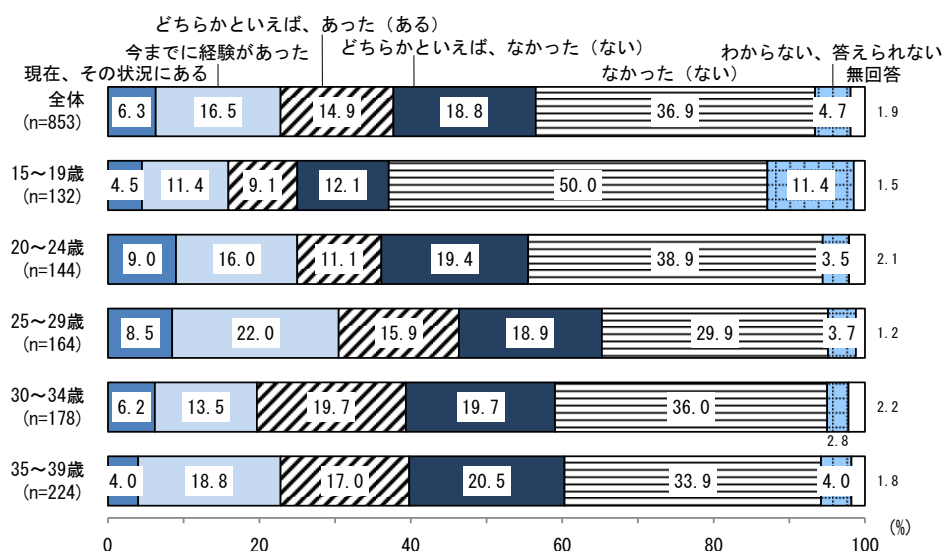
〔1〕これまでに経験した困難と現在の状況

問30 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。（〇は1つ）

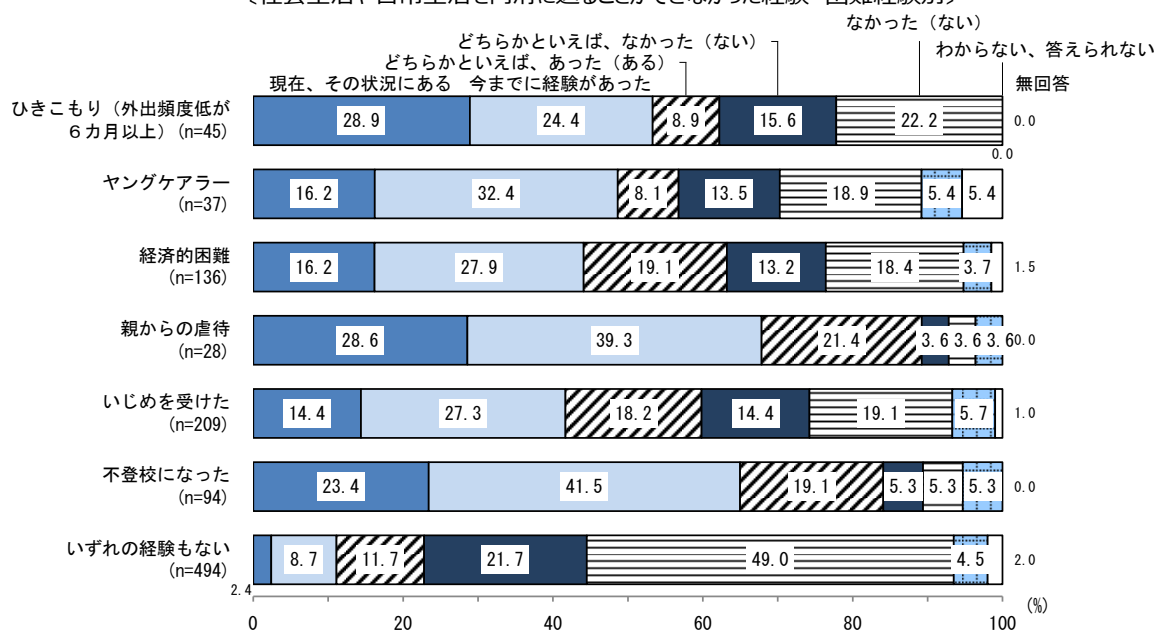
社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験を年齢別にみると、すべてのカテゴリーで「なかった（ない）」が多く、15～19歳では50.0%、20～24歳では38.9%、25～29歳では29.9%、30～34歳では36.0%、35～39歳では33.9%となっています。

困難経験別にみると、ひきこもり（外出頻度低が6カ月以上）では「現在、その状況にある」が、ヤングケアラー、経済的困難、親からの虐待、いじめを受けた、不登校になったでは「今までに経験があった」がそれぞれ最も多くなっています。

〔社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験 年齢別〕



〔社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験 困難経験別〕



問30で「1. 」～「3. 」(経験がある)に○をつけた方のみ

問31(1) そうした問題を経験した、または、現在経験している主な原因は何ですか。

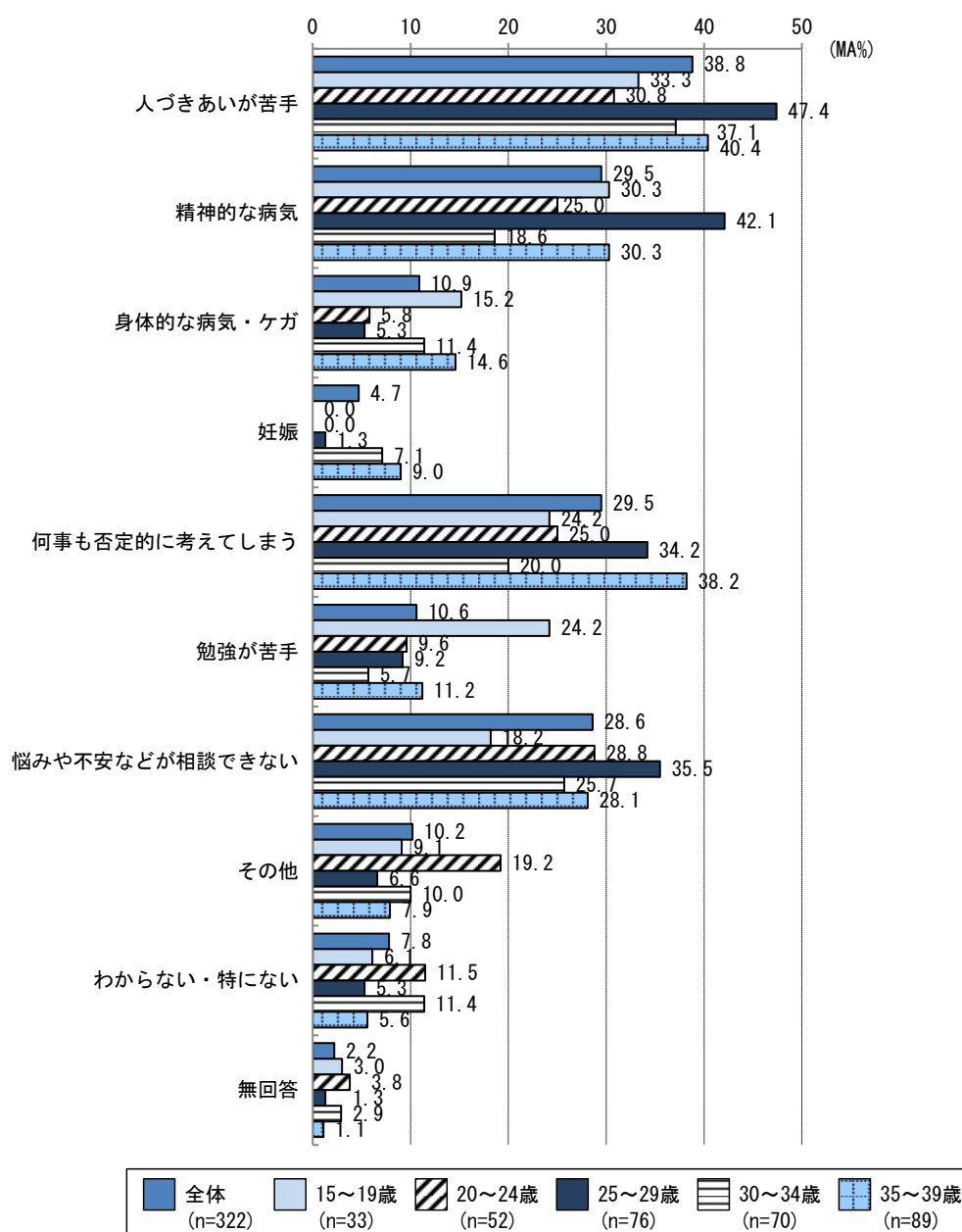
以下の(1)～(4)のそれぞれについてお答えください。

(1) 自分自身について

すべてのカテゴリーで「人づきあいが苦手」が多く、15～19 歳では 33.3%、20～24 歳では 30.8%、25～29 歳では 47.4%、30～34 歳では 37.1%、35～39 歳では 40.4%となっています。

次いで、15～19 歳、25～29 歳では「精神的な病気」がそれぞれ 30.3%、42.1%、20～24 歳、30～34 歳では「悩みや不安などが相談できない」がそれぞれ 28.8%、25.7%、35～39 歳では「何事も否定的に考えてしまう」が 38.2%と多くなっています。

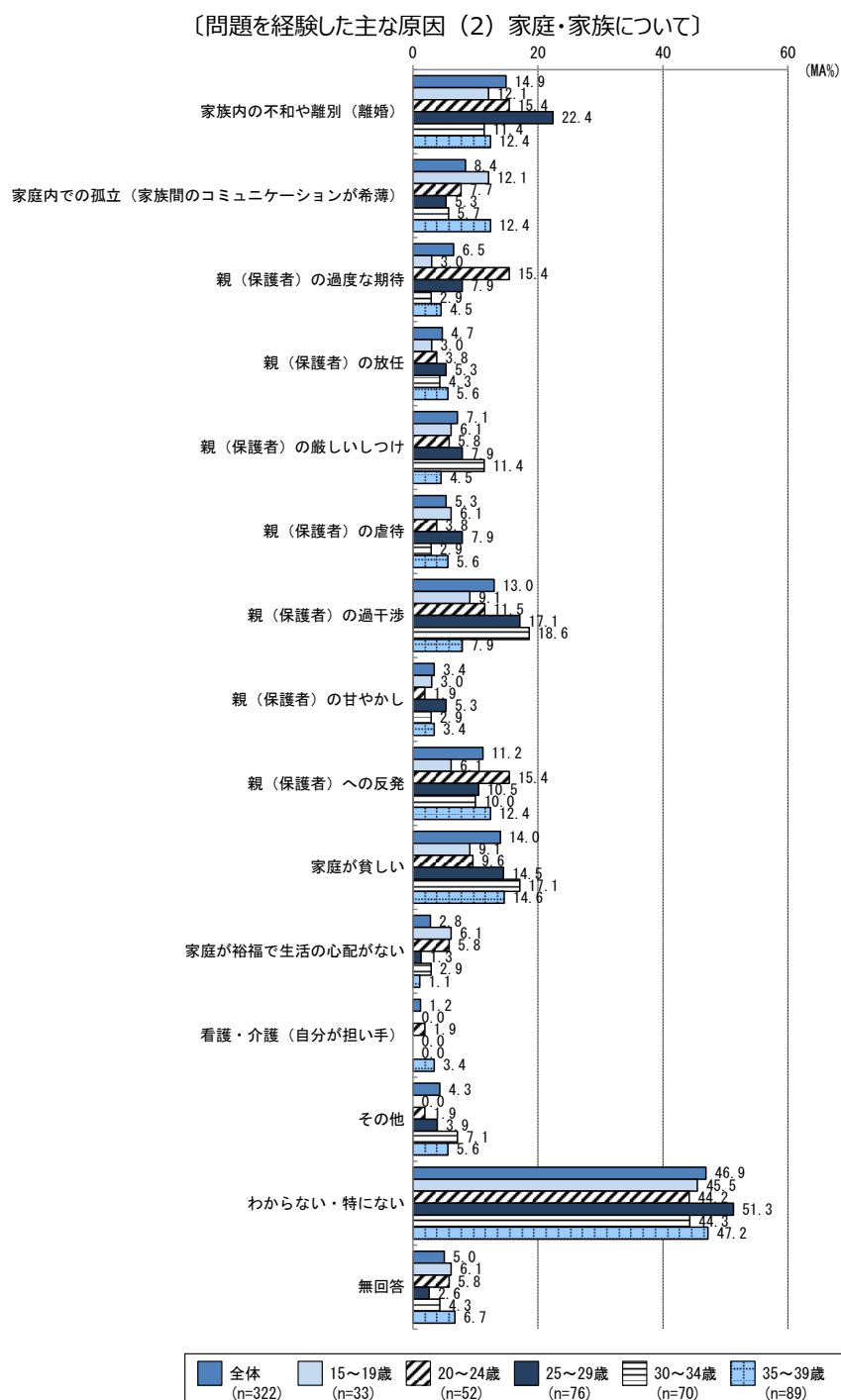
〔問題を経験した主な原因 (1) 自分自身について〕



(2)家庭・家族について

年齢別では15～19歳では「家族内の不和や離別（離婚）」と「家庭内での孤立（家族間のコミュニケーションが希薄）」が12.1%、20～24歳では「家族内の不和や離別（離婚）」と「親（保護者）の過度な期待」、
「親（保護者）への反発」が15.4%、25～29歳では「家族内の不和や離別（離婚）」が22.4%、30～34歳では「親（保護者）の過干渉」が18.6%、35～39歳では「家庭が貧しい」が14.6%と最も多くなっています。

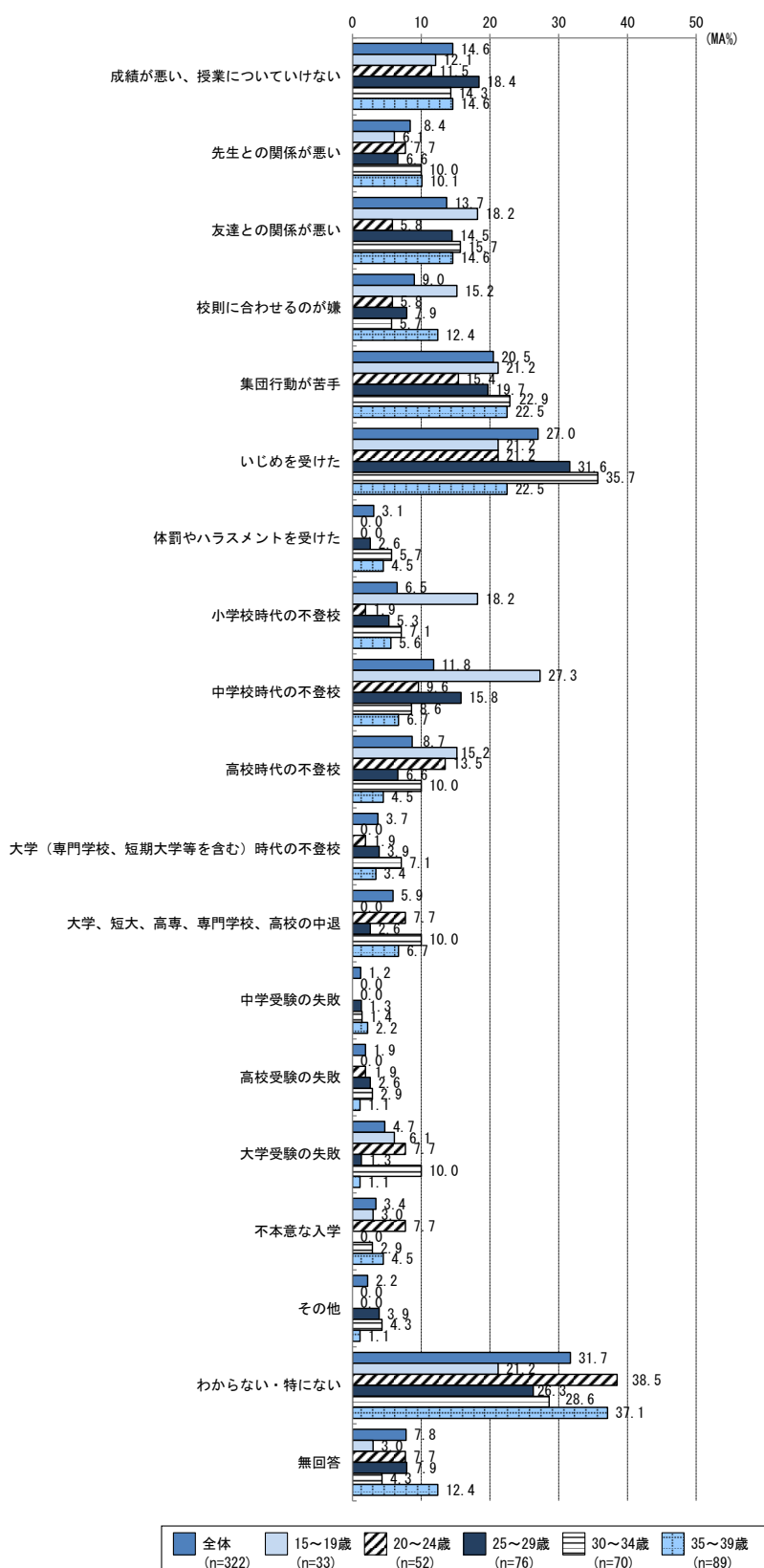
次いで、15～19歳では「親（保護者）の過干渉」と「家庭が貧しい」が9.1%、20～24歳、25～29歳では「親（保護者）の過干渉」がそれぞれ11.5%、17.1%、30～34歳では「家庭が貧しい」が17.1%、35～39歳では「家族内の不和や離別（離婚）」と「家庭内での孤立（家族間のコミュニケーションが希薄）」、「親（保護者）への反発」が12.4%と多くなっています。



(3)学校について

年齢別では15～19歳では「中学校時代の不登校」が27.3%、20～24歳、25～29歳、30～34歳では「いじめを受けた」がそれぞれ21.2%、31.6%、35.7%、35～39歳では「集団行動が苦手」と「いじめを受けた」が22.5%と最も多くなっています。

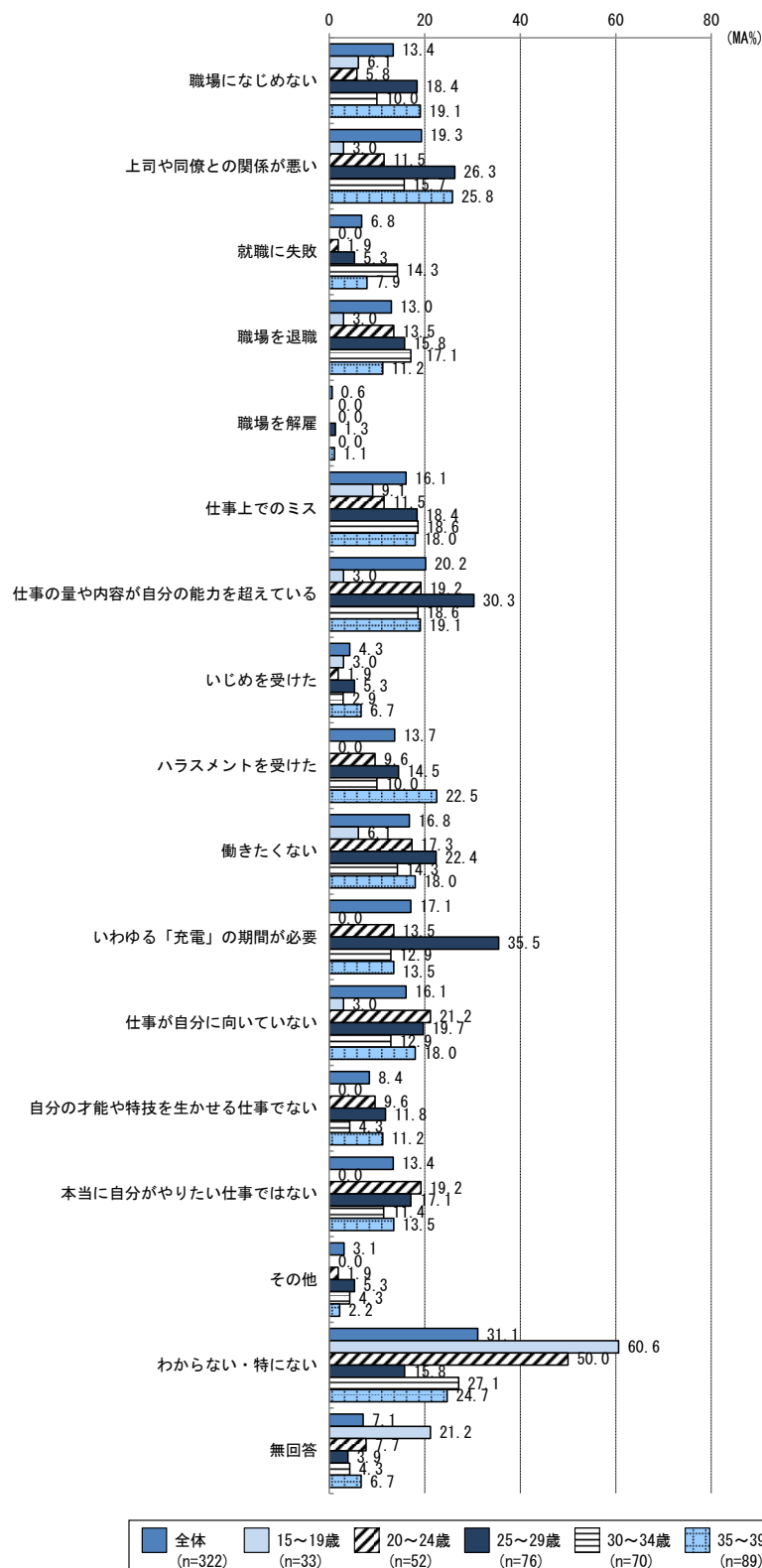
〔問題を経験した主な原因（3）学校について〕



(4)仕事・職場について

年齢別にみると15～19歳では「仕事上でのミス」が9.1%、20～24歳では「仕事が自分に向いていない」が21.2%、25～29歳では「いわゆる「充電」の期間が必要」が35.5%、30～34歳では「仕事上でのミス」と「仕事の量や内容が自分の能力を超えている」が18.6%、35～39歳では「上司や同僚との関係が悪い」が25.8%と最も多くなっています。

〔問題を経験した主な原因（4） 仕事・職場について〕



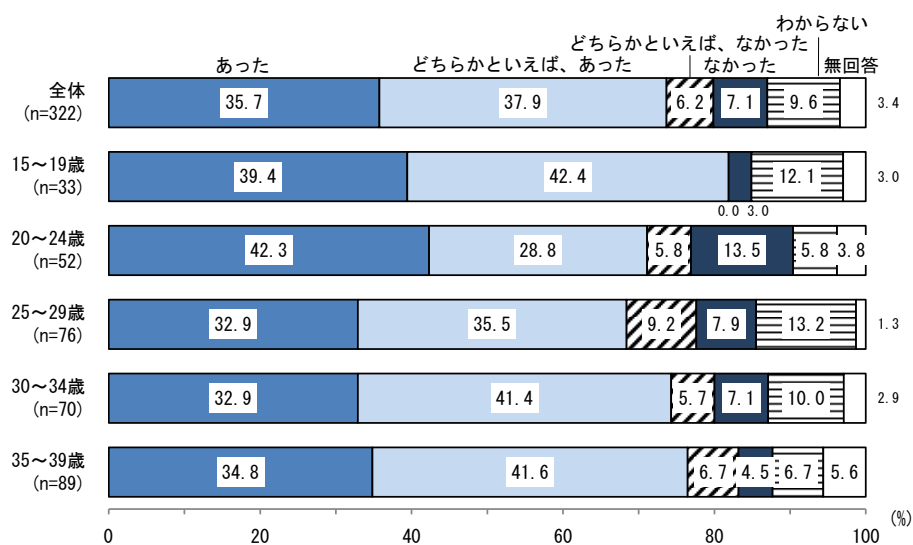
問30で「1. 」～「3. 」(経験がある)に○をつけた方のみ

問32 あなたは、今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験については、15～19 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「どちらかといえば、あった」がそれぞれ 42.4%、35.5%、41.4%、41.6%、20～24 歳では「あった」が 42.3%と最も多くなっています。

次いで、15～19 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「あった」がそれぞれ 39.4%、32.9%、32.9%、34.8%、20～24 歳では「どちらかといえば、あった」が 28.8%と多くなっています。

〔社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験〕

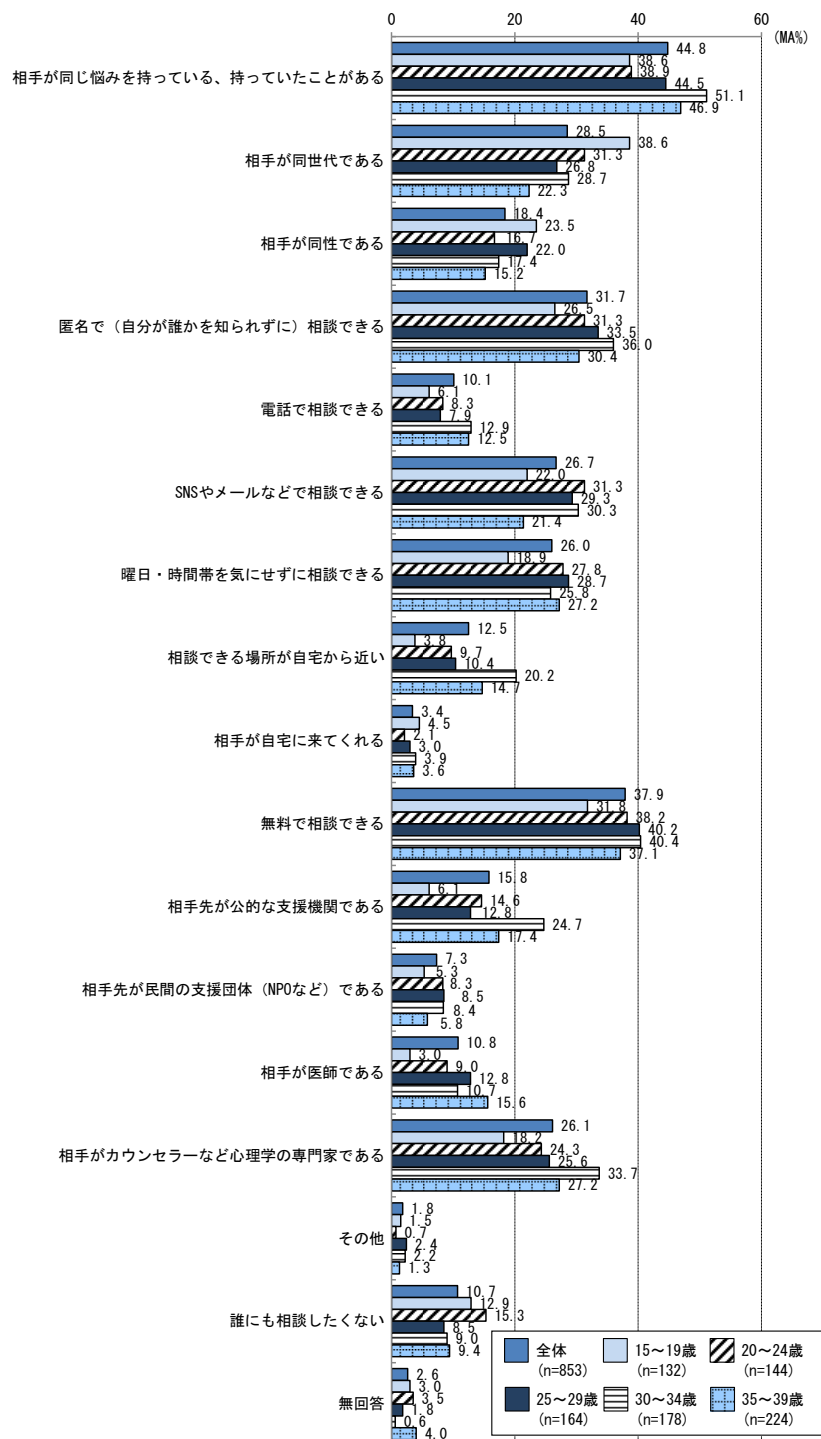


〔2〕相談相手や場所

問33 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような相手や場所なら、相談したいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

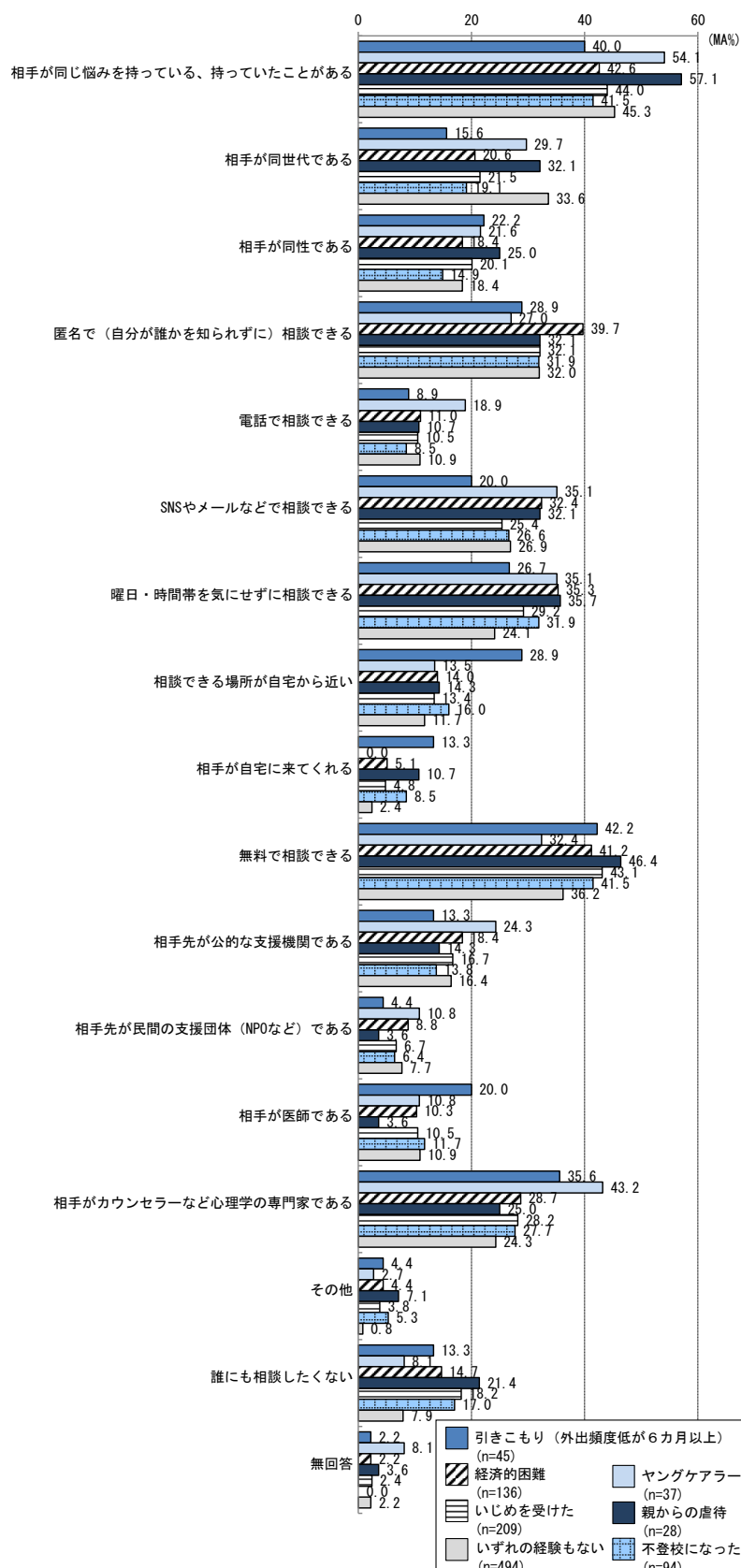
年齢別にみると、15～19 歳では「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」と「相手が同世代である」が 38.6%、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」がそれぞれ 38.9%、44.5%、51.1%、46.9%と最も多くなっています。次いで、「無料で相談できる」が多くなっています。

〔社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときの相談先 年齢別〕



困難経験別にみると、ひきこもり（外出頻度低が6カ月以上）では「無料で相談できる」が42.2%、ヤングケアラー、経済的困難、親からの虐待、いじめを受けたでは「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」がそれぞれ54.1%、42.6%、57.1%、44.0%、不登校になったでは「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」と「無料で相談できる」が41.5%と最も多くなっています。

〔社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときの相談先 困難経験別〕

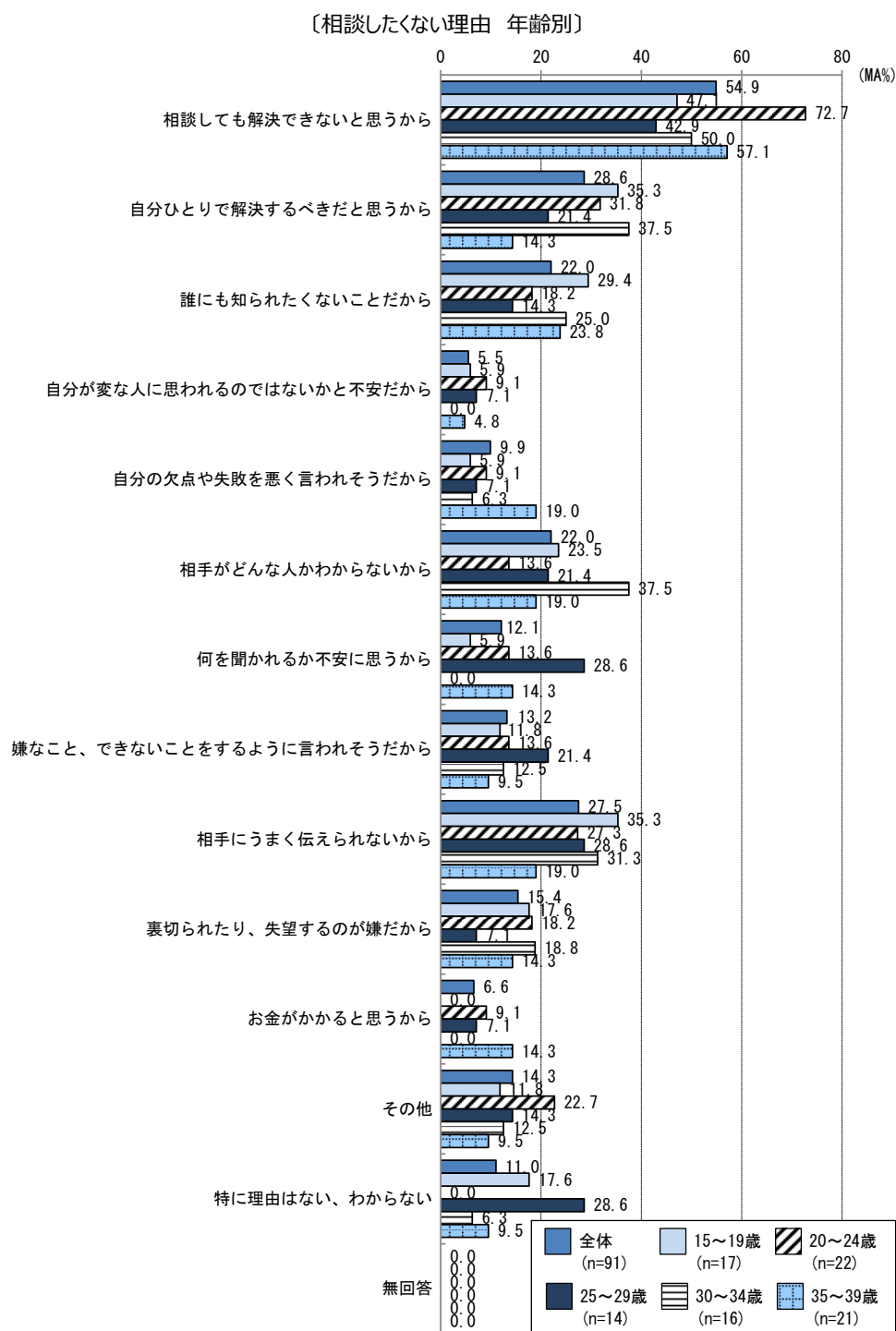


問33で「16. 誰にも相談したくない」に○をつけた方のみ

問34 相談したくないと思う理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

相談したくない理由別については、すべてのカテゴリーで「相談しても解決できないと思うから」が多く、15～19歳では47.1%、20～24歳では72.7%、25～29歳では42.9%、30～34歳では50.0%、35～39歳では57.1%となっています。

次いで、15～19歳では「自分ひとりで解決すべきだと思うから」と「相手にうまく伝えられないから」が35.3%、20～24歳では「自分ひとりで解決すべきだと思うから」が31.8%、25～29歳では「何を聞かれるか不安に思うから」と「相手にうまく伝えられないから」が28.6%、30～34歳では「自分ひとりで解決すべきだと思うから」と「相手がどんな人かわからないから」が多く、35～39歳では「誰にも知られたくないことだから」が23.8%と多くなっています。



7 子ども・若者を対象とした育成支援機関等の認知状況

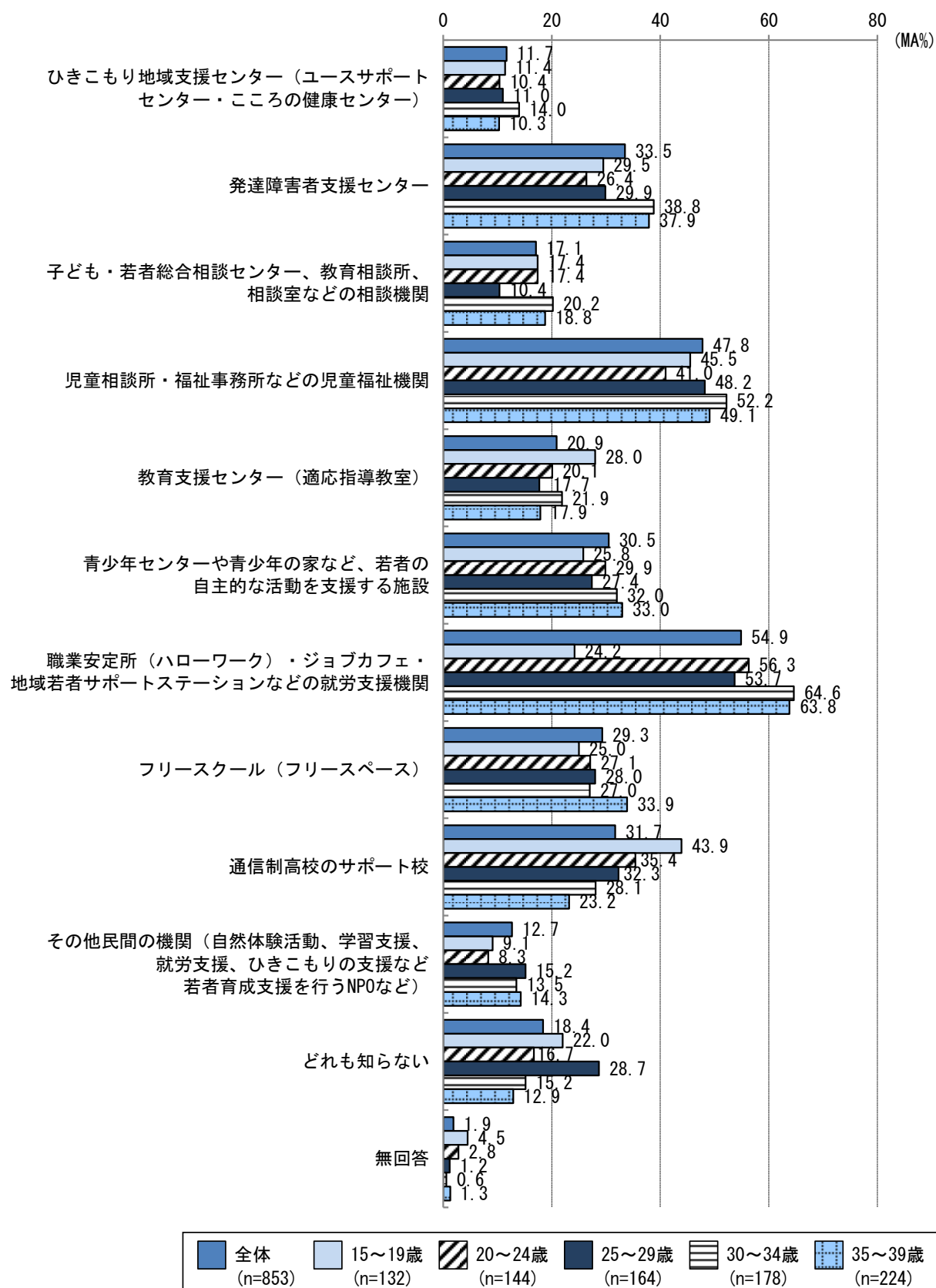
〔1〕子ども・若者対象の育成支援機関等について

問35 あなたは、子ども・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。知っている育成支援機関等をすべて選んでください。（あてはまる番号すべてに○）

育成支援機関等の認知状況については、15～19 歳では「児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関」が 45.5%、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」がそれぞれ 56.3%、53.7%、64.6%、63.8%と最も多くなっています。

次いで、15～19 歳では「通信制高校のサポート校」が 43.9%と多く、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳、35～39 歳では「児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関」がそれぞれ 41.0%、48.2%、52.2%、49.1%と多くなっています。

〔育成支援機関等の認知状況 年齢別〕

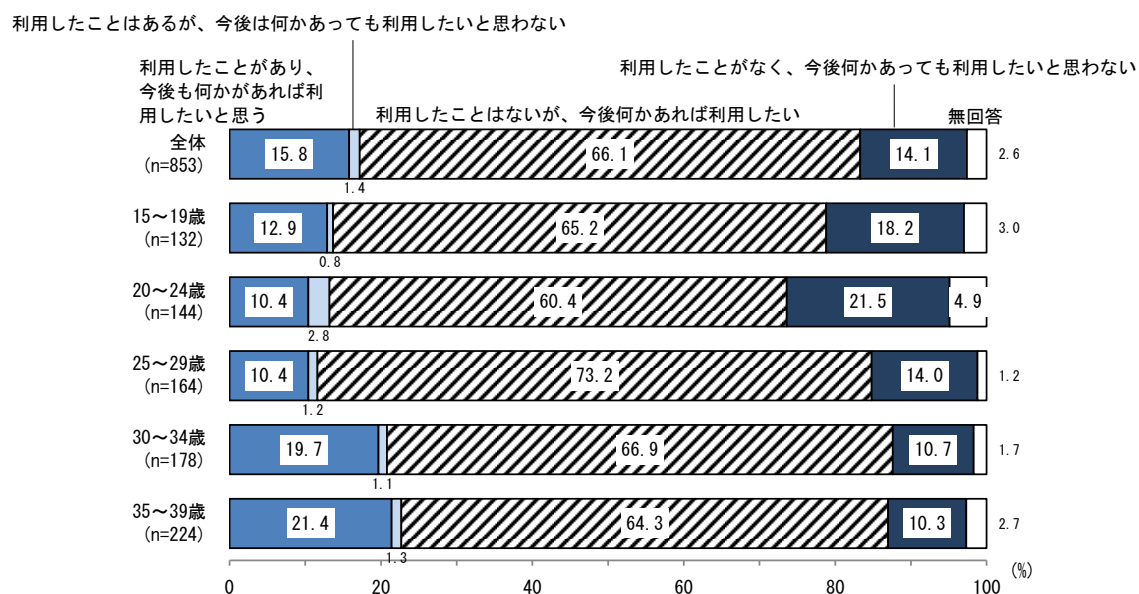


問36 これらの機関について、利用したいと思いますか。（○は1つ）

機関の利用希望については、すべてのカテゴリーで「利用したことはないが、今後何かあれば利用したい」が多く、15～19 歳では 65.2%、20～24 歳では 60.4%、25～29 歳では 73.2%、30～34 歳では 66.9%、35～39 歳では 64.3%となっています。

次いで、15～19 歳、20～24 歳、25～29 歳では「利用したことがなく、今後何かあっても利用したいと思わない」がそれぞれ 18.2%、21.5%、14.0%、30～34 歳、35～39 歳では「利用したことがあり、今後も何かがあれば利用したいと思う」がそれぞれ 19.7%、21.4%と多くなっています。

〔機関の利用希望〕 年齢別

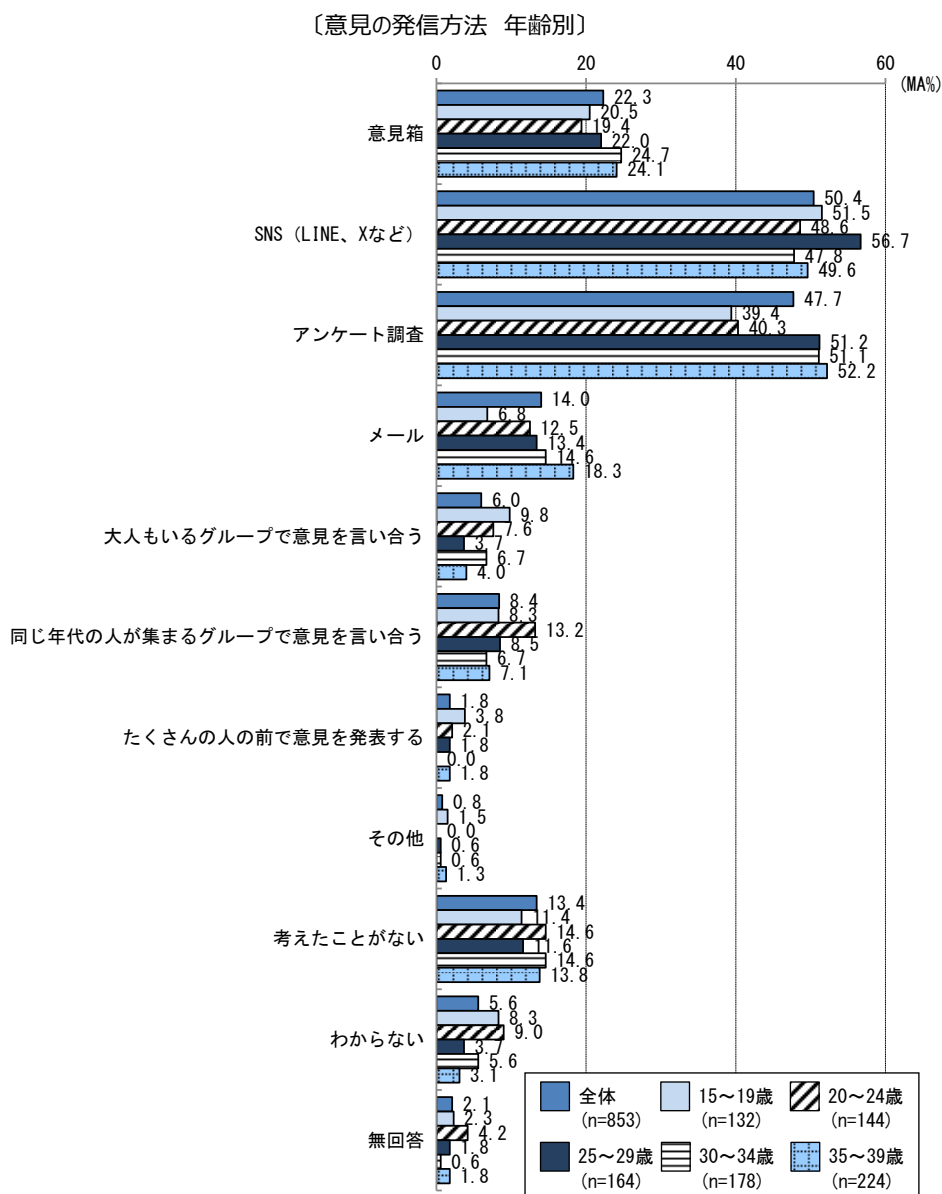


〔2〕意見の発信方法

問37 住んでいるまちやまわりの生活などをより良くするために、あなたが意見を言う場合、どの方法がよいですか。（あてはまる番号すべてに○）

意見を言う方法別にみると、15～19 歳、20～24 歳、25～29 歳では「SNS（LINE、X など）」がそれぞれ 51.5%、48.6%、56.7%と最も多く、30～34 歳、35～39 歳では「アンケート調査」がそれぞれ 51.1%、52.2%と最も多くなっています。

次いで、15～19 歳、20～24 歳、25～29 歳では「アンケート調査」がそれぞれ 39.4%、40.3%、51.2%と多く、30～34 歳、35～39 歳では「SNS（LINE、X など）」がそれぞれ 47.8%、49.6%と多くなっています。

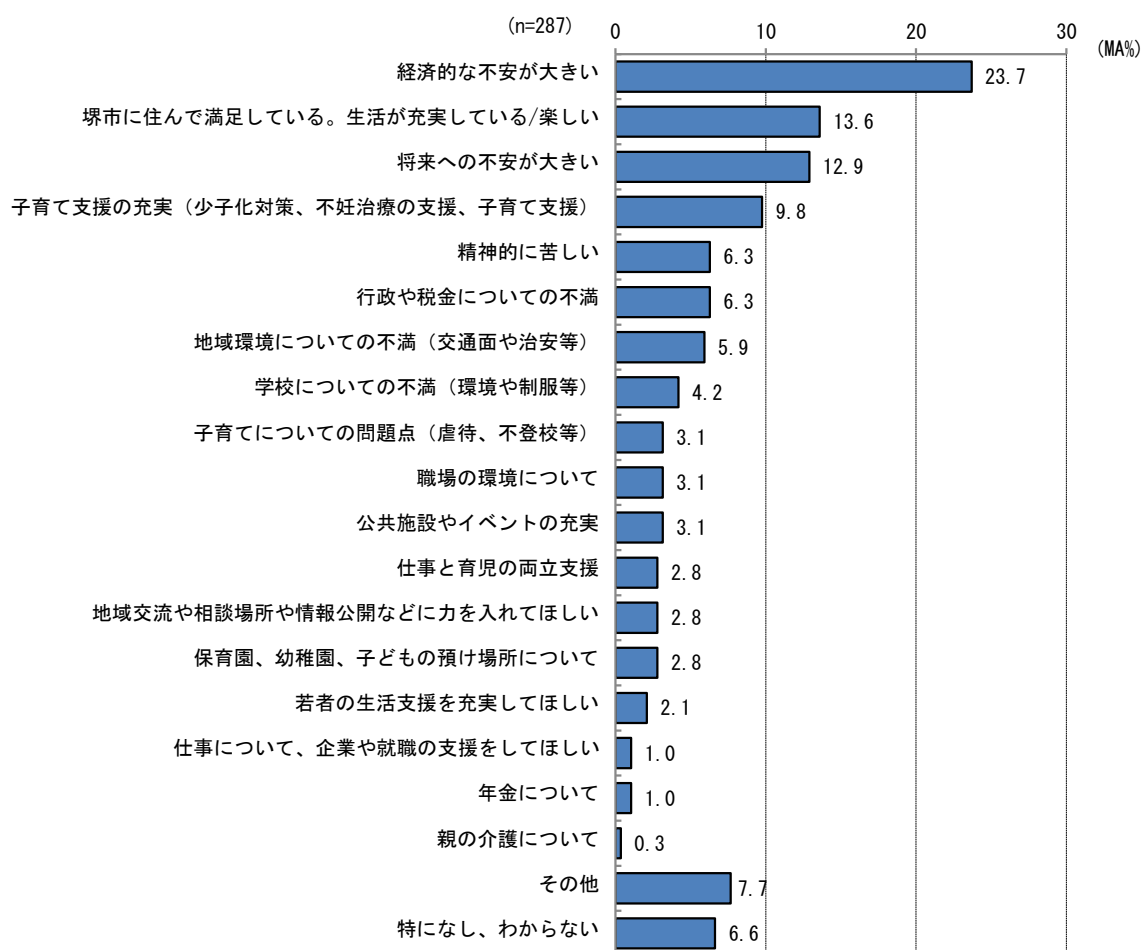


〔3〕自由意見

問38 毎日の生活で感じていることを自由に書いてください。

「経済的な不安が大きい」が 23.7%と最も多く、次いで、「堺市に住んで満足している。生活が充実している/楽しい」が 13.6%、「将来への不安が大きい」が 12.9%、「子育て支援の充実（少子化対策、不妊治療の支援、子育て支援）」が 9.8%、「精神的に苦しい」、「行政や税金についての不満」がそれぞれ 6.3%となっています。

〔自由意見〕



調 査 票

あなたのことについておうかがいします。

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|------|------|--------|-----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 | 4. 答えたくない |
|------|------|--------|-----------|

問2 あなたの年齢についてお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 15～19 歳 | 2. 20～24 歳 | 3. 25～29 歳 |
| 4. 30～34 歳 | 5. 35～39 歳 | |

問3 あなたのお住まいはどちらですか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 堺区 | 2. 中区 | 3. 東区 | 4. 西区 |
| 5. 南区 | 6. 北区 | 7. 美原区 | |

問4 現在、あなたと同居している方をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

※「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。
※里親宅や児童養護施設などで暮らしている方は、「8. その他」をお選びください。

- | | | |
|----------|------------|----------------|
| 1. 父 | 2. 母 | 3. きょうだい |
| 4. 祖父母 | 5. あなたの配偶者 | 6. あなたの子 |
| 7. その他親族 | 8. その他 () | 9. 同居している人はいない |

問5 あなたの家の生計について、生計を支えている方は主にどなたですか。(○は1つ)

※仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。

- | | | |
|------------|----------|-----------------|
| 1. あなた自身 | 2. 父 | 3. 母 |
| 4. あなたの配偶者 | 5. きょうだい | 6. あなたの子 |
| 7. その他 () | | 8. わからない、答えられない |

問6 あなたの世帯における年収をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 100 万円未満 | 2. 100 万円～200 万円未満 |
| 3. 200 万円～300 万円未満 | 4. 300 万円～400 万円未満 |
| 5. 400 万円～500 万円未満 | 6. 500 万円～600 万円未満 |
| 7. 600 万円～700 万円未満 | 8. 700 万円～800 万円未満 |
| 9. 800 万円～900 万円未満 | 10. 900 万円～1000 万円未満 |
| 11. 1000 万円以上 | 12. わからない |

問7 あなたが最後に卒業した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|--------|---------|---------------|
| 1. 中学校 | 2. 高等学校 | 3. 高専、短大、専門学校 |
| 4. 大学 | 5. 大学院 | 6. その他 () |

問 8 あなたの現在の仕事をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 学生・生徒（予備校生などを含む） | 2. パート・アルバイト |
| 3. 派遣社員 | 4. 契約社員・嘱託 |
| 5. 正規の社員・職員・従業員 | 6. 会社などの役員 |
| 7. 自営業・自由業 | 8. 家族従業者・内職 |
| 9. 専業主婦・主夫 | 10. 家事手伝い |
| 11. 無職（仕事を探している） | 12. 無職（仕事を探していない） |
| 13. その他（ ） | |

現在、就労されている方にお聞きします。

問 9 あなたの現在の就労形態について最もあてはまるものをお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---|------------|
| 1. フルタイムで残業がとて多い（月 46 時間以上残業）仕事 | |
| 2. フルタイムで残業が多い（月 25 時間～45 時間残業）仕事 | |
| 3. フルタイムで残業がある程度ある（月 10 時間～24 時間残業）仕事 | |
| 4. フルタイムで残業はほとんどない（月 9 時間以下残業）仕事 | |
| 5. 時間の調整・融通が利く（裁量労働、フレックスタイム、自営業、アルバイトなど）
仕事で週 64 時間を超える仕事 | |
| 6. 時間の調整・融通が利く（裁量労働、フレックスタイム、自営業、アルバイトなど）
仕事で週 64 時間以下の仕事 | |
| 7. 短時間勤務（週 30 時間以上 40 時間未満） | |
| 8. 短時間勤務（週 20 時間以上 30 時間未満） | |
| 9. 短時間勤務（週 20 時間未満） | 10. その他（ ） |

あなたの結婚・子育てに対する考え方をお聞きします。

問 10 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(○は1つ)

※「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。

- | | | | |
|-------|----------|-----------|---------------|
| 1. 未婚 | 2. 配偶者あり | 3. 配偶者と死別 | 4. 配偶者と離別（離婚） |
|-------|----------|-----------|---------------|

問 11 あなたはお子さんがいらっしゃいますか。(あてはまる番号すべてに○)

※以前の配偶者とのお子さんなど、同居せず養育している場合も含みます。

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 子どもはいない | 2. ご自身またはパートナーが現在妊娠中 |
| 3. 1歳未満の子どもがいる | 4. 1～6歳の子ども（未就学児）がいる |
| 5. 小学生の子どもがいる | 6. 中学生以上の子どもがいる |

問 11 で「3.」～「6.」に○を付けた方（子どもがいる方）にお聞きします。

問 12 現在のお子さん的人数をお答えください。(○は1つ)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

皆さんにお聞きします。

問 13 あなたは将来、お子さんを持ちたいと思いますか。(○は1つ)

※現在お子さんがいらっしゃる方や妊娠中の方は、今後さらにお子さんを持ちたいかお答えください。

- | | |
|---|----------------|
| 1. すぐにでも持ちたい | 2. 2～3年以内に持ちたい |
| 3. 5年以内に持ちたい | 4. いずれは持ちたい |
| 5. (これ以上) 子どもを持つことは望んでいない → 問 15 へ | |

問 13 で「1. 」～「4. 」に○を付けた方(子どもを持ちたい方)にお聞きします。

問 14 あなたは将来、お子さんを何人持ちたいですか。(○は1つ)

※現在お子さんがいらっしゃる方は、最終的なご希望のお子さんの人数をお答えください。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

皆さんにお聞きします。

問 15 子育てを支援する施策として重要と思うものは何ですか。(○は3つまで)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 多様な保育サービスを充実する |
| 2. 子育てに対する経済的支援を充実する |
| 3. 育児休業を取りやすい職場環境を整備する |
| 4. フレックスタイムの導入など、柔軟な働き方を推し進める |
| 5. 時間外勤務を短縮する等、男性の育児参加を促進する |
| 6. 育児休業中の所得保障を充実する |
| 7. 出産・育児による退職後の再就職支援を充実する |
| 8. 子どもの医療費への支援を充実する |
| 9. 教育費への支援を充実する |
| 10. 子どもを連れて安心して外出できる地域環境を整備する |
| 11. 妊娠、出産、育児について気軽に相談できる場を整備する |
| 12. 親同士で交流できる場を提供する |
| 13. 特別養子縁組制度の啓発や利用に向けたサポートを充実する |
| 14. その他 () |
| 15. 特にない |

問 16 あなたは現在、結婚相手や配偶者、恋人がいますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 配偶者、恋人はいない(未婚) | → 4 ページ問 17 へ |
| 2. 配偶者はいないが恋人はいる(未婚) | |
| 3. 配偶者(事実婚・内縁)がいる | → 6 ページ問 18 へ |
| 4. 配偶者(法律婚)がいる | |

1. 結婚するつもりはないが、子どもはほしい
2. 今の自分が置かれている環境や人間関係に満足しており、結婚にこだわらない
3. 結婚するつもりはないが、プライベートで信頼できる人がほしい
4. 結婚するつもりはないし、一人で生きていくことで問題ない
5. 同性婚ないし同性でのパートナーシップを希望している
6. その他 ()
7. 答えたくない
8. あてはまるものはない

引き続き、問 16 で「1」または「2」に〇を付けた方（未婚の方）にお聞きします。

(5) 具体的な相手を探すため、何か行動を起こしましたか。(あてはまる番号すべてに0)

1. 民間企業・自治体の結婚相談所・結婚支援センター等に登録・利用している
2. 民間企業・自治体が主催するイベント（婚活パーティー、街コン等）に参加している
3. 出会いを仲介するインターネット上のサービスに登録している
4. 友人・知人に紹介を依頼した
5. 自分磨きのため、内面を磨く努力（例：習い事、資格取得等の勉強）をしている
6. 自分磨きのため、外見を磨く努力（例：ジムに通う、美容等）をしている
7. その他（ ）
8. 特に何も行動を起こしていない

(6) あなたは、どのような状況になれば結婚すると思いますか。ご自分にあてはまることを、すべて選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 適当な年齢になること
2. 結婚の必要性を感じる
3. 今よりも仕事（または学業）の負担が軽くなること
4. 今の仕事（または学業）が続けられること
5. まわりの友人が結婚しはじめること
6. 自分の自由になる時間があること
7. 異性と知り合う（出会う）機会があること
8. 希望の条件を満たす相手にめぐり会うこと
9. 異性とうまくつき合えるようになること
10. 経済的に余裕ができること
11. 精神的に余裕ができること
12. 結婚生活のための住居のめどがたつこと
13. 相手が結婚に同意すること
14. 親や周囲が結婚に同意すること
15. その他（ ）
16. わからない
17. 特にな

(7) 結婚生活を送るにあたって世帯収入（税込）は、どのくらい必要と思いますか。

(○は1つ)

1. 100 万円未満
2. 100 万円～200 万円未満
3. 200 万円～300 万円未満
4. 300 万円～400 万円未満
5. 400 万円～500 万円未満
6. 500 万円～600 万円未満
7. 600 万円～700 万円未満
8. 700 万円～800 万円未満
9. 800 万円～900 万円未満
10. 900 万円～1000 万円未満
11. 1000 万円以上
12. 収入は関係ない
13. わからない



あなたの日頃の意識と生活についておうかがいします。

皆さんにお聞きします。

問 18 あなたの心身の状態についておたずねします。(それぞれ○は1つ)

(1) 生活を楽しんでいますか。

とても まあ あまり まったく
楽しんでいる 楽しんでいる 楽しんでいない 楽しんでいない

1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____

(2) 将来に対して希望を持っていますか。

持っている どちらでもない 持っていない

1 _____ 2 _____ 3 _____

(3) ストレスを発散できるものがありますか。

ある どちらでもない ない

1 _____ 2 _____ 3 _____

(4) あなたの健康状態はいかがですか。

よい まあよい 普通 あまりよくない よくない

1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____ 5 _____

(5) あなたは、自分が幸せだと思いますか。

とても幸せ 幸せ あまり幸せ 幸せ
だと思う だと思う だと思わない だと思わない

1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____

(6) あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。

そう思う どちらかといえば、 どちらかといえば、 そう思わない
そう思う そう思う そう思わない

1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____



問 19 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。（それぞれ○は1つ）

	そう思う	どちらかといえば、 そう思う	どちらかといえば、 そう思わない	そう思わない	あてはまるものはない、 わからない
①自分の部屋	1	2	3	4	5
②家庭（実家や親族の家を含む）	1	2	3	4	5
③学校（卒業した学校を含む）	1	2	3	4	5
④職場（過去の職場を含む）	1	2	3	4	5
⑤地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）	1	2	3	4	5
⑥インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）	1	2	3	4	5

問 20 次の①～③のことについて、あなたはどれくらいの頻度で感じていますか。（それぞれ○は1つ）

	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある
①自分には人とのつきあいが無いと感じることがある	1	2	3	4
②自分は取り残されていると感じることがある	1	2	3	4
③自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	1	2	3	4

問 21 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。（○は1つ）

1. ない	2. ほとんどない	3. たまにある
4. 時々ある	5. しばしばある・常にある	

問 22 あなたは、成人する前に、以下のような経験をしたことがありますか。

（あてはまる番号すべてに○）

1. 両親が離婚した（未婚も含む）	2. 母または父が亡くなった
3. 生活が経済的に困っていたことがある	4. 親から虐待されていたことがある
5. いじめを受けたことがある	6. 不登校になったことがある
7. いずれも経験したことがない	

問 23 あなたは、成人する前に、家族の中で高齢や病気、身体が不自由、幼いなどの理由で支援やケアが必要な人のお世話をしていたことがありますか。

(○は1つ)

※ここでいう「お世話」とは、本来大人が行うような家事や家族のお世話や相談などを、あなたがしていたことをいいます。ちょっとしたお手伝いやペットの世話は入りません。

1. ある（現在未成年で今もしている場合を含む）

2. ない → **9 ページ問 25 へ**

問 24 は問 23 で「1. ある」に○を付けた方にお聞きします。

問 24 あなたがしていた（している）お世話の様子についてお聞きします。

(1) お世話をしていた（している）人は誰ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 母親

2. 父親

3. 祖父

4. 祖母

5. きょうだい

6. その他（ ）

(2) お世話の内容を教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 家事（料理や買い物、そうじ、洗濯など）

2. きょうだいのめんどうをみることや保育所の送りむかえなど

3. 病院へ一緒に行くことやお風呂・トイレのお世話

4. 見守りをする、話し相手になる

5. 通訳をする（日本語や手話など）

6. お金の管理、薬の管理、医療的ケア

7. 家計を支えるためのアルバイトや労働

8. その他（ ）

(3) 学校があった（ある）日、お世話を1日のうちどれくらいしていました（います）か。
(○は1つ)

1. 1 時間より少ない

2. 1 時間以上、2 時間より少ない

3. 2 時間以上、3 時間より少ない

4. 3 時間以上、5 時間より少ない

5. 5 時間以上、7 時間より少ない

6. 7 時間より多い

(4) あなたがほしかった（ほしい）サポートや支援はありました（あります）か。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 勉強のサポート

2. 家事のサポート

3. 介護のサポート

4. 育児のサポート

5. 書類の作成、手続きのサポート

6. お金の管理のサポート

7. 経済的な支援

8. 使える社会の制度、サービスについて教えてくれる支援

9. 家族や自分のことについて、一緒に考えてくれる支援

10. その他（ ）

11. 特にない

皆さんにお聞きします。

問 25 あなたは、他の人と付き合う時、次のようなことがどのくらいあてはまりますか。
(それぞれ○は1つ)

	あてはまる	どちらかといえば、 あてはまる	どちらかといえば、 あてはまらない	あてはまらない
①誰とでもすぐ仲良くなれる	1	2	3	4
②表情やしぐさで相手の思っていることがわかる	1	2	3	4
③親しい人に頼まれてもやりたくないことは断る	1	2	3	4
④その場にあった行動がとれる	1	2	3	4
⑤表情が豊かである	1	2	3	4
⑥気持ちを抑えようとしても、顔に出てしまう	1	2	3	4
⑦人にぶつかっても、あやまらないことがある	1	2	3	4

問 26 普段ご自宅（暮らしている場所）にいるときは、どんなことに時間を使っていますか。よくしていることをすべて選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

1. テレビを見る	2. インターネット（SNSを含む）
3. ラジオを聴く	4. 本を読む
5. ゲームをする	6. 勉強をする
7. 仕事をする	8. 家事をする
9. 育児をする	10. 介護・看護をする
11. あてはまるものはない	



問 27 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。

(○は1つ)

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する
2. 仕事や学校で週に 3～4 日外出する
3. 遊び等で頻繁に外出する
4. 人づきあいのためにときどき外出する

→ 12 ページ問 30 へ

5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する
6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からほとんど出ない

問 27 で「5」～「8」に○を付けた方にお聞きします。

問 28 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(○は1つ)

ア. 3 カ月未満

イ. 3 カ月～6 カ月未満

→ 12 ページ問 30 へ

ウ. 6 カ月～1 年未満

エ. 1 年～2 年未満

オ. 2 年～3 年未満

カ. 3 年～5 年未満

キ. 5 年～7 年未満

ク. 7 年～10 年未満

ケ. 10 年～15 年未満

コ. 15 年～20 年未満

サ. 20 年～25 年未満

シ. 25 年～30 年未満

ス. 30 年以上

問 29 は、問 28 で「ウ」～「ス」に○を付けた方にお聞きします。

問 29 あなたの外出状況についてお聞きします。

(1) あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳のころですか。(○は1つ)

1. 14 歳以下

2. 15～19 歳

3. 20～24 歳

4. 25～29 歳

5. 30～34 歳

6. 35～39 歳

(2) 最近 6 カ月間に、家族以外の人と会話しましたか。(○は1つ)

1. よく会話した

2. ときどき会話した

3. ほとんど会話しなかった

4. まったく会話しなかった

引き続き、問 28 で「ウ」～「ス」に○を付けた方にお聞きします。

(3) あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。

関連する理由のすべてに○を付け、その中で最も大きな理由 1 つにも○を付けてください。

	関連する理由 (あてはまる番号 すべてに○)	最も大きな理由 (○は1つ)
1. 学校になじめなかったこと	1	1
2. 小学校時代の不登校	2	2
3. 中学校時代の不登校	3	3
4. 高校時代の不登校	4	4
5. 大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の不登校	5	5
6. 受験に失敗したこと	6	6
7. 就職活動がうまくいかなかったこと	7	7
8. 職場になじめなかったこと	8	8
9. 人間関係がうまくいかなかったこと	9	9
10. 病気（病名： ）	10	10
11. 妊娠したこと	11	11
12. 退職したこと	12	12
13. 介護・看護を担うことになったこと	13	13
14. 新型コロナウイルス感染症が流行したこと	14	14
15. 在宅で仕事を行うようになったこと	15	15
16. その他（ ）	16	16
17. 特に理由はない	17	17
18. わからない	18	18



皆さんにお聞きします。

問 30 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることできなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送っていない状況がありますか。(○は1つ)

1. 現在、その状況にある
2. 今までに経験があった
3. どちらかといえば、あった (ある)
4. どちらかといえば、なかった (ない)
5. なかった (ない)
6. わからない、答えられない

→ 14 ページ問 33 へ

問 31 と問 32 は、問 30 で「1」～「3」に○を付けた方にお聞きします。

問 31 そうした問題を経験した、または、現在経験している主な原因は何ですか。
以下の (1) ～ (4) のそれぞれについてお答えください。

(1) 自分自身について (あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 人づきあいが苦手 | 2. 精神的な病気 |
| 3. 身体的な病気・ケガ | 4. 妊娠 |
| 5. 何事も否定的に考えてしまう | 6. 勉強が苦手 |
| 7. 悩みや不安などが相談できない | 8. その他 () |
| 9. わからない・特にない | |

(2) 家庭・家族について (あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| 1. 家族内の不和や離別 (離婚) | 2. 家庭内での孤立
(家族間のコミュニケーションが希薄) |
| 3. 親 (保護者) の過度な期待 | 4. 親 (保護者) の放任 |
| 5. 親 (保護者) の厳しいしつけ | 6. 親 (保護者) の虐待 |
| 7. 親 (保護者) の過干渉 | 8. 親 (保護者) の甘やかし |
| 9. 親 (保護者) への反発 | 10. 家庭が貧しい |
| 11. 家庭が裕福で生活の心配がない | 12. 看護・介護 (自分が担い手) |
| 13. その他 () | 14. わからない・特にない |



→ (3) 学校について（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| 1. 成績が悪い、授業についていけない | 2. 先生との関係が悪い |
| 3. 友達との関係が悪い | 4. 校則に合わせるのが嫌 |
| 5. 集団行動が苦手 | 6. いじめを受けた |
| 7. 体罰やハラスメントを受けた | 8. 小学校時代の不登校 |
| 9. 中学校時代の不登校 | 10. 高校時代の不登校 |
| 11. 大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の不登校 | 12. 大学、短大、高専、専門学校、高校の中退 |
| 13. 中学受験の失敗 | 14. 高校受験の失敗 |
| 15. 大学受験の失敗 | 16. 不本意な入学 |
| 17. その他（ ） | 18. わからない・特にない |

→ (4) 仕事・職場について（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 職場になじめない | 2. 上司や同僚との関係が悪い |
| 3. 就職に失敗 | 4. 職場を退職 |
| 5. 職場を解雇 | 6. 仕事上でのミス |
| 7. 仕事の量や内容が自分の能力を超えている | 8. いじめを受けた |
| 9. ハラスメントを受けた | 10. 働きたくない |
| 11. いわゆる「充電」の期間が必要 | 12. 仕事が自分に向いていない |
| 13. 自分の才能や特技を生かせる仕事でない | 14. 本当に自分がやりたい仕事ではない |
| 15. その他（ ） | 16. わからない・特にない |

→ 問 32 あなたは、今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。最もあてはまるものを選んでください。
（○は1つ）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. あった | 2. どちらかといえば、あった |
| 3. どちらかといえば、なかった | 4. なかった |
| 5. わからない | |



皆さんにお聞きします。

問 33 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような相手や場所なら、相談したいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある
2. 相手が同世代である
3. 相手が同性である
4. 匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる
5. 電話で相談できる
6. SNS やメールなどで相談できる
7. 曜日・時間帯を気にせずに相談できる
8. 相談できる場所が自宅から近い
9. 相手が自宅に来てくれる
10. 無料で相談できる
11. 相手先が公的な支援機関である
12. 相手先が民間の支援団体（NPO など）である
13. 相手が医師である
14. 相手がカウンセラーなど心理学の専門家である
15. その他（ ）
16. 誰にも相談したくない

問 33 で「16. 誰にも相談したくない」に○を付けた方にお聞きします。

問34 相談したくないと思う理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 相談しても解決できないと思うから
2. 自分ひとりで解決するべきだと思うから
3. 誰にも知られたくないことだから
4. 自分が変な人に思われるのではないかと不安だから
5. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから
6. 相手がどんな人かわからないから
7. 何を聞かれるか不安に思うから
8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから
9. 相手にうまく伝えられないから
10. 裏切られたり、失望するのが嫌だから
11. お金がかかると思うから
12. その他（ ）
13. 特に理由はない、わからない

皆さんにお聞きします。

問 35 あなたは、子ども・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。知っている育成支援機関等をすべて選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

1. ひきこもり地域支援センター（ユースサポートセンター・こころの健康センター）
2. 発達障害者支援センター
3. 子ども・若者総合相談センター、教育相談所、相談室などの相談機関
4. 児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関
5. 教育支援センター（適応指導教室）
6. 青少年センターや青少年の家など、若者の自主的な活動を支援する施設
7. 職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関
8. フリースクール（フリースペース）
9. 通信制高校のサポート校
10. その他民間の機関（自然体験活動、学習支援、就労支援、ひきこもりの支援など
若者育成支援を行う NPO など）
11. どれも知らない

問 36 これらの機関について、利用したいと思いますか。(○は1つ)

1. 利用したことがあり、今後も何かがあれば利用したいと思う
2. 利用したことはあるが、今後は何かあっても利用したいと思わない
3. 利用したことはないが、今後何かあれば利用したい
4. 利用したことがなく、今後何かあっても利用したいと思わない

問 37 住んでいるまちや身のまわりの生活などをより良くするために、あなたが意見を言う場合、どの方法がよいですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 意見箱
2. SNS（LINE、X など）
3. アンケート調査
4. メール
5. 大人もいるグループで意見を言い合う
6. 同じ年代の人が集まるグループで意見を言い合う
7. たくさんの人の前で意見を発表する
8. その他（ ）
9. 考えたことがない
10. わからない

問 38 毎日の生活で感じていることを自由に書いてください。

--

調査にご協力いただきありがとうございました。

